

令和5年度
益田市 20地区取組状況



益田市政策企画局連携のまちづくり推進課

島根県益田市益田地区

地域づくりのテーマ:『ひと・まち・歴史の鼓動を感じるまち』



①地区の概要

【地区の現況】(令和6年1月末現在)

28自治会 2,712世帯 人口 5,602人 高齢化率 34.1%

【地区の魅力】

益田地区は、中世鎌倉時代から戦国時代まで益田氏の城下町として栄え、歴史・文化遺産の多い地区で「七尾城跡」「三宅御土居」や名勝雪舟庭園2カ所を含めた12の日本遺産構成文化財がある。また、警察署や県合同庁舎などの公的機関があるほか、高等学校が3校、高等看護学院がある文教地区でもあります。

【地区の課題】

- 人口減少及び高齢化
- 商店の減少
- 自治会役員の担い手不足、伝統行事の後継者不足
- 地区の歴史・文化に対する認識不足

②実施団体の概要

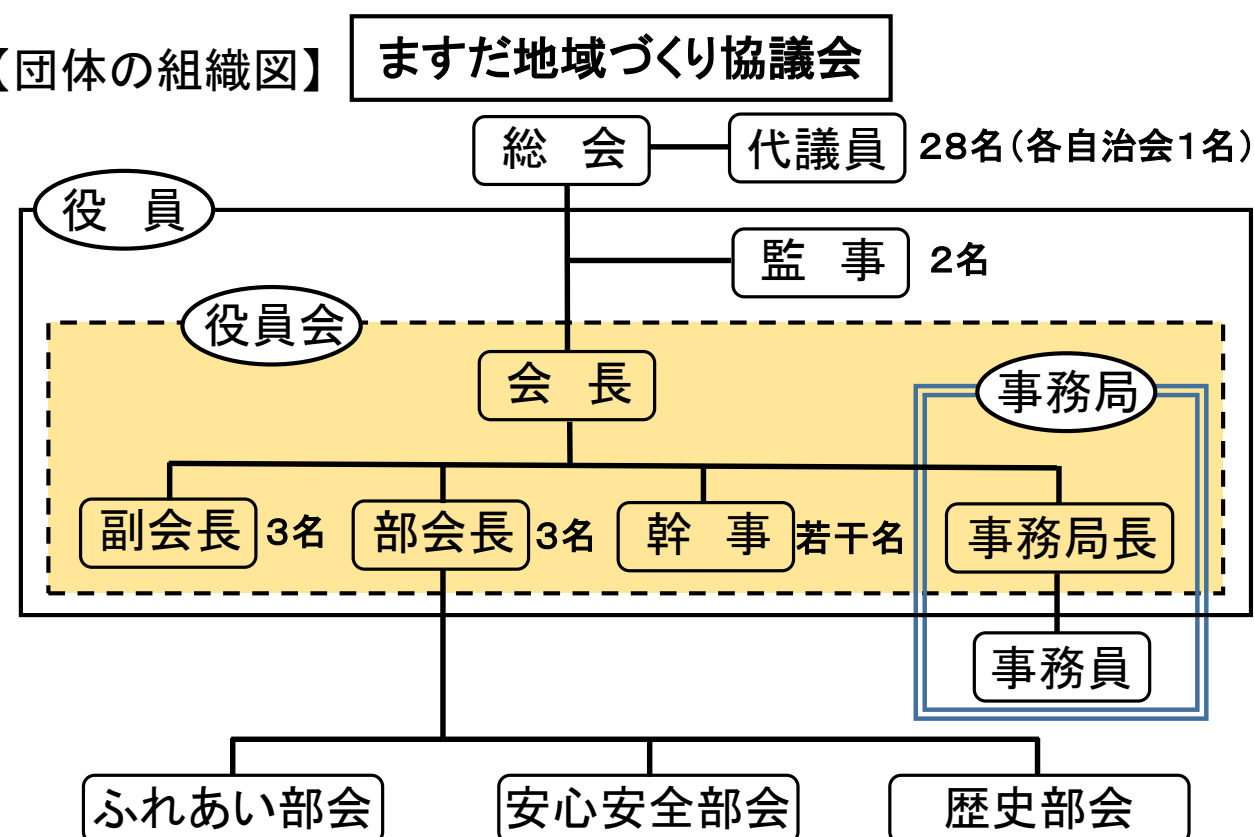
【団体の名称】

ますだ地域づくり協議会(R01.09.01設立)

【役員・部会員選出団体等】

- 益田地区自治会連合会
- 益田地区社会福祉協議会
- 益田地区民生児童委員協議会
- 益田商店会
- 益田小学校PTA
- 益田東中学校PTA
- 益田地区老人クラブ連合会
- 益田地区つろうて子育て協議会
- 生き生き益田の会
- 消防団益田第1分団
- 益田地区食生活改善推進協議会
- 地区住民

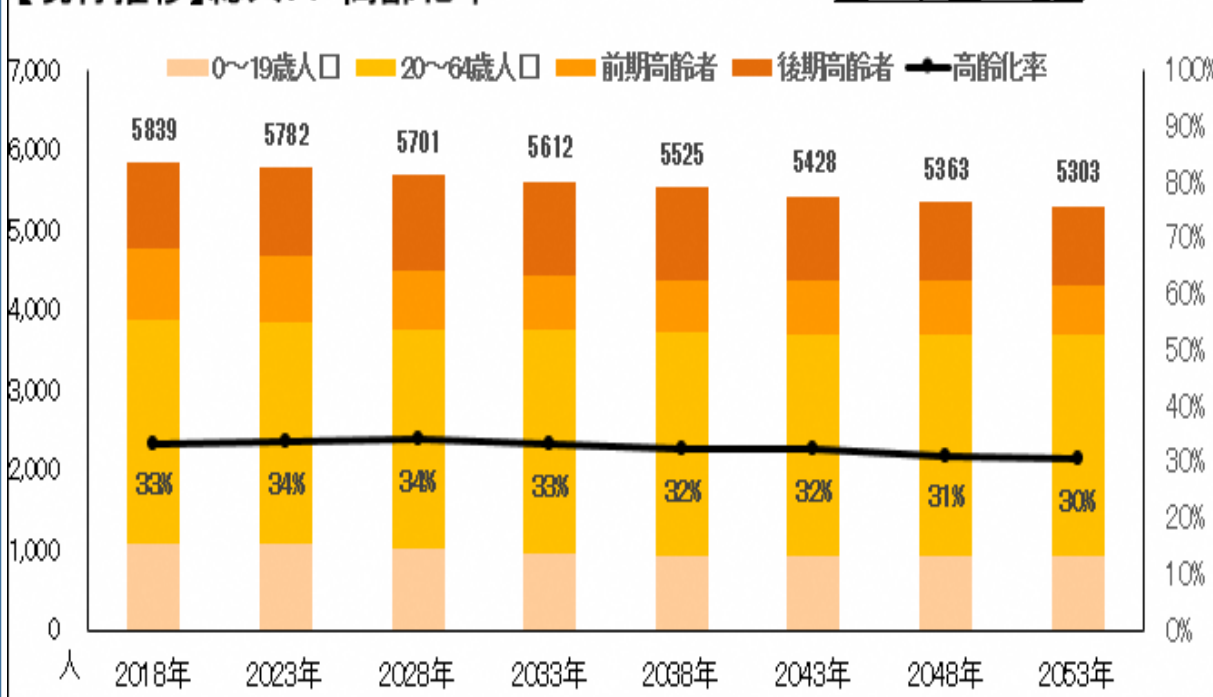
【団体の組織図】



③地区の人口シミュレーション

【現行推移】総人口・高齢化率

益田市 益田地区



資料: 島根県中山間地域研究センター「人口推計シート」

④地域の魅力化に向けた取組

- 歴史部会
歴史を学び、守り、伝える活動
歴史イベント、祭り、文化を若い世代に繋げる活動
- ふれあい部会
ふれあいの場の設定
福祉活動に関わる人の輪を広げる
- 安心安全部会
自主防災を設立し、災害時の体制づくりを図る
各自治会における高齢者見守り活動を充実させ、促進する

【団体長メッセージ】

ますだ地域づくり協議会は、歴史部会、安心安全部会、ふれあい部会の3部会で英知を結集し活動しています。

益田地区の歴史を大切に、地域の皆様に寄り添いながら、地元で愛着を持って頂ける様、小・中学校をはじめ各団体と連携し、「安心安全で生きがいのあるまち」を築くため今後も活動して参ります。

ますだ地域づくり協議会 会長 右田 明



島根県益田市益田地区

⑤こんなことが話し合われています



役員会

役員会は各部会の活動報告、部会間の調整、最終的な意思決定の場として機能している。



ふれあい部会

一昨年から担当している「益小プロジェクト」やホームページの運用について話し合いを行っている。



歴史部会

日本遺産の整備事業や活用方法などについての検討、見直し。
一昨年から行っている「日本遺産スタンプラリー」について協議し、準備などを行う。



安心安全部会

S58災害イベントを企画・開催し、自主防災組織設立の必要性や災害時の体制づくりなど協議している。

⑥こんな地域づくりを行なっています



S58災害イベント

今年昭和58年の豪雨災害から40年という節目の年にあたり、7月23日（日）益田東中学校体育館で行った。災害の映像・写真を展示した展示コーナー・避難所体験コーナー・救急体験コーナー・防災説明コーナーを設置した。

第3回日本遺産スタンプラリー

一昨年度から地域自治組織と益田東中学校が協働し開催している。イベント前には、ポスターを作り各自治会へ掲示してもらい、当日は中学1年生全員（56人）がガイドとして参画し、歴史部会を中心に地区内の団体や個人と一緒に活動した。

益小プロジェクト

益田小学校6年生有志が大人と一緒に活動する「益田地区をもっと幸せにしようプロジェクト」今年度は歴史チーム・環境チーム・祭りチーム・料理チームに分かれ準備し、大人の手を借りながら、自分達で考え行った。

お問い合わせ先

〒698-0005
益田市本町3番15号

ますだ地域づくり協議会（益田公民館内）
Tel. Fax 23-5752（益田公民館）
URL: <https://www.masuda-tiikidukuri.com/>



島根県益田市吉田地区

地域づくりのテーマ：元気いっぱいひとがつながるまち吉田



①地区の概要

【地域の現況】(令和6年1月末時点)

人口13,937人、高齢化率31.8%、世帯数6,716世帯

人口、世帯数、自治会数、いずれも益田で一番多い地区です。予測では、将来もほぼ同じ人口と高齢化率が維持されます。

【地区の魅力】

益田市役所本庁をはじめ各種行政機関や金融機関、益田赤十字病院や個人医療機関、文化施設や小中学校、商店街や個人商店が多くあり、生活するうえで利便性の高い地区です。

また、高津川、益田川、日本海に面しており、自然との共存もできています。

【地区の課題】

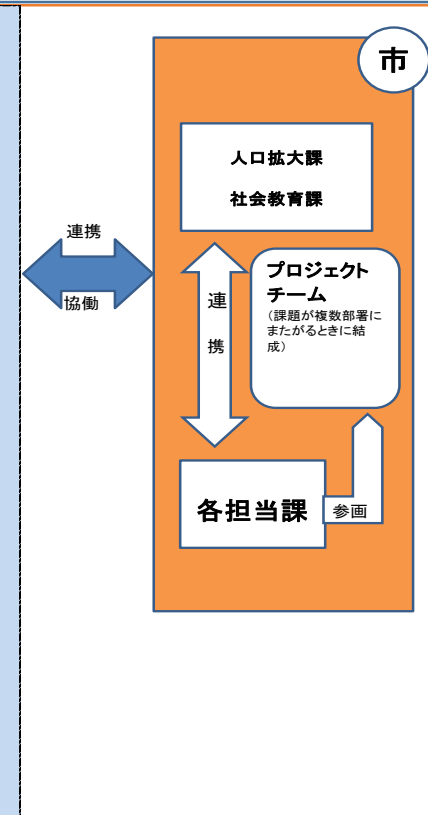
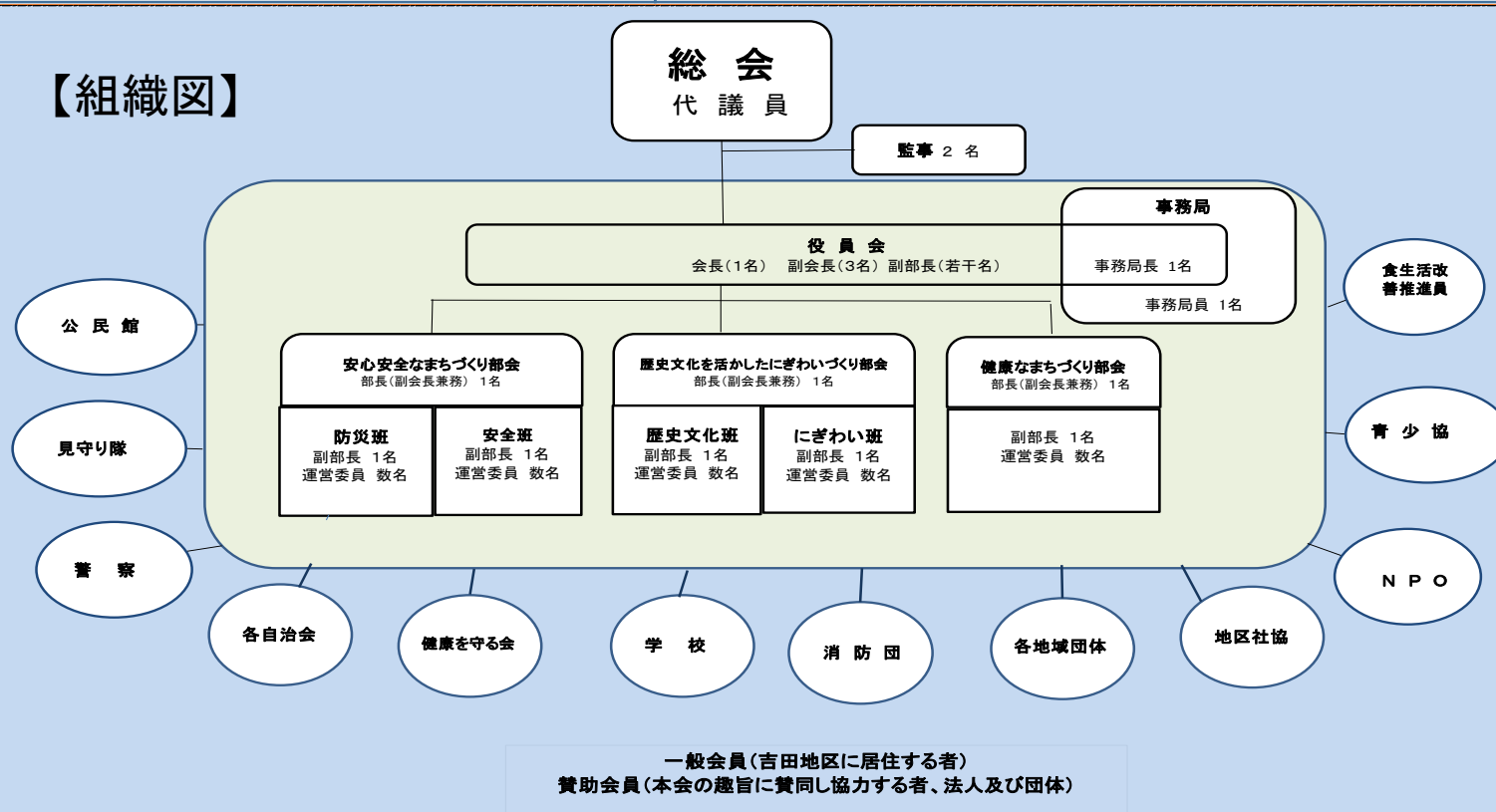
吉田地区は、昨今の異常気象の影響による二つの川の氾濫が心配されます。また、交通量が多く、通学路にも危険な箇所があります。その他、アパート・マンション等の増加や核家族化により、隣人関係が希薄化しているため、地縁による地域運営が難しくなっています。

②実施団体の概要

【団体の名称】

「吉田地区自治協議会」

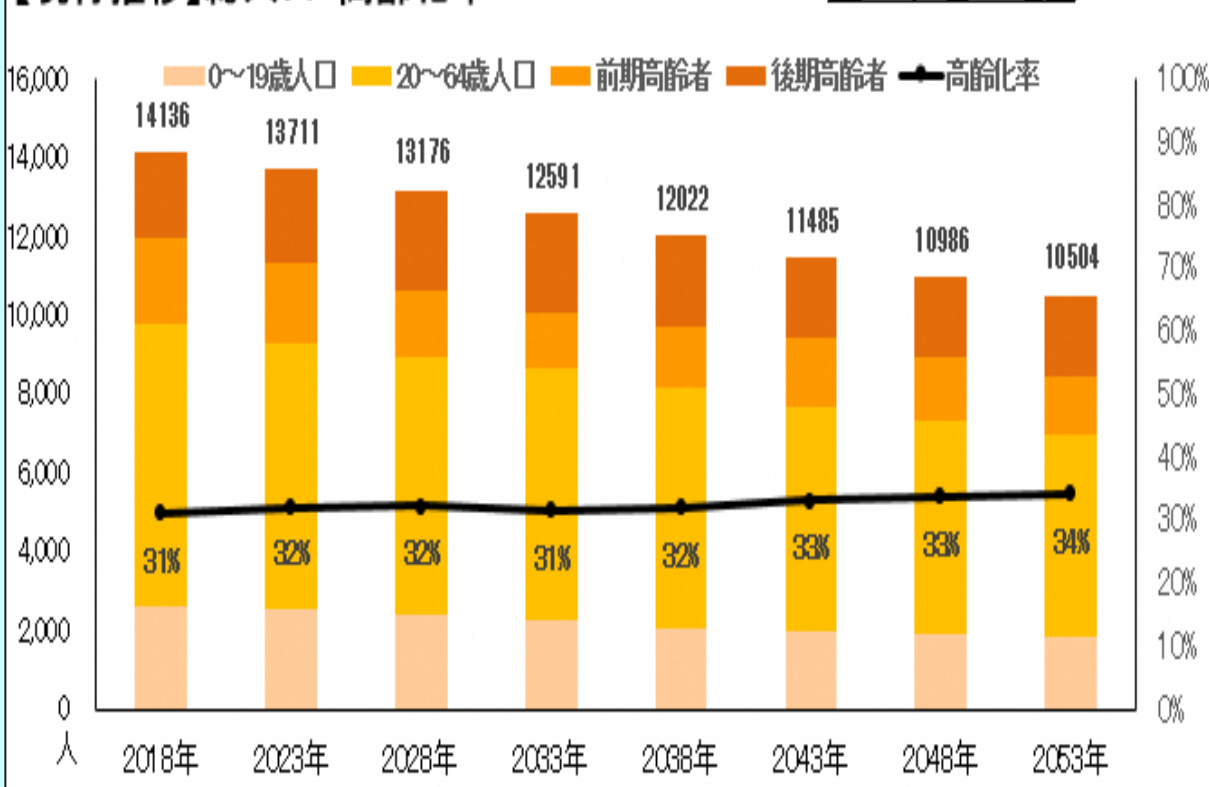
【組織図】



③地区の人口シミュレーション

【現行推移】総人口・高齢化率

益田市 吉田地区



資料：島根県中山間地域研究センター「人口推計シート」

④地域の魅力化に向けた取組

安心安全なまちづくり部会(防災班)では、地域防災力の強化に取り組んでいます。「吉田地区防災協議会」の開催や、自治会の防災訓練を支援します。

同部会(安全班)では、子どもたちが安全に登下校できるように見守り活動の支援と、通学路の危険個所の改善に取り組んでいます。

健康なまちづくり部会では、運動する環境を整える取り組みをしており、健康ウォーキングや健康教室を開催しています。

歴史文化を活かしたにぎわいつくり部会(歴史文化班)では、地域の歴史を学ぶ「歴史茶話会」を開催しています。本年度は吉田地区の民俗芸能について学びました。

同部会(にぎわい班)では、にぎわいとつながりづくりに取り組んでいます。本年度は子供たちが日頃頑張っていることを発表するイベント「チャレンジフェス」を開催しました。また、子どもたちが自主的に活動する団体「ヨシダリーダーズ(仮)」の立ち上げと活動支援を行いました。

【団体長メッセージ】

吉田地区自治協議会は3年目になり、まだまだ試行錯誤の面もありますが3部会の活動も徐々に安定してきました。当初の計画から部員の発案による新しい取り組みもあり、若い人材による活動も行われています。それぞれの活動は当協議会にとって大事な活動ですが、全体としての纏まりを欠いたり、独りよがりになる場合もあります。

このような現在の活動を踏まえて、今後の活動の方向性を確立すべく次期5か年計画の検討を始めました。



令和5年度 吉田地区自治協議会活動報告

こんなことが話し合われています

【吉田地区の治水対策について】



第1回吉田地区防災協議会

益田川の治水対策、内水対策、排水路、避難所について、県土整備事務所、下水道課、都市整備課、危機管理課担当者より説明を聞きました。

【通学路の見守り活動】



安全班では、通学時見守りイベント「吉田の見守りEye(眼・愛)」を開催するにあたり、学校、PTA、見守り活動団体、自治会が集まり、通学路の安全について意見交換をしました。

【被災時の避難について】



第2回吉田地区防災協議会

環境が似ている自治会ごとに分かれ、避難について考えました。今回は、高津川が決壊したと想定し、時間と雨量の変化に合わせた自主防災組織(自治会)の動きについて考えました。

【子供たちの自主的な活動】



吉田地区の小中高生による地域活動団体「ヨシダリーダーズ(仮)」は、「まずやってみよう」「相手の考えを尊重しよう」「自分で考え自分で決めよう」「楽しもう」を合言葉に、少しずつ活動を進めています。

こんな地域づくりを行なっています



防災訓練支援

防災班では、消防団・防災士会・益田市社会福祉協議会と協力し、希望する自治会の防災訓練を支援しています。本年度は、吉田小学校周辺自治会の合同防災訓練を支援し、住民138名が参加しました。



健康ウォーキングの開催

健康なまちづくり部会では、春に「健康ウォーキング」を開催。雪舟山水郷周辺の史跡を17名が巡りました。各所で、文化財課職員より史跡の説明がありました。



チャレンジフェス開催

にぎわい班では、「チャレンジフェス！」を開催。子どもたちのチャレンジを応援しました。子供たちは演技発表だけでなく、ポスター制作から司会、告知放送まで担当しました。



通学路見守り活動支援

安全班では、「吉田の見守りEye(眼・愛)」として、通学路見守り活動を、春秋2回開催。

自治会、PTA、見守り活動団体より有志約300名が参加し、子供たちの通学を見守りました。危険個所改善の要望も出しました。



健康教室の開催

健康なまちづくり部会では、健康教室「リズム遊び」、「自分の脚で歩きつづけるためのけんこう体操」を開催し、41名が参加しました。

自治会のサロンで簡単に取り組める健康づくりを目指しています。



歴史茶話会開催

歴史文化班では、毎月「歴史茶話会」を開催。本年度のテーマは「吉田地区の民俗芸能」で、その集大成として「民俗芸能祭」を開催(3月)。

またシリーズ「益田が生んだ考古学者が語る故郷の歴史と文化」(4回)を開催しました。



名称: 吉田地区自治協議会
住所: 〒698-0033 益田市元町11-26 吉田公民館内
電話: 080-8040-2060



HP: <http://yoshidajichi.com>
Mail: yoshidajichi@kba.biglobe.ne.jp



島根県益田市高津地区

地域づくりのテーマ：高津っ子の住みよいまちづくり



①地区の概要

【地区の現況】

人口 7,723人、高齢化率 38.3%(令和6年1月末時点)
山・川・海に囲まれた自然豊かな地区です。

【地区の魅力】

自然豊かでありながらも、生活に必要な施設・設備も整っており、とても暮らしやすい地区です。又、活動団体も多く地区の行事も活発です。

小学校1、中学校1、高校1、高等技術校1、保育園4、があり教育機関も充実したまちです。

【地区の課題】

少子高齢化、人口減少、諸団体等の後継者不足、人間関係の希薄化等、様々な分野で問題・課題を抱えています。

②実施団体の概要

【団体の名称】

「万葉の里 高津未来の会」

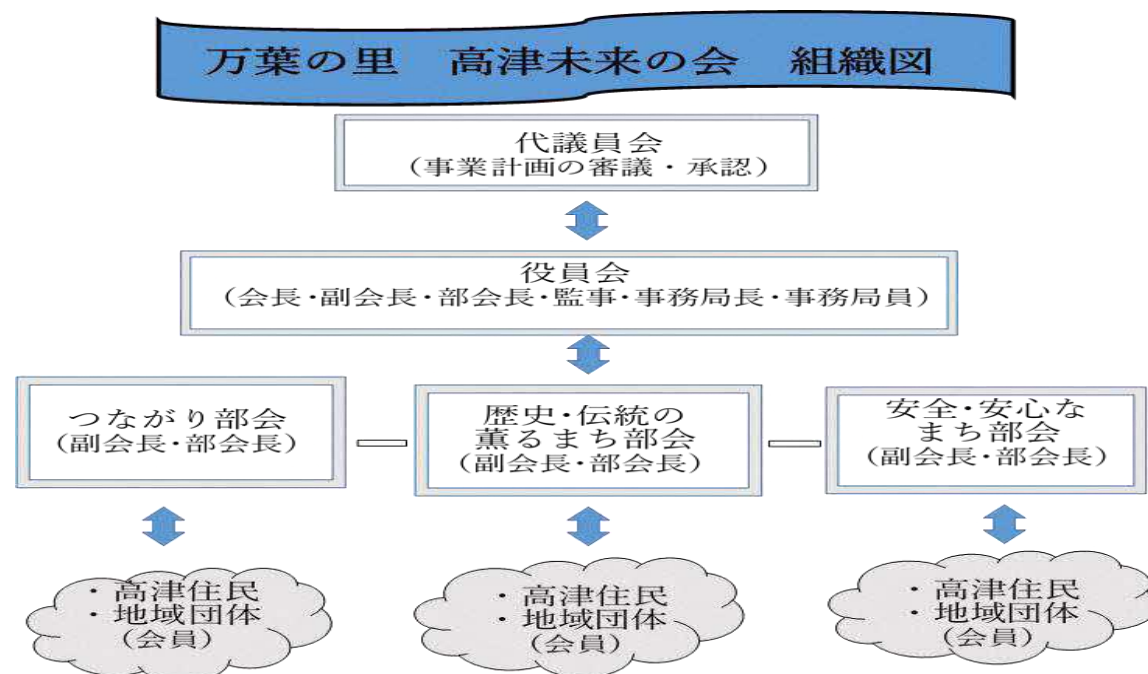
【構成団体、構成員】

- ・高津地区住民
- ・各種団体
- ・各種団体から代議員20名
- ・公募より代議員4名
- ・役員(会長1名、副会長3名、部会長3名、監事2名)

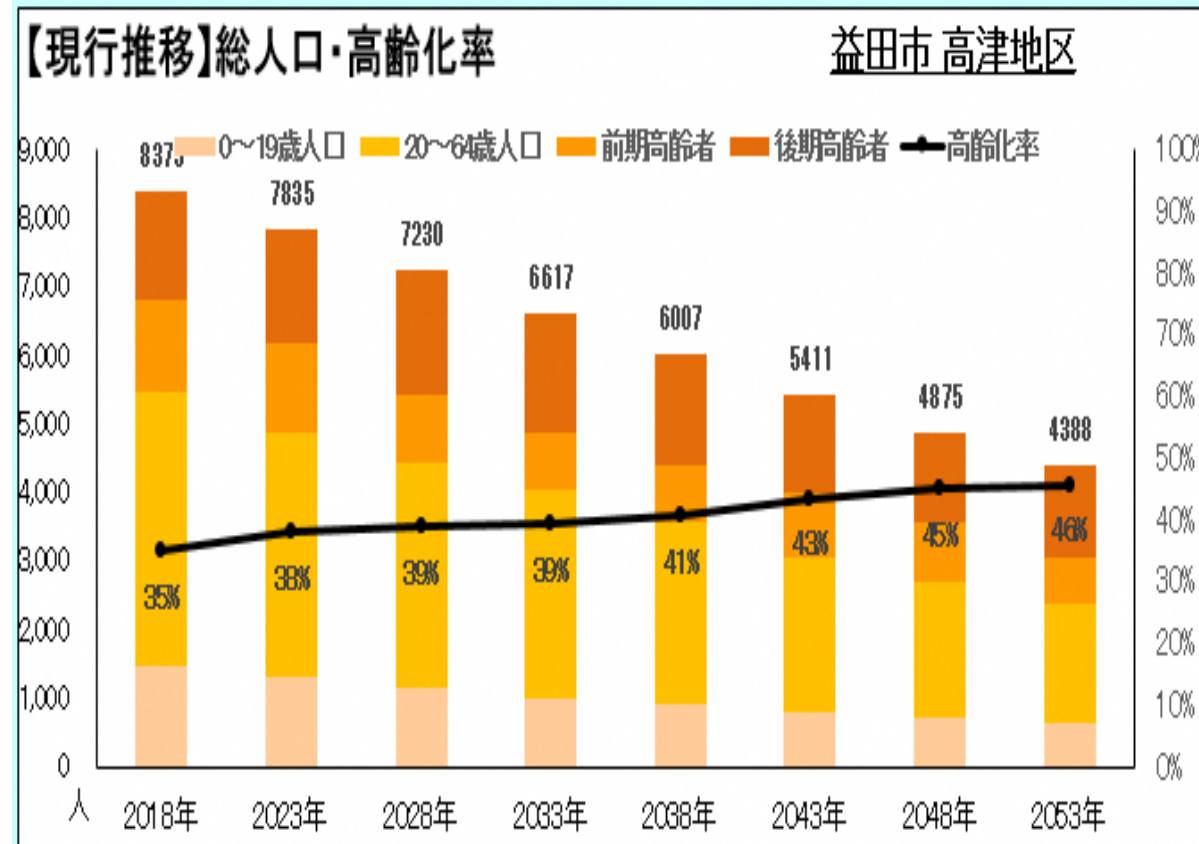
「ロゴマーク」



【団体の組織図】



③地区の人口シミュレーション



資料：島根県中山間地域研究センター「人口推計シート」

④地域の魅力化に向けた取組

☆会報を発行し地区内に回覧。その他にも、会議・行事等の様子もその都度インスタグラムで情報発信。告知端末放送も活用し、より幅広い世代へと情報発信に努めている。

☆公民館活動と並行して、講座や事業に取り組んだ。

☆中・高生がホーランエーの船出前に和太鼓で活気づけた。

☆地域に埋もれた歴史的文化遺産等の発掘・見える化。

☆益田市と島根県立大学との共同研究によって地域の歴史・伝統文化(ひと・もの・こと)をデジタル化し、記録保存。SNSで公開。

【会長よりメッセージ】

当会にとって第一次プランのまとめの年として、事業の充実・発展を期して活動を進めていきたいところであるが、年次を閉めるに当たり、活動が十分であったかを問われると、自他共に不十分さは否めないと感じ止めている。

当会の現体制であれば、活動そのものの内容量を増やすことには限界を感じる。

今後は、活動認知のための情報発信の有り方、地区民及び他団体等との連携協力のあり方の工夫・努力が求められると考えている。



島根県益田市高津地区

⑤こんなことが話し合われています



○役員会を6回行いました。(1月末現在)
○各部会会議は、各部会ごとに必要に応じ開催。役員会で、情報共有を行ない事業を実施した。



○高津小の5.6年生と一緒に、小学校入口の横断歩道にUVステイマークを貼った。



○歴史伝統文化の薫るまち部会
× 連理松センター × 高津公民館

冬休みの子どもの居場所づくりコラボ企画！[ろうそく作り]
高津蠟座石臼の歴史を学び、ろうそく作りを行った。



○歴史伝統文化の薫るまち部会
× 県 大 × 高津公民館

「夏休みの子どもの居場所づくり」コラボ企画！[動画をつくろう]を2回の連載で実施。撮影と編集のノウハウを学ぶ。

⑥こんな地域づくりを行なっています

撮影のノウハウを学んだ子ども達が流鏝馬の射手の方にインタビューしながら撮影した。



[高津餅つき音頭に親しむ会]



地区内4園の年長児を対象に開催。園児たちは、掛け声を教わり、歌いながら参加した。

柿本人麿の終焉伝承を継承する事業



現在、令和6年3月末を完成予定とし工事中。



「ありがた市」



毎月第2・第4木曜日に開催。少しずつ定着しており、買い物だけではなく、来場者の集いの場となりつつある。

ふるさと教育デジタルアーカイブ事業

高津流鏝馬について撮影



× 県 大



高津の「鵜飼い」について撮影



(SNSにて公開中)

登下校の見守り



毎日の見守りの様子



和太鼓事業 (高津公民館共催)

・4年ぶりのホーランエー
・念願「船出前に活気づけ」

中・高生の若者パワーで地域を元気に！



万葉の里ひとまろフェスタにおける「ひとまろつながりマルシェ」を実施



お問い合わせ先

名称: 万葉の里 高津未来の会
住所: 〒698-0041
島根県益田市高津2-5-2(高津公民館内)
電話: 0856-23-1791



☆高津公民館と共に情報発信しています。



島根県益田市安田地区

地域づくりのテーマ:「みんなでつくる楽しい安田」



石見津田駅の土曜朝市(毎月第四土曜日開催)

①地区の概要

【地区の現況】

人口 3,424人、高齢化率 40.7%(令和6年1月末時点)
益田市内での高齢化率は吉田、益田、高津、豊川に次いで5番目に低い地域ですが、年々高齢化率が上昇しています。

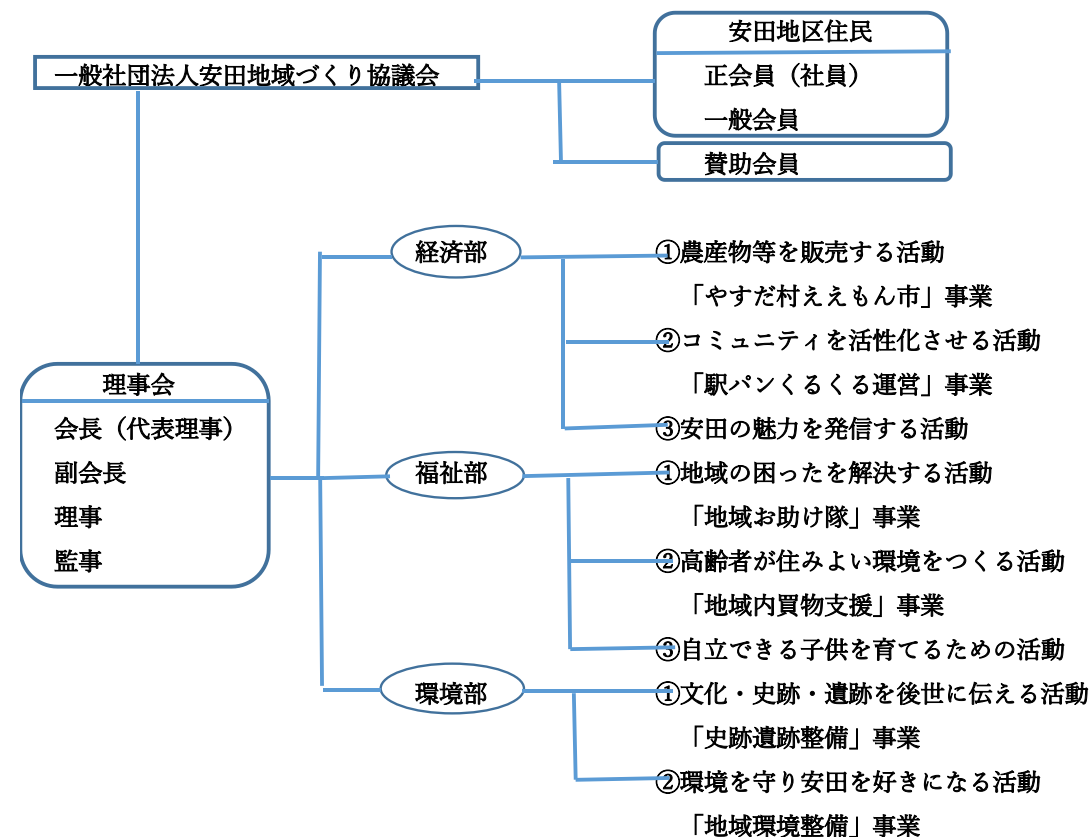
【地区の魅力】

「地域お助け隊事業」は草刈、剪定、伐採など地域の困り事を有償で支援し、「パンカフェ運営事業」は石見津田駅で「駅パンくるくる」を運営し地域を活性化しています。津田、井の迫地区では毎月二回地区内のスーパーでの買物支援を行っています。

【地区の課題】

高齢化と核家族化が進み日々の買い物や通院が困難な世帯が増え、各種扶助制度確立が急務です。又、空き家も増えていますが、残留家財の整理が出来ずそのままになっている建物がほとんどで、貸家を探している人はいても売却も賃貸も進んでいません。

【団体の組織図】



②実施団体の概要

【団体の名称】

一般社団法人安田地域づくり協議会

【構成団体、構成員】

安田地区連合自治会、安田公民館

市議会議員

農業委員会、土地改良区安田支部

安田地区健康と福祉をすすめる会

安田地区社会福祉協議会

JA, つろうて子育て協議会

安田婦人会、安田ボランティア協議会

安田地区老人クラブ連合会

消防団安田分団

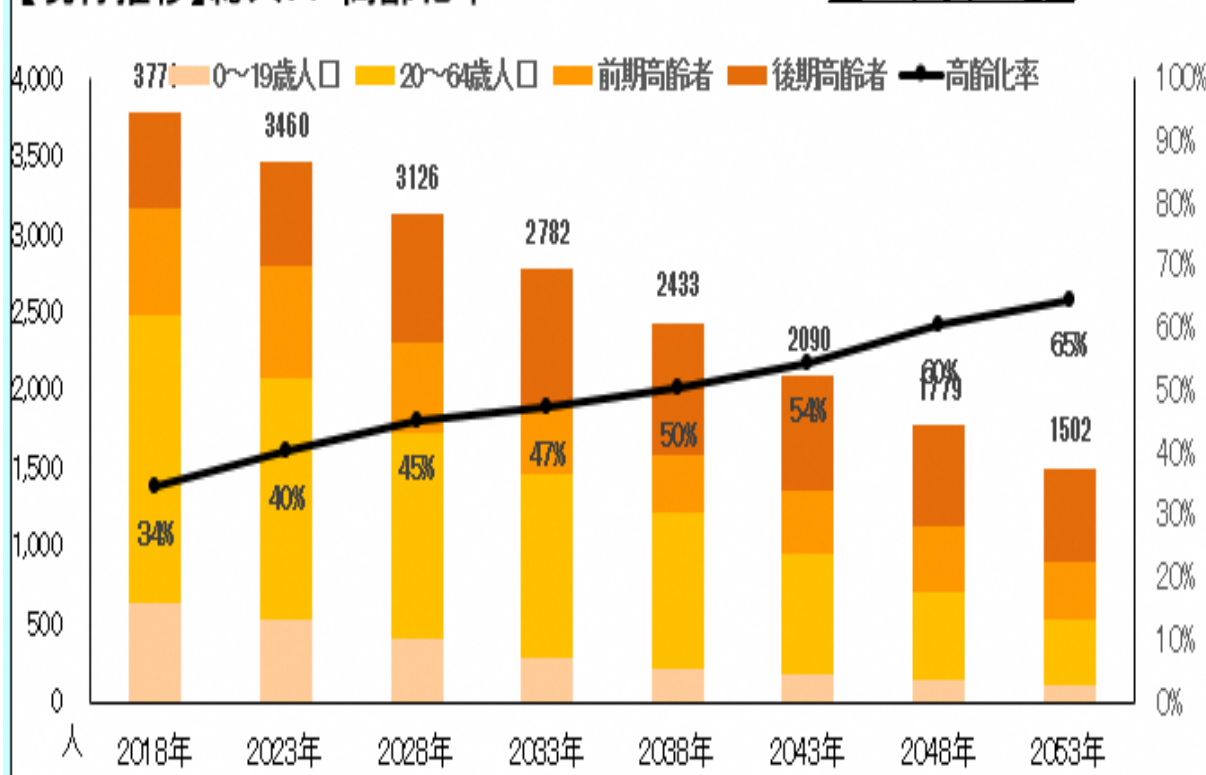
オヤジーンズ

個人(地域住民)など

③地区の人口シミュレーション

【現行推移】総人口・高齢化率

益田市 安田地区



資料: 島根県中山間地域研究センター「人口推計シート」

④地域の魅力化に向けた取組(概要)

1. やすだ村ええもん市事業

安田地区で生産された農作物、手作り品などの販売を通して農作物の生産、加工、独自商品の開発などを行い地域住民の生産意欲を高めるとともに地域活性化を図ります。

2. パンカフェ運営で地域のコミュニティの活性化を図ります。

3. 地域お助け隊事業

地域住民に代わって有償で草刈り作業などを行い、安心して暮らせる環境づくりと所得向上、働き甲斐づくりに繋がります。

4. 地域内買物支援事業

福祉施設の車を利用して、移動手段を持たない高齢者のスーパーでの買物支援を実施します。

5. 史跡・遺跡整備事業

旧山陰道の整備を行い、歴史の伝承に取組み保存してきた先駆者の業績を周知し、地域の方に誇りと感心を持たせます。

6. 地域環境整備事業

地域の環境美化を進め、明るく快適に過ごせる環境を創ります。



【団体長メッセージ】

第2期(令和4年度～8年度)の地域づくり事業計画の進捗に伴い、「みんなでつくる楽しい安田」のスローガンの下で、お助け隊・パンカフェ・買物支援・土曜朝市等確実に有益な事業を展開し満足のいく成果が出た。コロナ禍で中断の「やすだ村ええもん市」が再開され大盛況である。新たに公民館周辺の休耕地を利用した環境美化事業「コスモスの里づくり」の展開で、地域住民の関心と参加が高まることを期待している。

代表理事・会長: 澤江佑三

島根県益田市安田地区

⑤こんなことが話されています



(一社)安田地域づくり協議会総会
令和5年6月8日(木)出席者:37名
・令和4年度の事業実績報告、承認
・令和4年度決算報告書、付属明細書報告、承認及び監査報告、承認
・代議員の選任、承認
・令和5年度の事業計画及び予算承認



(一社)安田地域づくり協議会臨時役員会
令和5年9月15日(金)出席者:12名
・「まちづくり特別補助金」活用の「コスモスの里づくり」計画の概要説明
・今年度中間決算の概要報告
・後期の事業取組予定について



「やすだ村ええもん市」を四年振りに開催。7月9日(日)、10月15日(日)、12月10日(日)9時～11時開催。出店者:20名、来場者:220名、野菜類、衣類、炊き込みご飯、加工品、パン、手芸品、革製品、花、苔玉等を販売、県大生や中学生も販売に参加



令和5年12月28日石見津田駅ホーム側掲示板を新しくしました。今秋行われたコスモウォークの写真コンテスト入選作品を掲示しています。駅のホームが明るく魅力的になりました。

⑥こんな地域づくりを行なっています



①「やすだ村ええもん市」事業
・四年振りに7月9日、10月15日、12月10日、9時～11時まで開催しました。出店者:20名、来場者:220名、また、石見津田駅で「土曜朝市」を毎月第四土曜日の10:00～11:30まで4月から毎月開催しました。



②「地域お助け隊」事業
・地域の困りごとを解決するための活動
・草刈・庭木剪定・伐採・墓地清掃他の請負
・4月～12月受注件数:102件
・登録作業員:男性24名、女性3名



③「史跡・遺跡整備」事業
・地域の史跡遺跡を整備し歴史の伝承に取り組む活動
・旧山陰道・丸山公園の草刈作業
・年二回実施:6/25 参加者:34名
10/22 参加者:36名



④「パンカフェ運営」事業
・石見津田駅の「駅パンくるくる」では、「ご褒美食パン2斤」「シンプル食パン1斤」を中心に各種ロールパン、あんパン、カレーパンを用意して火曜日から土曜日営業しています。



⑤「環境整備事業」
・新たに「コスモスの里づくり」を計画しました。「まちづくり活動特別補助金」でトラクター、モアー、などの農機具類を購入しました。コスモウォーク等を開催します。



⑤「地域内買物支援」事業
・福祉施設の車を利用して、移動手段を持たない津田地区他の高齢者などを連れて、地域内のスーパーでの買物を支援(月二回)しています。

お問い合わせ先

〒699-3676
益田市遠田町384番地2
一般社団法人安田地域づくり協議会
TEL(FAX兼用) 0856-27-0001



島根県益田市鎌手地区

地域づくりのテーマ：地域資源を活かし「住みよい」鎌手



①地区の概要

【地区の現況】(令和6年1月末時点)

総世帯数：652世帯 人口：1,343人

高齢化率：49.9%

【地区の魅力】

丘一面に咲き誇る「唐音水仙公園」その近くには島根県唯一の国指定天然記念物「唐音の蛇岩」、夕日の映える大浜、土田海岸等自然の魅力あふれるこの地域は、春夏秋冬それぞれに美しい景観が楽しめる地域資源に恵まれた地区です。

【地区の課題】

他の中山間地区と同様に人口の減少と高齢化により、各地区での行事や環境整備事業などの担い手が足りなくなっています。

②実施団体の概要

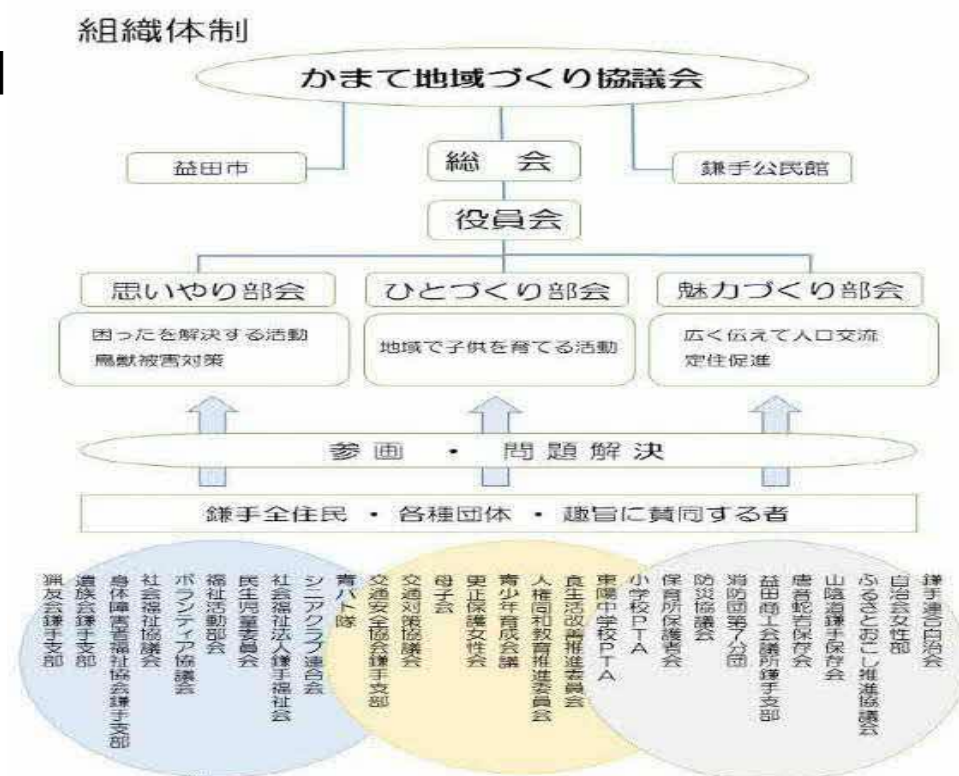
【団体の名称】

かまて地域づくり協議会

【構成団体、構成員】

- ・代議員 26名
- ・役員 9名
(会長：1名、副会長：2名、会計：1名、部会長：3名、監査：2名)
- ・部会員
- 「思いやり部会」 42名
- 「ひとづくり部会」 8名
- 「魅力づくり部会」 22名

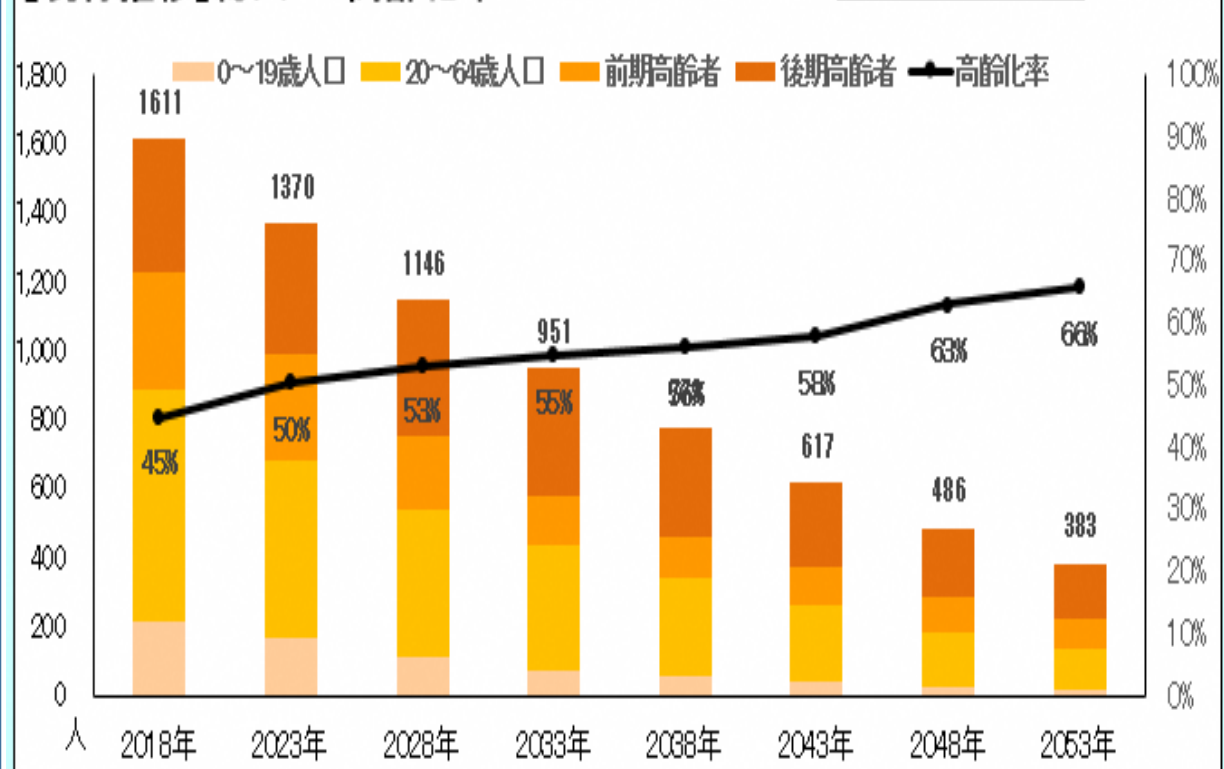
【団体の組織図】



③地区の人口シミュレーション

【現行推移】総人口・高齢化率

益田市 鎌手地区



資料：島根県中山間地域研究センター「人口推計シート」

④地域の魅力化に向けた取組

◆地域の困ったを助ける取り組み

- ・お助け隊による活動(草刈り、墓掃除、溝掃除等)
- ・買物支援バスの運行(2回/月、AM・PM)

◆子ども達が笑顔で成長できる取り組み

- ・U-15かまてミーティング
「中学生主体の活動による自分達がやりたい事を叶える」
「地域との交流活動、にこにこマーケットなどに参加」

◆かまての魅力を発信し定住促進につなげる取り組み

- ・SNSによる情報発信
- ・「coffee work shop」や「SUP体験」による交流人口の拡大



豊かな暮らしについて考える2日間



大正大学生実習

【団体長メッセージ】

鎌手地区に地域自治組織が発足し今年度で4年目となりますが、地域の困り事の解決ために活躍している思いやり部会、鎌手の大人から子どもまで人を育てるひとづくり部会、鎌手の魅力を研究し発信している魅力づくり部会が地域の皆さんの生活を彩るべく活動しています。協議会には若い世代の部員も多く『鎌手でやってみたい』が叶う発展的な組織になっています。一緒に楽しく活動をし、自分自身の鎌手での生活を彩ってみませんか？お待ちしております♪



島根県益田市鎌手地区

⑤こんなことが話し合われています



〔定期総会〕
令和4年度の活動結果・収支決算と令和5年度の活動計画・予算案について代議員に報告し承認を頂いた。代議員からは、会の活動に対する要望など貴重な意見を頂けた。



〔お助け隊班長会議〕
草刈りの実績報告や、今後の作業予定、隊員からの要望事項の確認や対応方法を協議しています。隊員が安全に、地域の方が喜ばれる活動を進めています。



〔ひとづくり部会〕
U-15かまでミーティングで中学生が出してきた、やりたい事について今後のスケジュールや役割分担について話合った。又今後の部会の方向性についても話合っています。



〔魅力づくり部会〕
コーヒー関係の予定やSUP体験、魅力マップづくりなどの進捗や活動の実績について確認又メンバーからの提案等について話合っています。

⑥こんな地域づくりを行なっています

〔思いやり部会〕

★「移動困難者を支援する会」では令和3年度6月から月2回の買い物バスの運行を始めました。令和5年度からは、午前と午後の1日2便の運行を始め鎌手の6地区を回る様になりました。利用されている方は、バスの中での会話も楽しみにしているとの事でした。



★「お助け隊」では、草刈りや剪定、墓掃除、溝掃除など年間130件の依頼を受けて実施して来ました。それ以外にも保育所、小学校、公民館の草刈りボランティアを行い地域の方からの認知度も高くなり今後も依頼が増えて来そうです。



〔ひとづくり部会〕

★U-15カマテミーティングで中学生がやりたい事を話し合い自分達で進行を考えて7月29日に鎌手公民館で「カマテキャンプ」を実施しました。流しそうめん、ゲーム大会、水鉄砲対決、飯盒炊飯、肝試しなどで楽しみました。



★地域との交流という事で公民館のにこにこマーケットに参加したり、魅力づくり部会と協働でモルックを実施しました。初めてのモルックはとても好評でした。



〔魅力づくり部会〕

★今年度も鎌手の海の魅力を発信するため、SUP体験会を開催しました。一般の方や、地元の子ども会を対象に実施しました。



★昨年度から始めた「かまカフェ」を今年度も継続しました今年は金山地区の時に大正大学の学生さんも参加して盛り上がりました。地域の交流の場として今後も継続して欲しいとの意見も有りました。



★「水仙の里かまでウォーク」にも参加、コーヒーと地元の食材を使ったシフォンケーキの試食提供して今後の活動に生かせないか確認しました。



お問い合わせ先

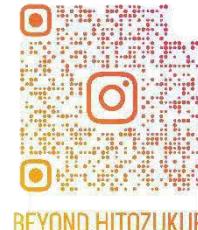
住所 〒699-3506 益田市西平原町751-7
かまで地域づくり協議会(益田市鎌手公民館内)
TEL 0856-27-0501
Mail csc-kamate@city.masuda.lg.jp



鎌手公民館



ひとづくり部会



魅力づくり部会



島根県益田市種地区

地域づくりのテーマ：地域の特性と自然を生かし、“ひとつの輪”になった「むらづくり」



①地区の概要

【地区の現況】

人口・高齢化率(令和6年1月末時点)

人口:223人 高齢化率:48.4%

【地区の魅力】

- ・中山間地域に位置し、伝統芸能の種神楽と自然を活用(さくら・あじさい・ホタル)したイベントを開催し、人との交流が盛んな地区です。
- ・小学校の跡地利用と、未耕作地の解消を図り、農産加工品の製造販売により、活性化している地区です。
- ・種出身者に「種だより」と「ふるさと便」を発送しています。

【地区の課題】

- ・人口減少・少子高齢化
- ・後継者、担い手不足
- ・鳥獣害対策
- ・高齢者、子ども支援
- ・耕作放棄地の増加
- ・小学校の跡地有効利用
- ・空き家対策

②実施団体の概要

【団体の名称】

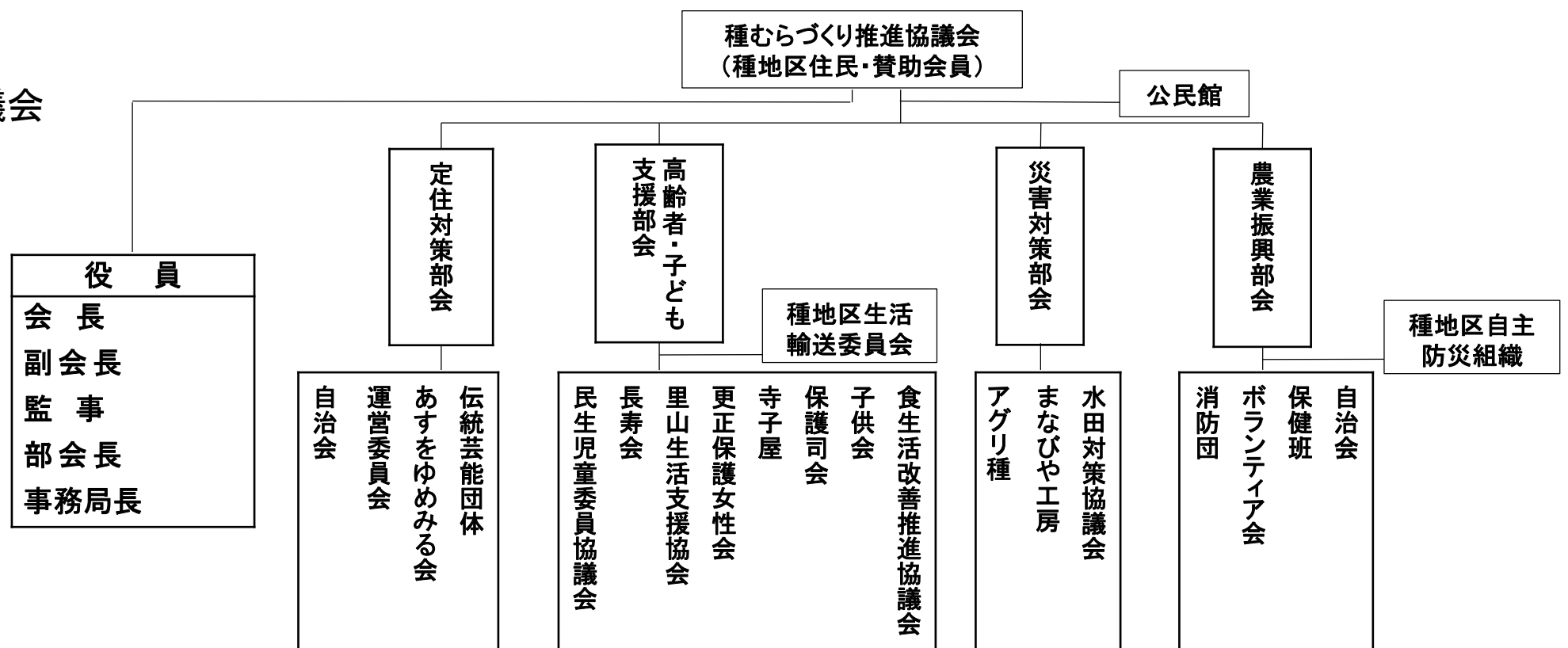
種むらづくり推進協議会

【構成団体、構成員】

右図参照

【団体の組織図】

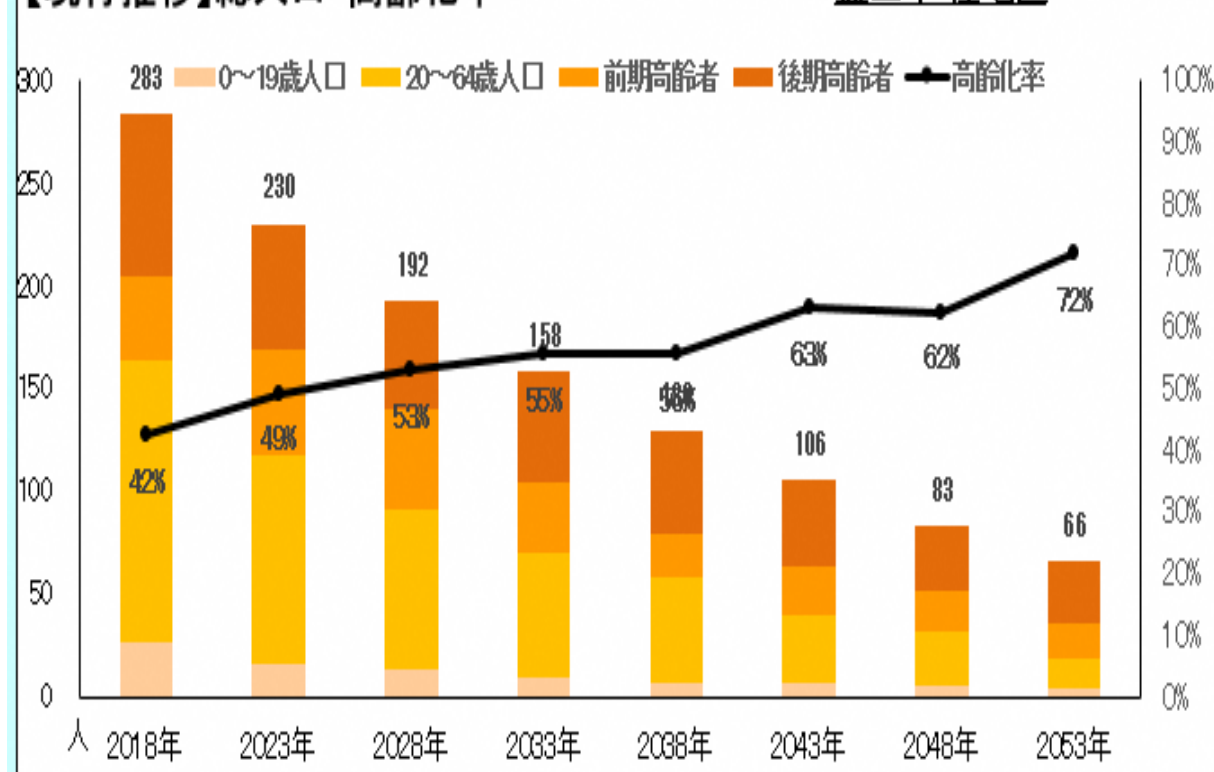
右図参照



③地区の人口シミュレーション

【現行推移】総人口・高齢化率

益田市 種地区



資料: 島根県中山間地域研究センター「人口推計シート」

④地域の魅力化に向けた取組(概要)

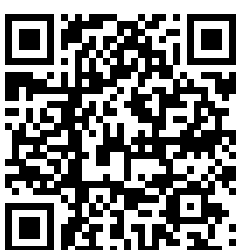
- * 都市部(地区出身者)へ地域の魅力を発信(facebook、種だより、ふるさと便等)
- * 伝統芸能(石見神楽)を活かした交流人口の拡大
- * 運動会等行事へのふるさと選手の参加要請
- * 担い手を育成する為、関係人口拡大を目指す
- * 自転車全国大会が開催される場合は支援と関係人口、交流人口の拡大協力
- * 農産加工品の商品開発と販路拡大
- * 農業法人による未耕作地の解消と新規作物の開拓
- * 種ひだまり茶屋(サロン)を利用した拠点づくり
- * 空き家を利活用した、関係人口受入体制づくり
- * アグリ種との連携で、都市部からの農業体験からの交流人口増加を図る
- * 訪問型サービスD、通所型サービスBによる高齢者支援を拡大させている



【団体長メッセージ】

コロナも5類となり地区行事を行うことができる様になりましたが、未だマスクを外す事ができない状態です。行事開催も感染状況を見ながらとなり、参加者の数も減りました。人口減少で物事を止めるのではなく、できる事からできる様に実施することを模索し行っています。共に生きる地域として何が出来るかを考えながら、皆で参加できる地域づくりを続けたいと思います。

種公民館



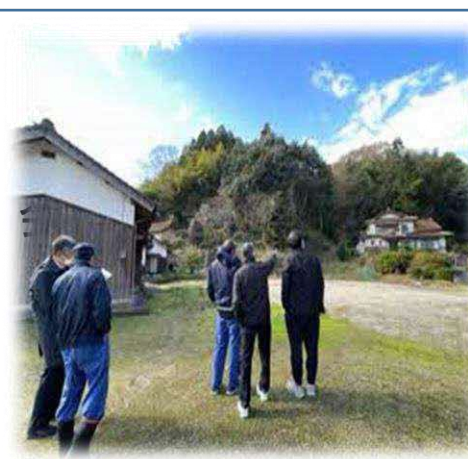
島根県益田市種地区

⑤こんなことが話し合われています。



<農業振興>

- ・ 耕作放棄地が増加していき、比例して農業者が減っている問題を地区でどうするか？を話し合っています。
- ・ 外部団体との連携も模索し、関係・交流人口の取り組みを取り入れ、補助金等をもらいながら農業者育成に努める。



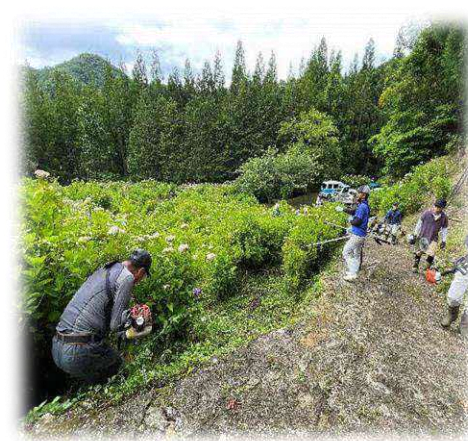
<災害対策>

- ・ 昨年度から大学の先生に有識者からの視点で種地区へ入ってもらいフィールド調査をしてきた事を今度は地元サイドで話し合い、地区に沿ったハザードマップを作り上げる流れを話し合います。
- ・ ドローンを導入し、空撮で避難経路を探す。



<高齢者・子ども支援>

- ・ 介護予防・日常生活総合事業訪問型サービスDの現状と問題点
- ・ 通所型サービスBについての取組み
- ・ 通院や買い物の要望などと地区ボランティア運転手の予定など調整



<定住対策>

- ・ 近年、空き家が増加している事を踏まえ、地域住民らで問題と解決を話し合い、問題定義された点を少しずつ解決の話し合いを進める。
- ・ 外部団体のリノベーション事業者とタイアップし、民泊制度も視野に勉強していく。

⑥こんな地域づくりを行なっています。



自治組織内の農業振興部会「アグリ種」では、種まなびや工房にて種地区で収穫されたもち米を使用し、杵つき餅の販売をしています。

市内ではキヌヤさんのご協力の元、店頭販売を行い、商品のPRだけではなく、種地区の紹介もし、幅広く情報を広げています。そして、年末には種だよりを種出身者に配送している為、同封し正月の鏡餅なども注文を受け、全国発送にも展開している。

今では、毎年注文されるリピーター客も増えたり、市内の方々へもアグリ種のお餅などが浸透し始めている。

高齢者・子ども支援の取り組みは、各地区でも種地区は先進だと声が聞こえる。毎月毎週水曜日午後には、「高齢者サロン」を開催し、メニューも様々な事を取り入れ、100歳体操だけでない地区住民が「義務」でない参加型のサロンを提供している。今年度でB事業、D事業共に2年目を経過した。「継続は力なり」ではないが、徐々に浸透し始め、地区住民へこえが広がりつつあり、参加者も今では多いときは20人を超える。陽だまり茶屋で講演や体操するだけでなく、市外へ遠足に行ったり、食事に行ったり、地元高校生や保育園児らとふれあいをしたりと様々な企画で楽しんでいる。

定住に向けての対策は直接は関係ないかもしれませんが、種地区で毎年収穫している麦栽培を関係した定住・移住対策です。関係・交流人口の事業の一つで麦刈り作業を一緒に手伝ってもらうことから種地区を都市部の方々へアナウンスし、「また来てもらう」といった人数は少ないですが、地道な取り組みをしています。



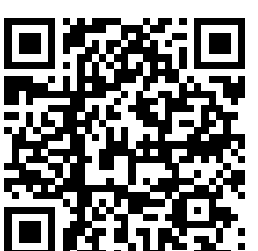
【地域自治組織の所在地】

〒699-3503
島根県益田市下種町1179-1
種むらづくり推進協議会(益田市種公民館内)
TEL:0856-27-1008 (FAX兼)

お問い合わせ先

種公民館

facebook



島根県益田市北仙道地区

地域づくりのテーマ：『みんなが参加する、ひとつづくりを通した、ワクワク感を大切にしたい、まちづくり』



①地区の概要

【地区の現況】（令和6年1月末時点）

- ・人口：385人、世帯数：182世帯、高齢化率：51.9%
- ・総面積15.53km²

【地区の魅力】

- ・海は無くても自然豊かな環境にありながら、市街地までは車で10分、萩・石見空港も30分の立地条件の良い地域。
- ・益田十景にも選ばれている比礼振（ひれふり）山（別名：権現山）に登れば、市内を見渡すことができ春には山頂が桜色に染まる。

【地区の課題】

- ・少子高齢化 / 人口減少 / 学校統合による遠隔通学
- ・農業の担い手不足 / 耕作放棄地の増加 / 鳥獣被害
- ・空き家の増加 / 交通手段の減少 など

②実施団体の概要

【団体の名称】

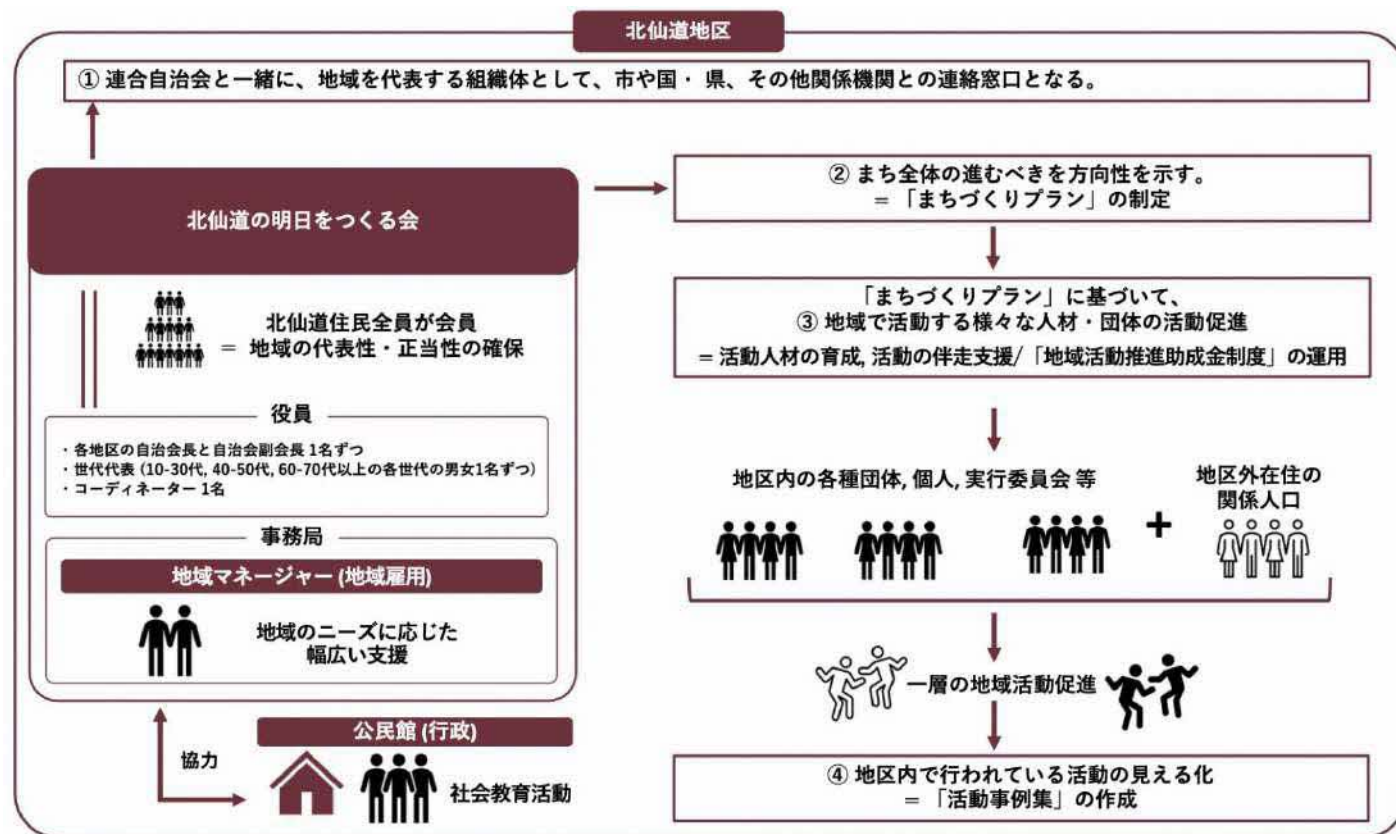
【団体の組織図】

きたせんどう あした
北仙道の明日をつくる会

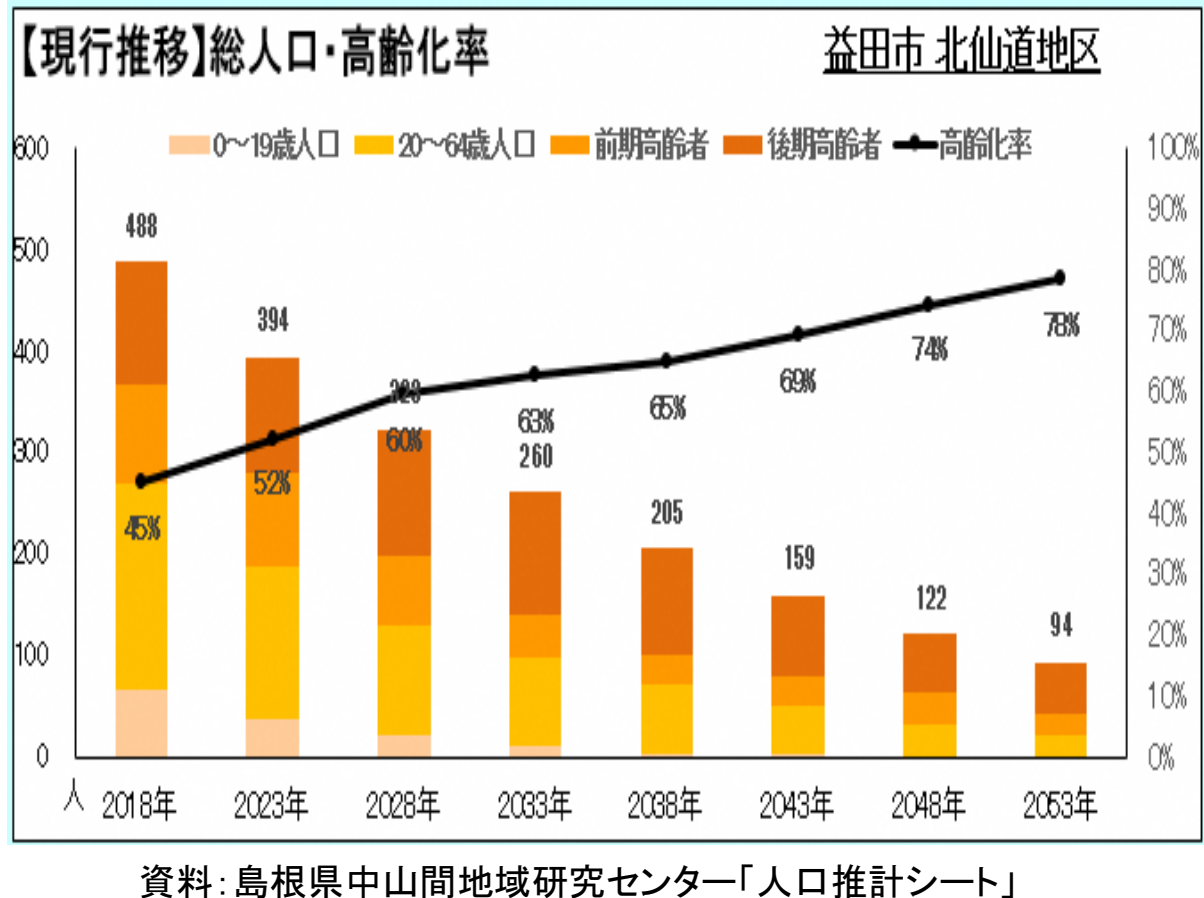
【構成団体、構成員】

会長1名、副会長兼コーディネーター1名、監事2名、
理事7名、事務局長1名

- ◆ 北仙道地区住民全員
 - ◆ 地区内で活動する各種団体、個人、実行委員会
 - ◆ 地区外在住の関係人口
 - ◆ 北仙道公民館
 - ◆ 地域マネージャー
- 協力し合ってサポート



③地区の人口シミュレーション



④地域の魅力化に向けた取組

(1) 地域マネージャーの導入

(2) 部会制を廃止し、より多くの個人、団体による活動を支援する体制に移行

(3) 「地域活動推進助成金制度」の運用開始

(4) 役員会改革（役員に世代代表制度の創出など）

(5) 総会改革（代議員制の導入など）

(6) その他

- ・規約の変更
- ・「活動事例集」の作成
- ・持続可能な地域づくりのあり方の模索



【北仙道の明日をつくる会 会長 山根 健治さんからのメッセージ】

こんにちは。会長になって早一年早いものです。地域マネージャーさんには大変お世話になっています。令和5年度から新体制で自治組織がスタートし、不安定な部分がありましたが少しずつ自治組織が安定してきているように思います。人口減少と高齢化の中でこうした活動も大変とは思いますが、頑張っていきたいと思います。

島根県益田市北仙道地区

⑤こんなことが話し合われています

役員会(2か月に1回程度開催)

今年度から、役員が30代～60代までが幅広く加わり、新体制でスタートしました。
地区内で活動している団体の支援事業報告や、今後の北仙道地区全体の進むべき方向性などについて話し合っています。



⑥こんな地域づくりを行なっています

★北仙道子ども会★



北仙道合宿(1泊2日キャンプ)

地域の子ども、親子を対象とした1泊2日のキャンプ！地区外からも多くの若者の参加がありました。テント張り、カレー作り、花火、野外シアターなどを行い楽しい時間を過ごしました。

★きんさい市実行委員会★



きんさい市

今年度3回の産直市を実施しました。地区内の出店はもちろん、地区外からの出店もあり、地区内外の方同士が触れ合える交流の場にもなっています。
毎回、120人前後の来場者です。

★結いの会北仙道★



北仙道パンフレットVol.3

3年越しの長い時間を経て北仙道パンフレットVol.3が完成！
パンフレットを読んでもらった方々に、インタビューをした方々の思いや作成したメンバーの思いが伝わると思います。

★よめな会★



漬物製造

茄子の辛子漬け、梅干しを中心に製造、販売しています。地域のおばちゃん達が和気あいあいと活動をされています。

★北仙道活力隊★



草刈り活動

北仙道地区内外で、草刈りなどの依頼を受け、活動を行っています。依頼する人も固定化し、安定した活動になっています。

★赤雁老人クラブ★



焼き芋づくり

赤雁地区の老人クラブのメンバーで地域でとれたさつまいもを使って、きんさい市で焼き芋を販売しました。



【お問い合わせ先】

〒699-3674 島根県益田市大草町665-1

北仙道の明日をつくる会(益田市北仙道公民館内)

TEL・FAX : (0856) 22-0218

Facebook : <https://www.facebook.com/kitasendou/>



北仙道の明日をつくる会
Facebook



北仙道の明日をつくる会
Instagram

島根県益田市豊川地区

地域づくりのテーマ：「住みよい豊川・住みたい豊川」そして未来へ とよかわの未来づくり宣言 ～ほしい未来は 自分たちでつくる～



①地区の概要

【地区の現況】

人口：793名（世帯数：364戸 男378名、女415名）

高齢化率：38.5%（令和6年1月末現在）。

益田市の中心市街地に隣接した、都市部と山間部を併せ持つ緑に囲まれた自然豊かな地区。

【地区の魅力】

益田で唯一の一等三角点を有する葦草山や樹齢約140年の岩柵しだれ桜、大谷城跡等の歴史的遺産が数多く点在している。

地域を挙げて子ども地域活動やがん対策に取り組んでおり、地域を元気にすることを目的とした活動が始まっている。

【地区の課題】

自然に恵まれた住みやすい地区であるが、少子高齢化による人口減少、高齢者世帯の増加等により、後継者及び担い手不足など、様々な課題が山積している。

②実施団体の概要

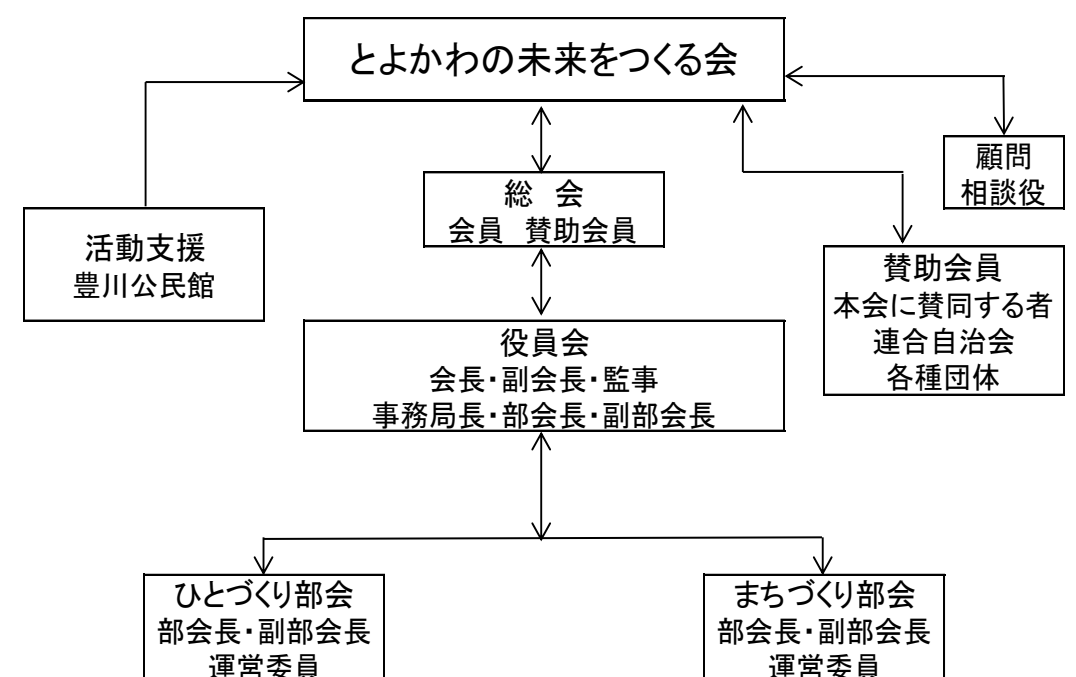
【団体の名称】

とよかわの未来をつくる会

【構成団体、構成員】

- ◆豊川地区社会福祉協議会
- ◆豊川地区公民館運営委員会
- ◆豊川地区連合自治会
- ◆豊川地区民生児童委員
- ◆豊川地区更生保護女性会
- ◆豊川地区食生活改善推進協議会
- ◆豊川地区つろうて子育て推進協議会
- ◆豊川地区団体等
- ◆豊川地区地域住民（I・Uターン者等）
- ◆豊川小学校
- ◆豊川保育園
- ◆本会の目的に賛同する者

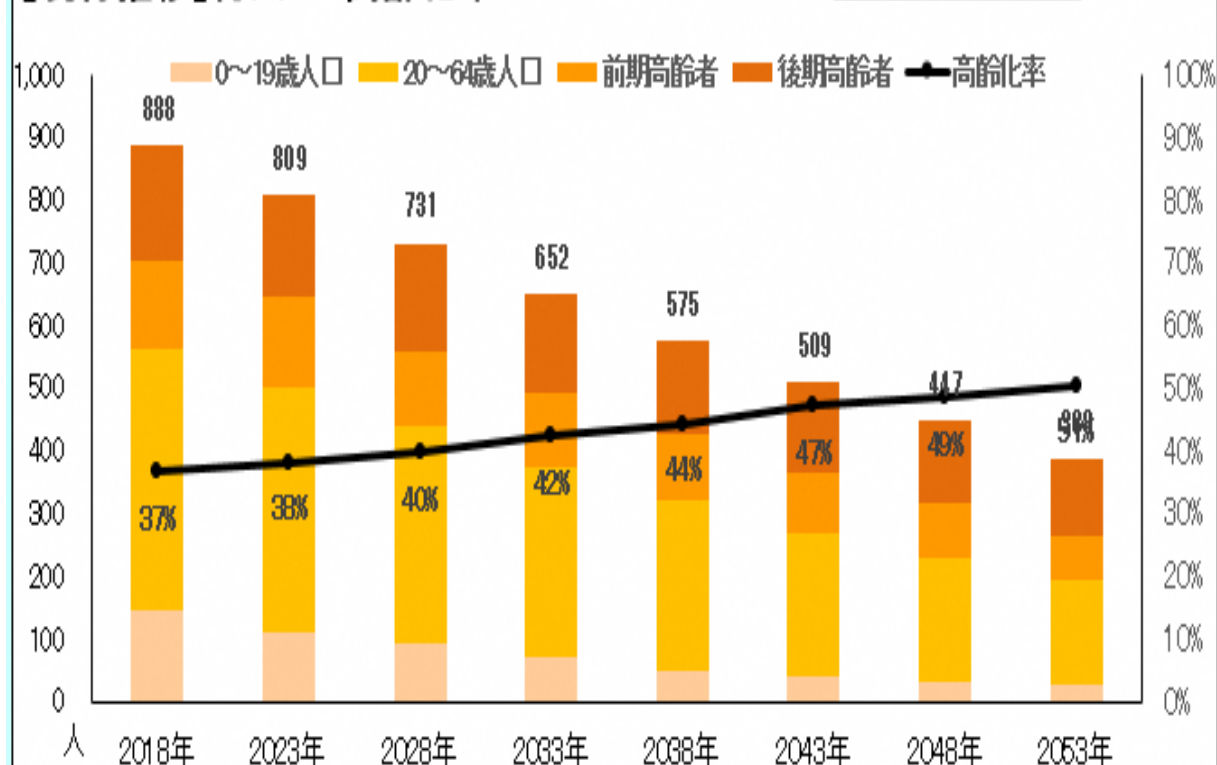
【団体の組織図】



③地区の人口シミュレーション

【現行推移】総人口・高齢化率

益田市 豊川地区



資料：島根県中山間地域研究センター「人口推計シート」

④地域の魅力化に向けた取組

今年度もこれまで同様、継続して取り組む事業や、活動の中で新たに生まれてくる事業、益田市や他の機関との協働により、地域住民と共に積極的な取り組みができた。

来年度も引き続き、魅力のある住みよい豊川づくりの実現に取り組んでいきたい。

◆ひとづくり部会（つろうて子育て推進協議会との連携） **取組内容抜粋**
★とよかわ寺子屋の運営

小学校での学びを深める活動や子ども達の「やりたい」を実現する活動など、子ども達の主体的な学びを深める活動を展開。

★地区内外の交流

地区内の世代間の交流や地域外の方を招いての交流、地域外に出向いての活動発表・交流など「交流」を目的とした活動の機会を創る。

★「とよかわゴン」「とよかわの家」運営管理、お茶プロジェクトの実施他

◆まちづくり部会（連合自治会との連携） **取組内容抜粋**

★空き家調査の継続

空き家の調査の継続、空き地の把握による空き家バンク登録の促進。

★安心して暮らせるまちづくり

研修会により自主防災組織への取組や鳥獣被害防止への関心を促す。

【団体長メッセージ】 山本会長

昨年は、地域づくり団体全国研修交流会が益田市を主会場に開催され、その大会に参画し貴重な経験をさせていただいたことに加え、自分達の活動の振り返りができたことはとても有益なものとなり、今後の活動への大きな励みになりました。

今後は成果を感じつつも固守することなく、地域の変化、大きくは社会の変化を見定め、環境に合わせた柔軟な活動を展開していくことで『住みよい豊川』『住み続けたい豊川』に繋げて行きたいと考えています。



島根県益田市豊川地区

⑤こんなことが話し合われています。



令和5年5月10日(水)
第1回 とよかわの未来をつくる会
役員会を開催。
役員改選及び組織体制の協議。
定期総会、地域づくり団体全国研修
交流会の説明。定例総会は4年連続
で書面表決にて対応。



令和5年11月10～12日
地域づくり団体全国研修交流会島
根大会を開催。
子ども達を育む活動を通して、自ら
「楽しい」を作り出す「ひとづくり」によ
る「まちづくり」や持続可能な地域づく
りの在り方について事例発表。



拠点整備に係るワークショップ
9月15日、11月21日に整備計画
の説明及びワークショップによる意
見交換を開催。
コンセプト面図や模型等を参考に
地域の方々より貴重なご意見をいた
だきました。



今年度は三役会を期初に開催。役
員会7回、ひとづくり部会3回、ひとづ
くり部会4回を開催。
第3期プランに向けた「楽しく」「子ど
も大人も」「自分たちで」をキーワード
に色々な世代を巻き込む仕掛けづく
りを展開している。

⑥こんな地域づくりを行なっています。



★とよかわっしょい!!の活動
小学校でのテレプレゼンシステム「窓」
を活用したハノイ(ベトナム)とのオンライ
ンでのリアルな交流を実施。



★防災・鳥獣対策防止研修会
益田市の防災対策を災害発生時の対
処等の研修会と鳥獣の生態を踏まえた
被害対策の研修会を併せて開催。



★益田東中学校6かるプロジェクト
2年生の「総合学習の時間」を地域の
方々との交流を目的に「タイルアート教
室」を開催。



★ひとまちカレッジとよかわキャンパス
新規講座「プラモデル教室」を実施。誰
かの「楽しい」をみんなの「楽しい」にする
講座として、若者世代をターゲットに取組
みを展開。



★お茶プロジェクトの実施
地区の有志による茶畑の整備、茶摘
み、袋詰め等小中学生とのお茶づくりも
実施。未来へ繋ぐお茶づくりとして活動
が評価される。



★とよかわ寺子屋の運営
長期休暇には科学教室、アナウンサー
教室、パン作り教室など11種類の様々
な教室を開催。子ども達の「やりたい」を
実現する活動を支援。

お問い合わせ先

〒698-0012
島根県益田市大谷町334-1
とよかわの未来をつくる会(益田市豊川公民館内)
TEL:0856-22-0205
FAX:0856-22-0205
H P: <http://masuda-toyokawa.wixsite.com/miraidukuri/> ⇒



島根県益田市真砂地区

地域づくりのテーマ:「食育」と「福祉」を主軸に、地域で子どもを育てる“子育てしやすい”まちづくり



①地区の概要

【地区の現況】(令和6年1月末時点)

- ◆人口:302人(高齢化率:56.0%)/144世帯 ◆自治会:8
- ◆面積:29.72㎡ ◆市内より約15km(車で約20分)

【地区の魅力】

日晩山(標高744m)の伏流水を利用した米や豆腐が特産品。H23年度から公民館・地域商社・小中学校が連携して開始した「食育活動」が実を結び、現在は社会福祉法人も参画し発展。さらに真砂保育園の「里山保育」は地域住民を巻き込んだ小さな福祉活動として定着しており、山間部の小さな地区ながらソーシャルイノベーションの事例として地域づくりの専門家からも注目されている。昨年3月からは統廃合となった中学校跡地に小学校、保育園、診療所、防災拠点がすべて一体となった複合施設(地域活性化交流館)の運営もはじまった。

【地区の課題】

年々深刻となる人口減少、高齢化。交通弱者の方の買い物、通院支援。複合施設の運営がはじまり、手探り状態。小学校・保育園・公民館・診療所としっかりと連携を取りながら一体となって地域の問題解決に向け取り組んでいきたい。

②実施団体の概要

【団体の名称】

地域自治組織 ときめきの里 真砂(H28.4.24設立)

【構成団体、構成員】

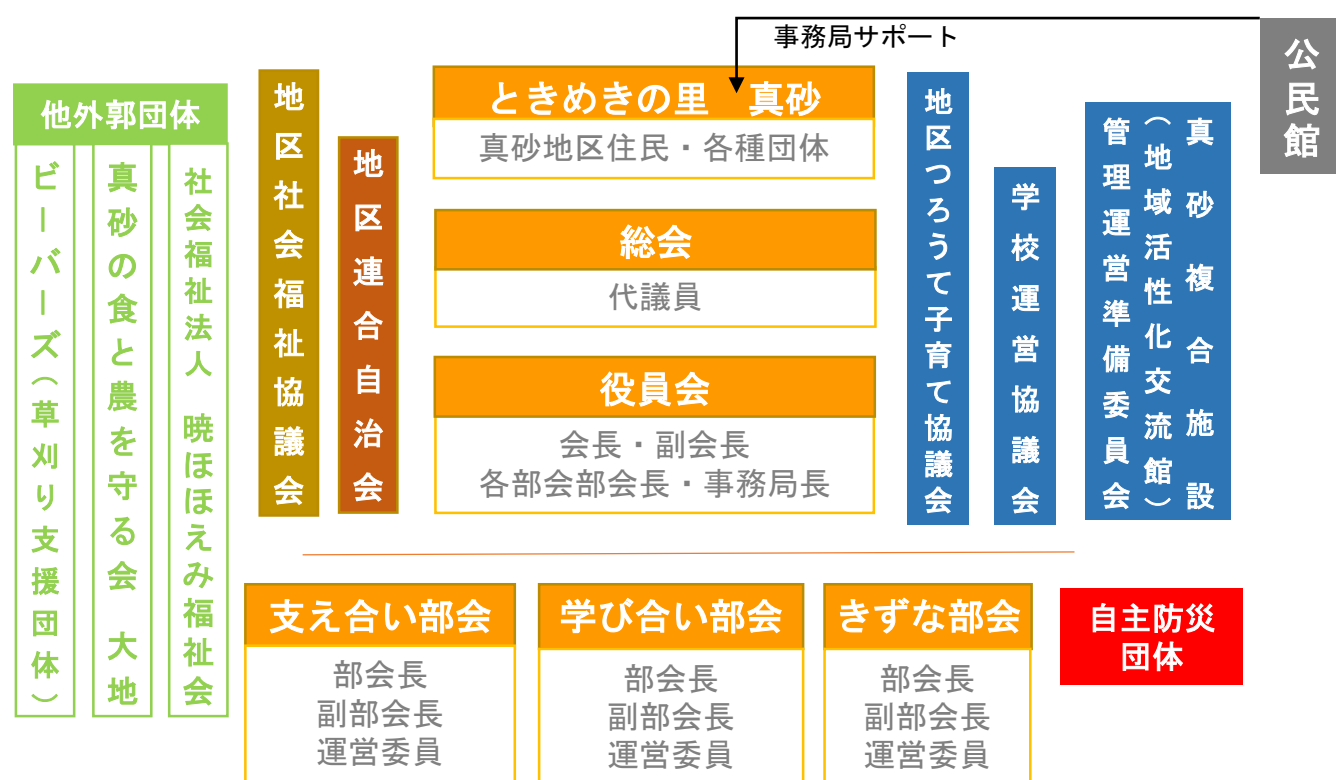
会長1名、副会長2名、監事2名、事務局長1名、会計1名

- ・支え合い部会 (男性2名、女性5名)
- ・学び合い部会 (男性4名、女性2名)
- ・きずな部会 (男性10名、女性5名)
- ・自主防災団体真砂 (班長5名、事務局1名)

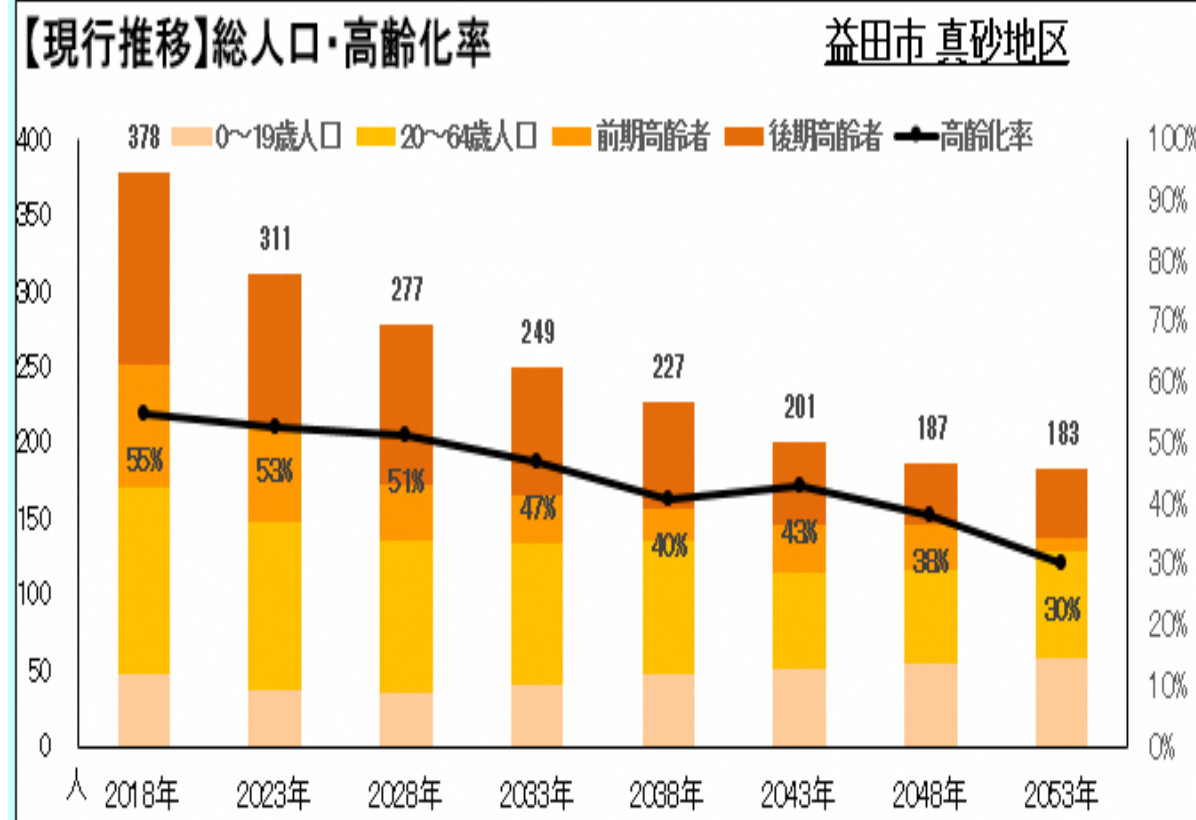
◇他主要活動

- ・ひら山のふもとカフェtele-glue(てれえぐれえ)運営管理

【団体の組織図】



③地区の人口シミュレーション



資料: 島根県中山間地域研究センター「人口推計シート」

④地域の魅力化に向けた取組

◆保育所等への給食食材提供《高齢者の生きがいづくり》

高齢者の生きがいづくりと経済力向上を目的に、H23年より地区住民の家庭菜園の“あまり野菜”を市内3ヶ所の保育園や関連する福祉介護施設の給食食材等として集出荷しており、画期的なスモールビジネスとして多数の専門家からも評価を得ている。活動開始当初に公民館教室として実施していた真砂オリジナルの「土づくり」が参加した生産者の中で定着し、安心安全をコンセプトとした真砂野菜ブランドを確立している。

◆ふれあいバスツアー《買い物支援×交流》

交通弱者を対象に、地区内デイサービスの送迎車の空き時間を利活用し、市内大型スーパーで買い物をした後、真砂保育園にて園児と交流するバスツアーを月5回実施している。(※園児との交流は感染症対策として現在も休止中)

◆真砂保育園の里山保育《小さな福祉活動》

“地域全体が園庭・住民全員が保護者”がコンセプトの「里山保育」は、地域の方とのふれあいを通した多様な学びを大切にしたい保育。園児は日々の“さんぽ”で住民と交流を深め、保護される立場だけでなく、高齢者に対しては必然的に見守りのかねた小さな福祉活動を行っている。



【団体長メッセージ】

地域活性化交流館(小学校を核とした複合施設)が地域の夢を乗せて4月に船出しました。人口減少や高齢化、子供たちの減少、耕作放棄地の増大など真砂地区にとって明るい話は少なくなりました。そのような厳しい地域情勢の中コロナにより停滞してしまった地域を以前のレベルまで押し上げるためには相当なエネルギーが必要になるかと思います。そのためには、みんなで話し合い、意見を出し合い、活動に移していくための拠点として当施設を有効活用していきます。ときめきの里真砂は「美しく心優しい里山」を子供たちに引き渡すために住民、諸団体と力を合わせ笑顔と笑い声の絶えない地域を目指し前を向いて歩んでいこうと思います。

島根県益田市真砂地区

⑤こんなことが話し合われています



定期総会(5月)

益田市立地域活性化交流館、メディアルームにて実施。
前年度事業報告・決算報告
役員改選
新年度事業計画・収支予算案の承認



視察・研修

- ・宮崎県美郷町
- ・総務省
- ・山口県埴生地域交流センター
- ・匹見上
- ・しまコトアカデミー



イベント実行委員会

感染症対策として、さくら祭りは今年度も中止となったが、納涼祭花火大会、運動会、まるごとフェスタのイベントを実施



竣工式世話人会

竣工式と同時に複合施設のお披露目を企画。複合施設を開放し、パネル展示やアイデア募集、教室等で飲食の販売。過去の卒業アルバムをデジタル化し展示、過去の卒業制作を展示

⑥こんな地域づくりを行なっています

きずな部会 多世代交流イベント



支え合い部会 認知症予防カフェ



目的: 目的: 認知症の予防と家族へのケア、及び地域全体での理解促進を目的とし、設立以降毎年継続中。

概要: 年3回、デイサービスひぐらし苑にて開催(送迎付き)。みんなでおしゃべりをしたり、ビンゴゲームで脳を活性化させるなど楽しいひと時を過ごしました。

地域活動拠点

ひら山のふもとカフェtele-glue(てれぐれえ)



目的: 地域の子どもと大人が様々な活動によりつながることで、子どもたちの思い出づくりと地域への愛着形成を、また大人が活動を通して地域の子どもたちの性質を把握したり様々なことを伝えることで次世代育成を図る。

概要: ①「親子で川遊び」

8月5日(土)子どもたちの夏休み活動の一環として柿原地区で川遊びを実施

②「みんなでラジオ体操」

8月、全5回実施

③「大学生と夏休みの勉強会」

8月18日・21日にボランティアハウスと共催で、真砂出身の大学生数名を講師に迎え、小中学生の夏休みの宿題を教えてもらいながら交流した。

支え合い部会 移動販売



目的: 独居や高齢者世帯の買い物弱者のための支援としてローソン高津店にご協力いただき11月から開始。

概要: 毎週月曜日、可能なかぎりさわやかへるす主催の100歳体操に合わせて実施。Tele-glueやデイサービスひぐらし苑をはじめ、地区内3ヶ所で販売。

目的: 飲食店のない当地区において、住民が気軽に集まり、飲食しながら地区内外の人たちと交流できる場づくり等を目的にH28にオープン。

概要: 調理師免許の資格不要で誰もワンディシェフとして“いちにちカフェ”が営業できる厨房付きレンタルサロン。

定期出店は市内雑貨店企画の月イベント「イツモニ+」で、プロアマ問わず市内外のシェフによるランチ、リラクゼーションの施術や手作りワークショップ等のイベントを開催しており、週に1回市内の指圧院の出張マッサージも行っている。

また週に2日、診療日に合わせてお気軽カフェを開いており、診療の待ち時間やお散歩の合間に地域の方にご利用いただいている。

お問い合わせ先

【ときめきの里 真砂 事務局】

〒698-0041 益田市波田町イ490-1 ひら山のふもとカフェtele-glue横

TEL/FAX 0856-26-0002(真砂公民館内)

HP(真砂+) <http://masagoplus.jp/>

Facebook(真砂+) <https://www.facebook.com/masagoplus/>



島根県益田市西益田地区

地域づくりのテーマ：一人ひとりが輝く “いいまち にしますダ!!”



①地区の概要

【地区の現況】（令和6年1月末時点）

人口：3,634人 世帯数：1,721世帯

高齢化率：47.1%

自治会数：17 〈益田市においては中規模の地区〉

【地区の魅力】

中心部には、各金融機関、保育園、小・中・養護学校、自動車学校、個人医療機関、薬局、各種福祉施設、スーパー、コンビニ、飲食店などがあり、ある程度の施設がそろっている。

また、清流高津川や匹見川が流れ、鮎釣りや川辺の活動などたくさんの人が楽しめる自然環境がそろっている。2019年公開の「映画 高津川」では、ロケ地のひとつにもなった。

【地区の課題】

人口減少や高齢化の進行などにより、自治会役員をはじめ地域の担い手不足などの課題が浮き彫りになってきている。

②実施団体の概要

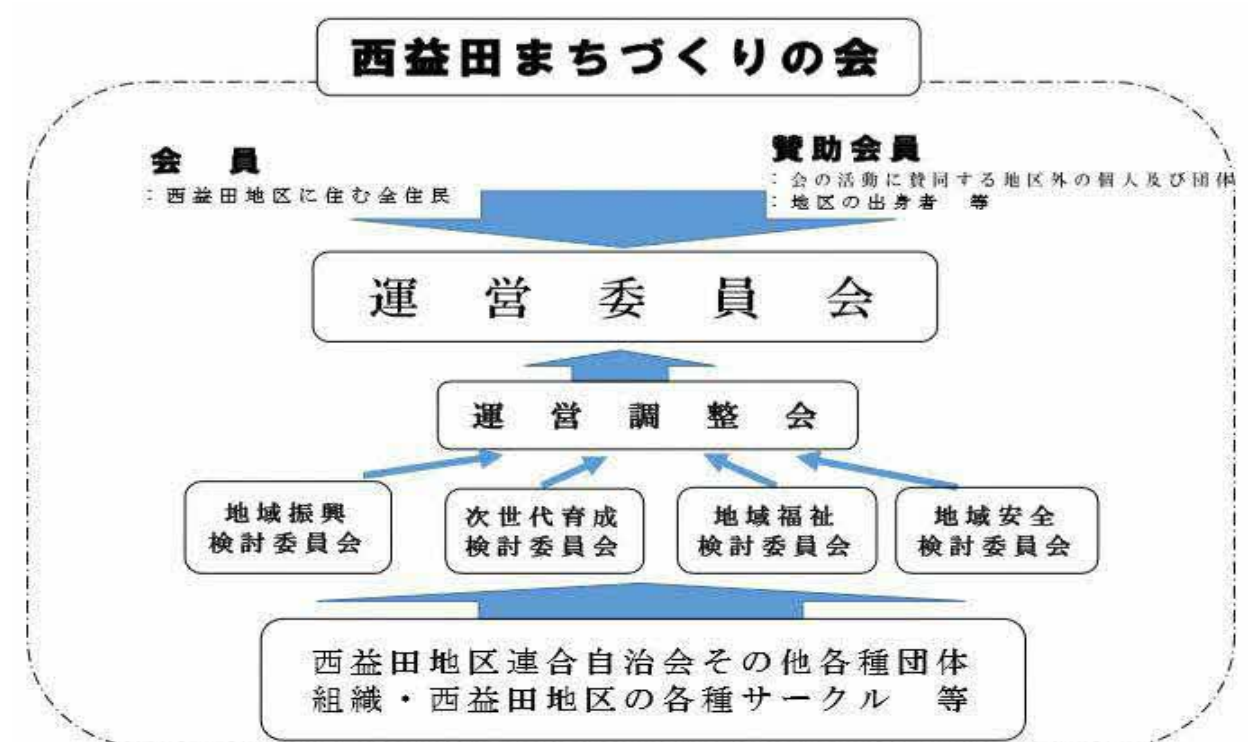
【団体の名称】

西益田まちづくりの会

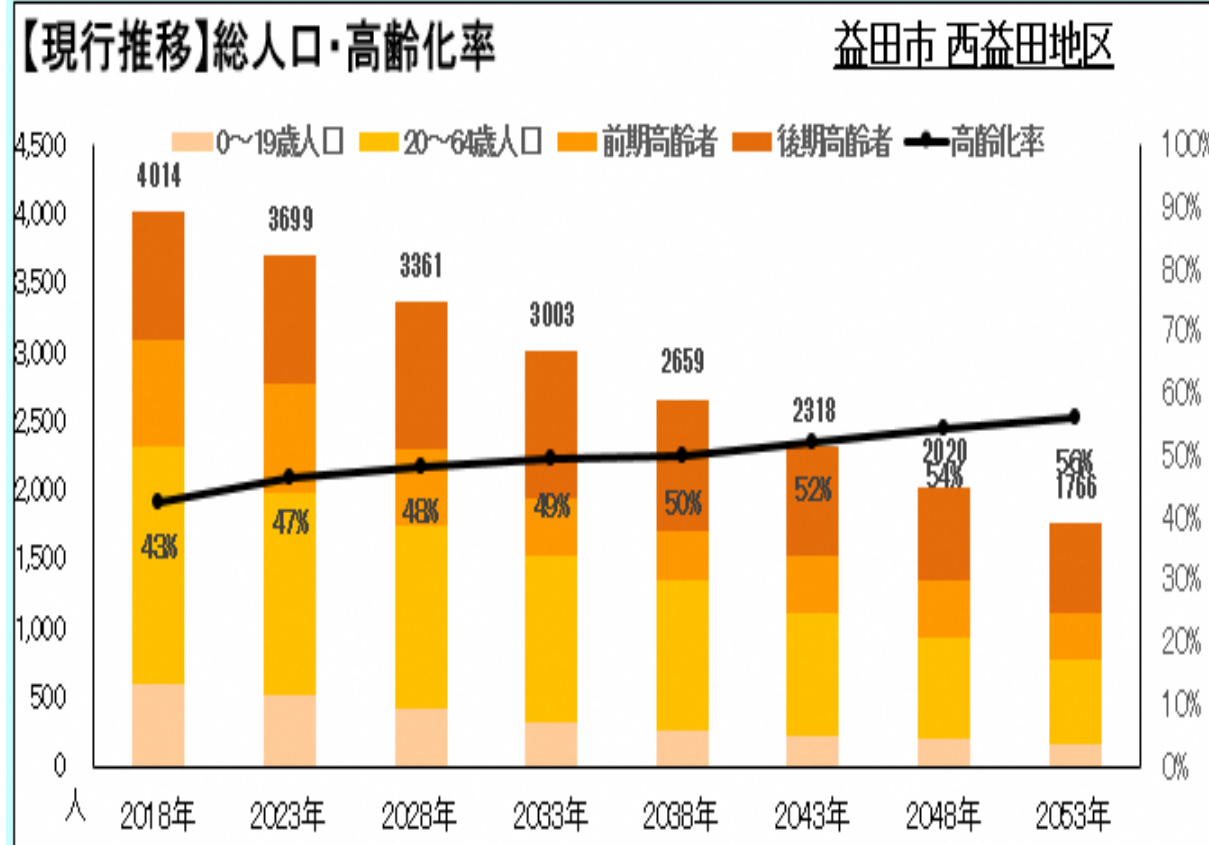
【構成団体、構成員】

西益田まちづくりの会
西益田地区連合自治会
西益田地区社会福祉協議会
豊田・西益田公民館運営委員会
豊田・西益田公民館
益田商工会議所西益田支部
西益田地区つろうて子育て協議会
西益田地区青少年育成市民会議
地区住民

【団体の組織図】



③地区の人口シミュレーション



資料：島根県中山間地域研究センター「人口推計シート」

④地域の魅力化に向けた取組

❖ 地域振興検討委員会

- ・空き家情報提供募集プリントの作成と配布
- ・「おかえりなさい」のぼり旗設置活動
- ・手作りイルミネーション設置活動

❖ 次世代育成検討委員会

- ・「西益田 灯火祭」の開催

❖ 地域福祉検討委員会

- ・「あんしん・連絡カード」の作成と配布

❖ 地域安全検討委員会

- ・防災学習会、鳥獣被害対策学習会の開催

❖ 運営委員会

- ・梅賀山「里づくり会館」整備事業（まちづくり活動特別補助金）



西益田まちづくりの会
マスコットキャラクター
西田マス

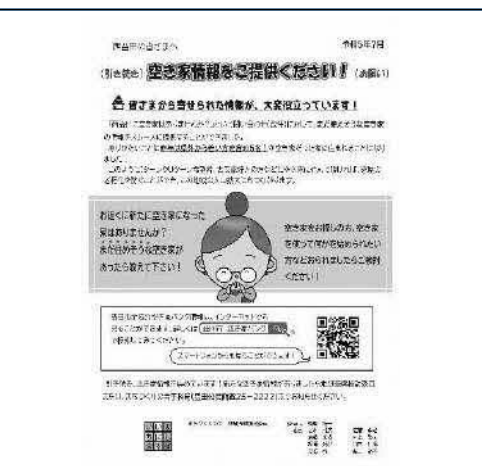


【西益田まちづくりの会 会長 牛尾智昭さんよりメッセージ】

「西益田まちづくりの会」は設立5年目を迎えました。設立当初の目標であった「課題検討の話し合いの場と人の確保」は継続できているように思います。今後は、「検討」の域を超えて、いろいろと具体的に取組や活動を展開していければよいと思います。また、キーパーソンの発掘も視野に入れながら活動していくことが大切だと思っています。

島根県益田市西益田地区

⑤こんなことが話し合われています



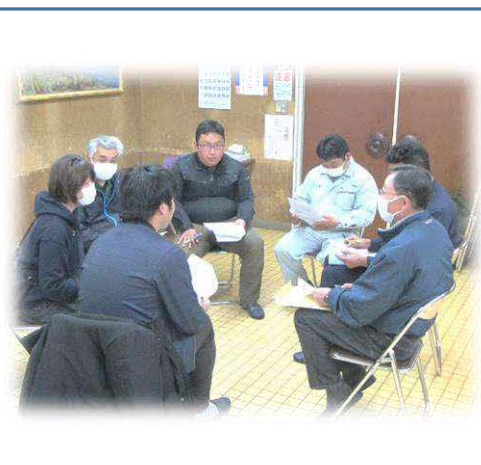
地域振興検討委員会では、地域の課題にもなっている空き家問題について検討を進めています。特に“まだ住めそうな空き家”に重点を置き、地区住民から情報提供を求めるプリントを作成し、配布しました。



地域安全検討委員会では、地区住民に鳥獣被害対策に対する意識を高めてもらうため、学習会を開催しました。西部農林水産振興センターや農林水産課の職員から、身近な鳥獣に焦点を絞ってお話頂き、対策へのヒントやアドバイスをいただきました。



地域福祉検討委員会では、「あなたの困りごとアンケート」をもとに、検討を進めています。今回は、主に「高齢者への対応」に着目して取組み、万が一の時や自分で見えるために活用してもらおうと、「あんしん連絡カード」を作成し、全戸へ配布しました。



12月に行った「まちづくり合同会」では、運営委員18名、4つの検討委員37名、顧問・監事6名などが一堂に集まり、グループごとのフリートークで、設立より5年間の振り返りや、成果と課題について意見・感想を出し合いました。

⑥こんな地域づくりを行っています



西益田 灯火祭

「地域を元気にしたいんです！」「地域のために何かしたいんです！」この中学生の思いで始まった灯火祭は、今年で4回目です。6月から、西益田地区の中高生と大人からなる「西益田 灯火祭実行委員会」が企画検討を進め、11月3日に開催しました。今回の新たな取組みであった「竹のアーチ」や「スタンプラリー」、「ワークショップ」も盛況で、多くの方に作成協力いただいた約1,500本の竹灯籠と共に、約1,000人の来場者に楽しんでいただきました。

手作りイルミネーション設置活動

西益田地区の冬の風物詩であるこの活動は、今年で11回目となりました。地域振興検討委員会が主体となって取組み、横田町家下の市営住宅横の空き地（旧豊田小跡地）に設置しました。まちづくりの会と地域の協力者の方々、横田中学校の有志のみなさんに協力していただき、色とりどりのイルミネーションを設置しました。国道からもよく見えるため、地区内外のたくさんの方が写真撮影を楽しんでおられました。

自然の恵み(地域資源)を活かした活動

西益田地区には清流高津川や匹見川が流れており、年間を通して様々な“川の活動”が行われています。小学生や保育園児を対象とした稚鮎の放流体験、体ひとつでプカプカ流れる親子川流れ、名人に仕掛け作りから教わる川釣り教室、保育園児から中学生を対象とした鮎体験交流など、西益田の川文化を学ぶ活動を通して、次世代を担う子どもたちに自然の豊かさを伝えています。また、今回4年ぶりに復活した「いかだ流し」も西益田を代表する川活動のひとつです。

お問い合わせ先

〒699-5132
島根県益田市横田町454-3
西益田まちづくりの会(豊田公民館内)
TEL:0856-25-2222(FAX兼)



Facebook



NISHIDAMASU

Instagram



島根県益田市二条地区

地域づくりのテーマ： **里山をいかし、人と自然がつながる二条** 『みんなでつろうてようしようや』

地区の写真



二条ふれあい祭りは地区内外から来た多くの方で盛り上がった

①地区の概要

【地区の現況】

人口、高齢化率（令和6年1月末時点）
人口：457名（男性：217名、女性：240名）
世帯数：243世帯 自治会数：5
高齢化率：55.4%

【地区の魅力】

二条地区は、益田市の西端に位置する比較的標高差のない中山間地域で、お米のおいしさが魅力のひとつです。二条の中心には益田市指定文化財の横山城址があります。また、6月になると二条川を中心に多くのゲンジボタルが飛び交う自然や、日本一の里山を目指し、環境保全にも取り組んでおります。

【地区の課題】

- ・高齢者・生活支援（医療と買い物等のニーズに合わせた移送）
- ・子育て支援（保育サービス、子どもの学習支援）
- ・Uターンや定住促進と次世代の担い手のひとつづくり。
- ・地域産業の振興（農業。農地の維持管理、観光の運営・体験）

②実施団体の概要

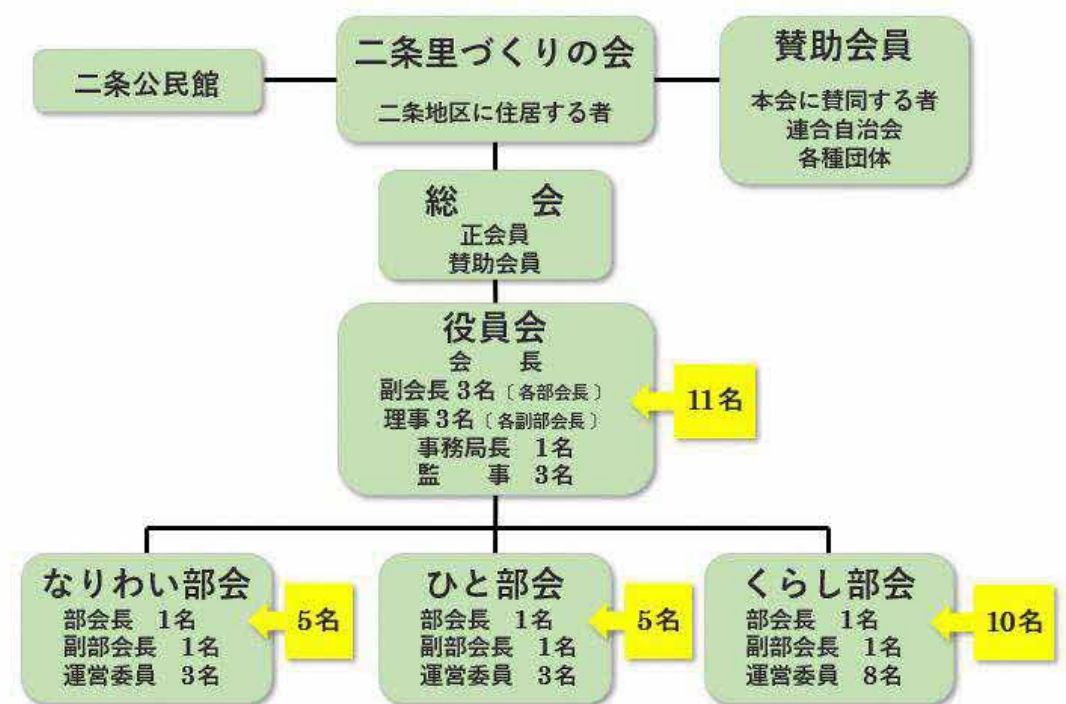
【団体の名称】

二条里づくりの会（にじょうさとづくりのかい）

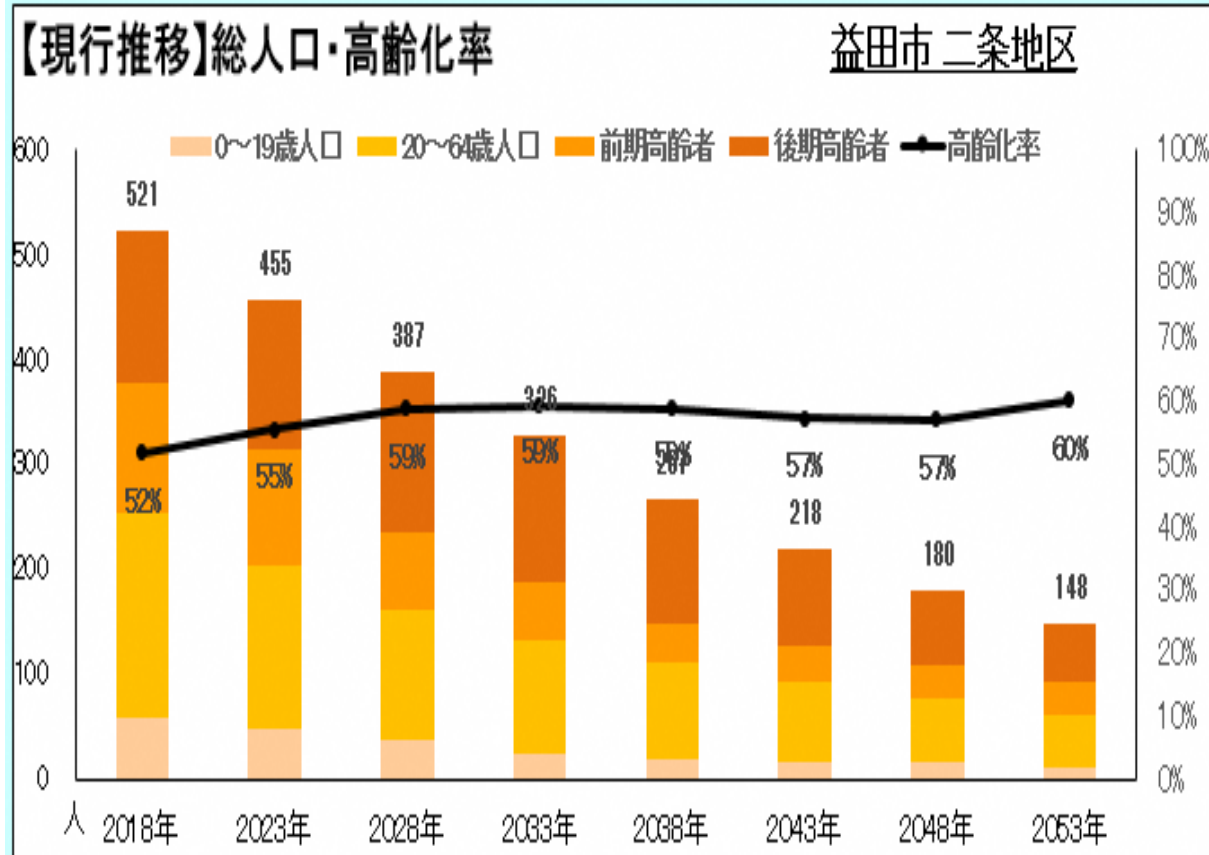
【構成団体、構成員】

- ・運営委員 全 25 名（内役員数11名）
- ・なりわい部会 5名
- ・ひと部会 5名
- ・くらし部会 10名
- ・監事 3名
- ・事務局長 1名
- ・事務局員 1名

【団体の組織図】



③地区の人口シミュレーション



資料：島根県中山間地域研究センター「人口推計シート」

④地域の魅力化に向けた取組

乗合タクシーの体制づくり 移動販売・生活基盤の拠点づくり 里山景観保全



【団体長メッセージ】

先ず、今回の能登半島地震で被災された多くの皆様、また不幸にもお亡くなりになりました方々に謹んでお悔やみとお見舞いを申し上げます。さて、二条里づくりの会では新しい取り組みとして、ローソン・とくし丸・宮田石油さんのご協力に加え、益田市役所の尽力により今のところ月に1回、公民館の駐車場を会場にささやかではありますが買い物支援の体制ができつつあります。たくさんの皆様のご利用をお待ちしております。今後とも皆さんの「困った」を解消し、小学校の子どもたちには豊かな「原体験の場」を用意して活力ある地域の創造に尽力する所存であります。変わらぬご支援とご協力をお願い致します。



島根県益田市二条地区

⑤こんなことが話し合われています



令和5年度 定期総会
5月20日(土)10時～11時 27名出席
令和4年度の事業報告及び収支決算と監査報告しました。
令和5年度の議案である事業計画案・収支予算案についての話し合、いそれぞれ出席者の承認されました。



第3回役員会
12月21日(木)19時～20時
・移動販売や乗合タクシーの利用状況の説明しました。
・市長への周辺道路環境整備の要望についての話し合いをしました。
・なりわい部会のふるさと便受注数などについての報告しました。



第1回役員会
8月1日(火)19時～20時
10月28日開催予定の「二条ふれあい祭り」実行委員会より準備片付けのお願いがありました。
「令和5年度後期 まちづくり特別補助金」審査会について、当地区の提案についての話し合いをしました。



県外視察受入
6月20日(火)10時～12時
宮崎県美郷町職員、地域おこし協力隊他4名が視察されました。
・ひと部会長が空き家対策と空き家の再利用に向けた工夫を説明しました。
・佐藤会長は交通移送問題(買い物支援、医療機関受診支援)などの実情と将来に向けた取組みを説明しました。

⑥こんな地域づくりを行なっています



・種地区二条地区合同ナイターグラウンドゴルフ大会開催

7月26日(水)旧西南中学校グラウンドにおいて、二条公民館主催、種むらづくり推進協議会と二条里づくりの会共催でグラウンドゴルフ大会が開催され、両地区合わせ31名が参加しました。
世代や性別に関係なく多くの参加者で集い楽しんだ。また、他地区の交流は新たな活動と地域づくりの一步につながりました。



・上画像は、INAKAライドエイドステーション設営の様子

11月5日(日)大会に出場する選手のサポートとして桂平小学校にエイドステーション設営しました。ひと部会を中心に22名のボランティアが集まり、110名の大会出場者を迎え入れ交通整理、誘導、補給食(そめめん、バナナ、せんべい)、ドリンクの配給をして大会の運営をサポートをしました。二条地区の皆さんの沿道からの応援も相まって、地区の良い面のアピールになりました。



・上画像は、移動販売会の様子

二条地区では、食料品や日常雑貨を販売する個人商店が閉めてしまい買い物空白地となっていました。本年度より買い物支援として移動販売を公民館前で以下の通り開催しています。(くらし部会)
・とくし丸を毎週月曜日10:40～11:00
・ローソンを毎週木曜日13:00～13:30
・灯油販売を第一・第三月曜日10:30～11:00
・毎月第一月曜日10:30～11時 3店の合同販売会を公民館前で開催中です。あわせて乗合タクシーの増便をしたことによりお買い物へのアクセス手段のひとつとなりました。

お問い合わせ先

二条里づくりの会 事務局(二条公民館内)
〒698-2254
島根県益田市桂平町 76 番地 1
TEL/FAX: 0856-29-0001
HP: <https://nijo2project.wixsite.com/website> Facebook: <https://www.facebook.com/nijo2project>



島根県益田市美濃地区

まちづくりプラン将来像

「あたたかな絆に支えられ、みんなが安心して暮せる美濃づくり」



美濃公民館は、令和2年3月に新築され生涯教育・集い・子育て支援・防災・医療など多機能を有した拠点として期待されています。

①地区の概要

【地区の現況】（令和6年1月末日現在）

人口：291人 高齢化率：53.3% 世帯数：141世帯

【地区の魅力】

地域住民のボランティアにより里山の豊かで美しい景観の維持向上が図られています。近年、耕作放棄地対策や景観向上を目的に、大輪のひまわりを一面に咲かすことで住む人を癒しています。毎年開催される「ひまわり迷路」では、訪れる多くの方々の目を楽しませ交流人口の拡大に繋がっています。

また、中世の山城「桜田城」を地域のシンボルと位置づけ、地元の歴史を学ぶ拠点とすべく整備を進めています。

【地区の課題】

住民が安心して暮せるよう持続可能な地域づくりのため策定した「まちづくりプラン」に則り活動していますが、それは住民のボランティアに支えられたものであり、今後自主財源を確保できるような新たな事業展開が必要と考えています。

②実施団体の概要

【団体の名称】

はつらつ美濃の里〔平成29年5月27日設立〕

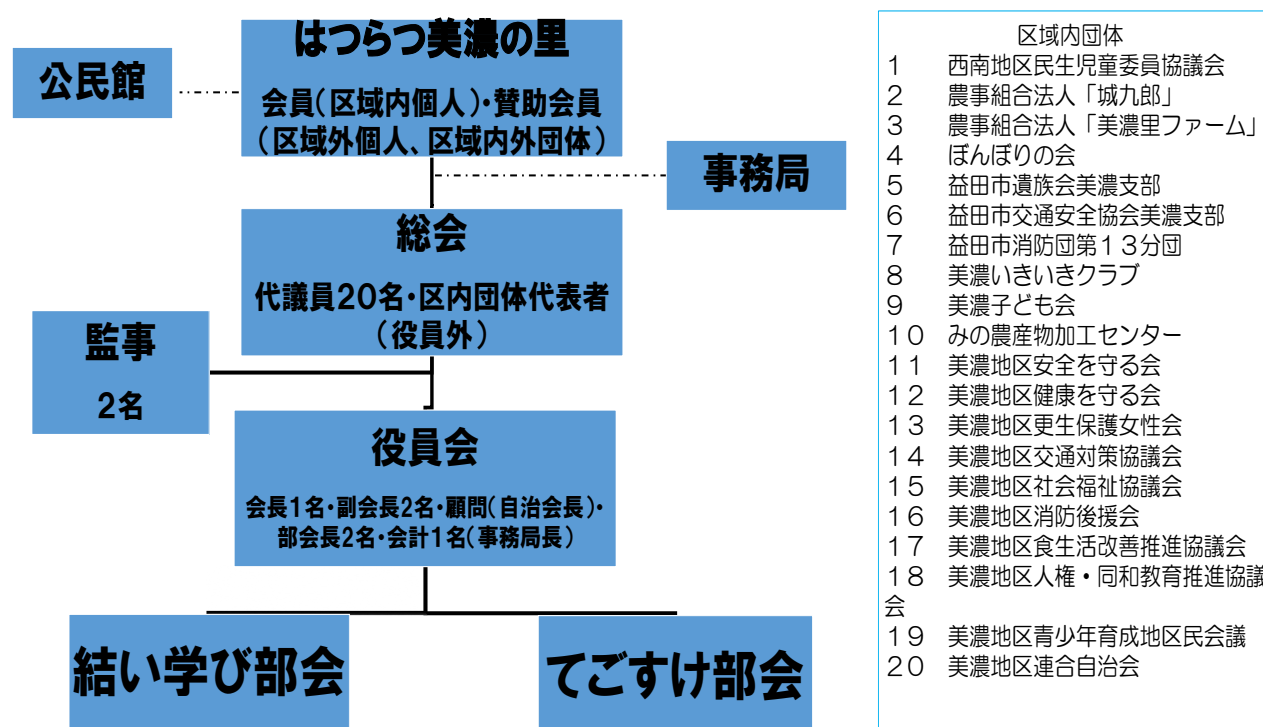
【構成団体、構成員】

委員数 28名（うち役員 12名）

事務局長（会計） 1名、事務局 1名

- ◆ 美濃地区連合自治会……6名
- ◆ 自治組織代議員……20名
- ◆ 区域内団体……20団体（内1団体・重複）

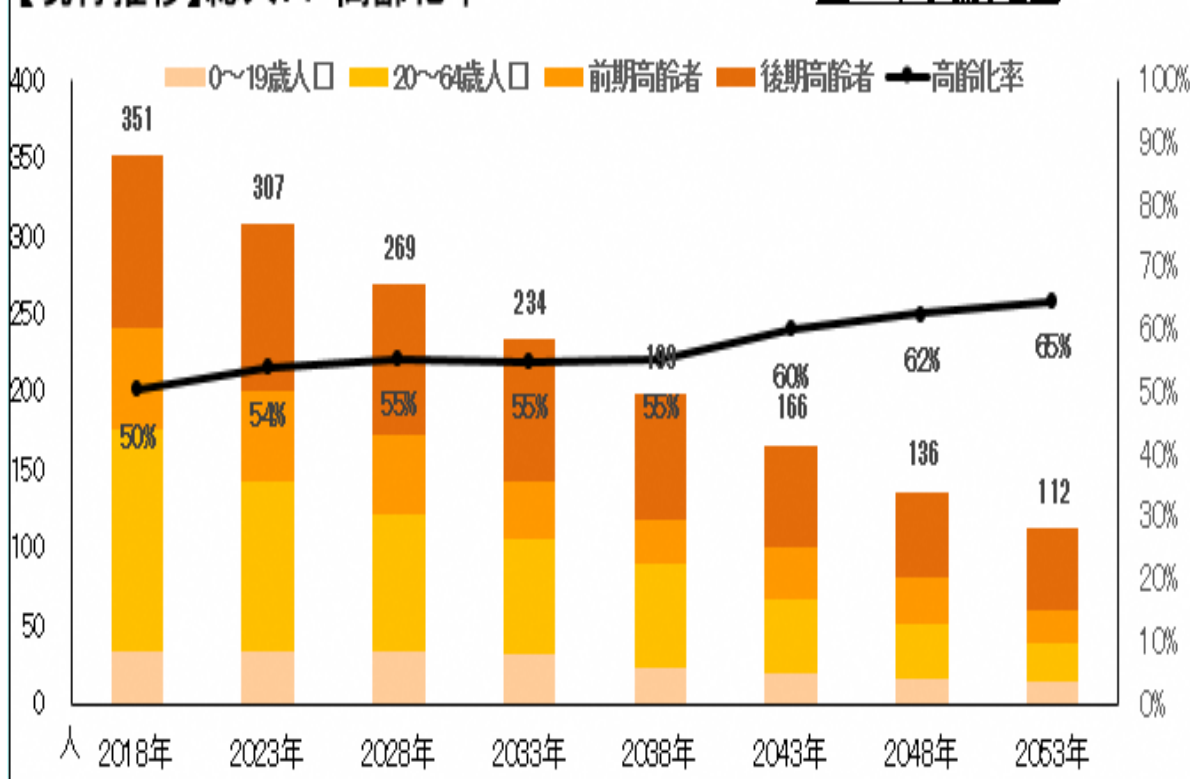
地域自治組織 はつらつ美濃の里 組織図



③地区の人口シミュレーション

【現行推移】総人口・高齢化率

益田市 美濃地区



資料：島根県中山間地域研究センター「人口推計シート」

④地域の魅力化に向けた取組

● 「共に学び、絆をつくる」：結い学び部会

- ・地区外へ自治組織だより郵送（広報誌含）
- ・地域マップ（見守り・防災）づくりのため調査・資料集め
- ・歴史の掘り起こしと継承事業（伝統行事・山城整備・看板）
- ・どんど焼き（子供達への参加案内）
- ・スマホ勉強会、LINE活用

● 「共に支え合える美濃」：てごすけ部会

- ・外出支援事業「てごすけ号」の運行
- ・草刈機械等の貸し出し事業
- ・おたすけ隊事業（軽作業、草刈り）
- ・ひまわり畑、菜の花畑播種

● 「人をつなぎ、未来へつなぐ」：その他

- ・人を呼び込むことで地域の活性化に繋げていく

◆ 「灯り」が照らす地域再生事業：ぼんぼりの会

- ・ぼんぼりロード〔夏〕/イルミネーション〔冬〕
- ・環境保全整備事業/地区内行事の実行支援

【団体長メッセージ】

急速な人口減と高齢化の波が周辺地域に深刻な影響を与え、生活する上で様々な課題が生じております。その状況を住民自ら少しでも改善しようと、平成29年5月自治組織「はつらつ美濃の里」を立ち上げ、既存の協力団体と共に安心して暮らせ豊かな生活が送れるよう活動を進めております。コロナ禍で活動を自粛しておりましたが、今後さらに、誇りある地域、持続可能な地域となるよう活動の輪を広げて行きたいと考えております。



島根県益田市美濃地区

⑤こんなことが話し合われています



定期総会(5月)
前年度事業報告・決算報告
新年度事業計画案・収支予算案の承認
2部会の活動計画及び予算について
規約の改正、役員改選



中世の山城「桜田城」を地元の歴史を学びなおす地域のシンボルとして捉え、環境整備を行い、様々な活動を通し活用されています。また、地元に残る伝統行事の継承を目的に子ども達を招き、どんど焼きなどの呼び掛けを行なっています。



3ヶ月毎に発行している自治組織だより「はつらつ美濃の里」だよりを、美濃にゆかりのある地区外在住者に(はつらつ通信毎月号も含む)を送っています。これからは絆を大切にしていきます。地区外発送部数24部



盆行事の開催については、数年前から自治組織の活動となっています。コロナが5類に移行されましたが、実施内容には大きな変更はなく、物故者供養、盆踊り、抽選会を行いました。

⑥こんな活動を行なっています



地区民でひまわり播種



ひまわり畑迷路



菜の花畑



桜田城展望台



桜田城跡



盆踊り



美濃ふれあい祭り



健康教室 歴史ウォーク



ほんほりの会

お問い合わせ先

【〒 699-3766 島根県益田市美濃地町 イ146】

地域自治組織:はつらつ美濃の里

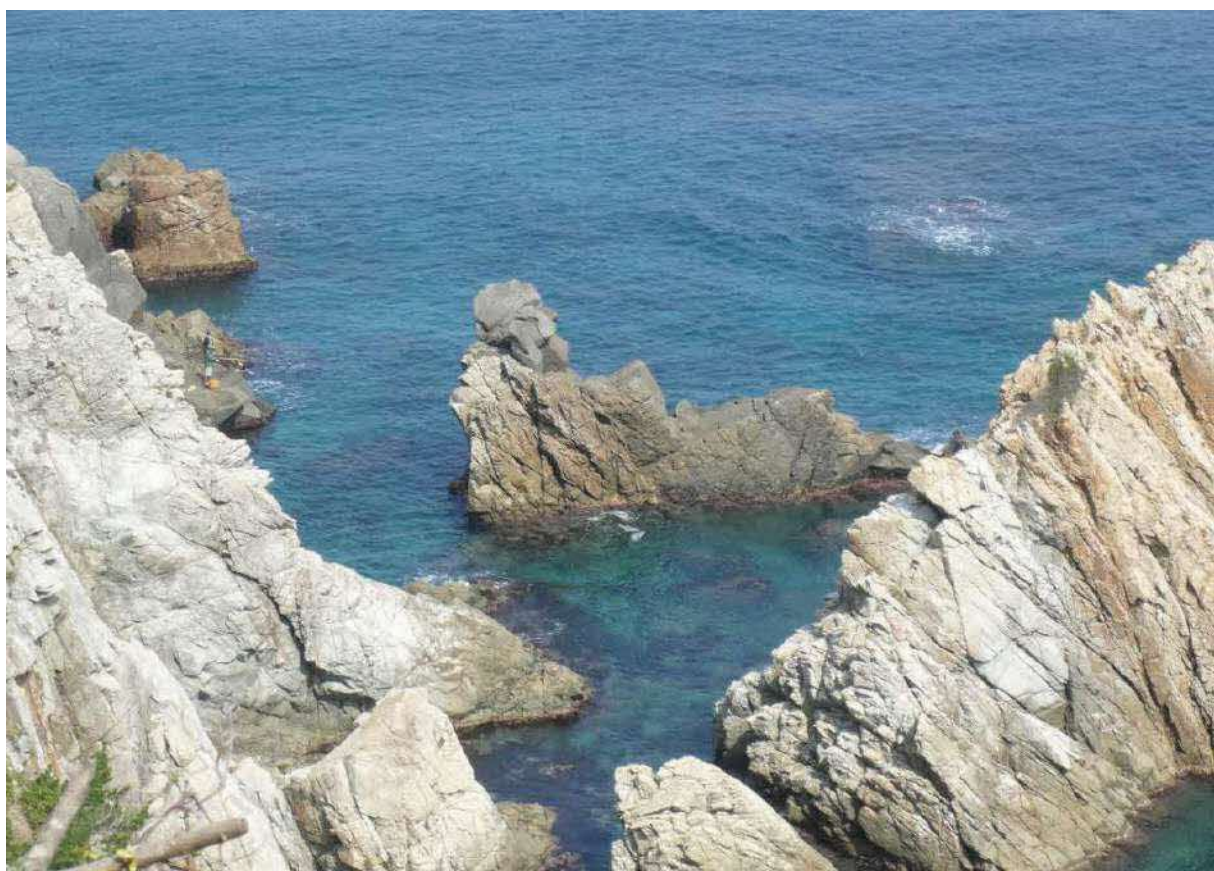
益田市美濃公民館内

TEL:0856-29-0031 [FAX:同] E-mail: csc-mino@city.masuda.lg.jp

facebook <https://www.facebook.com/minotiku/> [はつらつ美濃の里]

島根県益田市小野地区

地域づくりのテーマ:「海・山の恵みを活かす小野の里」



①地区の概要

【地区の現況】

人口:1,331人 世帯数:620世帯
高齢化率:50.5% (令和6年1月末現在)

【地区の魅力】

小野地区は、島根県西端に位置し、海岸沿いで山口県萩市と接しており、古来「柿本人麿」生誕地として伝承されている。

益田十景にも2ヶ所が選ばれており、人形峠から見る雄大な景観と三里ヶ浜の観音岩から見る夕日は絶賛され、その他小浜の海岸は、東山魁夷画伯が皇居新宮殿及び奈良唐招提寺の壁画のモチーフにした地である。(写真は人形岩の風景)

【地区の課題】

少子・高齢化の進行に伴い、拠点となる生活ゾーンの本機能が消失してきており、とりわけ診療施設及び生活用店舗が減少し、生活不安が拡大している。

②実施団体の概要

【団体の名称】

夢あふれる小野の里

【構成団体、構成員】

- 各自治会の会長・副会長
- 地区老人クラブ連合会会長
- 地区食生活改善推進協議会会長
- 地区民生児童委員協議会民生児童委員(女性委員)
- 交通安全協会支部長
- 地区青少年健全育成協議会会長
- 地区更生保護女性会会長
- 地区健康と福祉を推進する会会長
- 商工会支部代表
- 小野中PTA会長
- 一般会員
- 地区民生児童委員協議会会長
- 地区社会福祉協議会会長
- 自主防災組織連絡協議会会長
- 益田市消防団第14分団長
- 地区交通対策協議会会長
- 地区安全を守る会会長
- 地区つろうて子育て協議会代表
- 学校再編対策協議会会長
- 子ども会代表
- 戸田小愛育会会長
- 地区人権・同和教育推進協議会会長

【団体の組織図】

《役員会・運営委員会の構成》

(役員会)
会長・副会長・事務局長
理事(4名)・部長(3名)
副部長(3名)

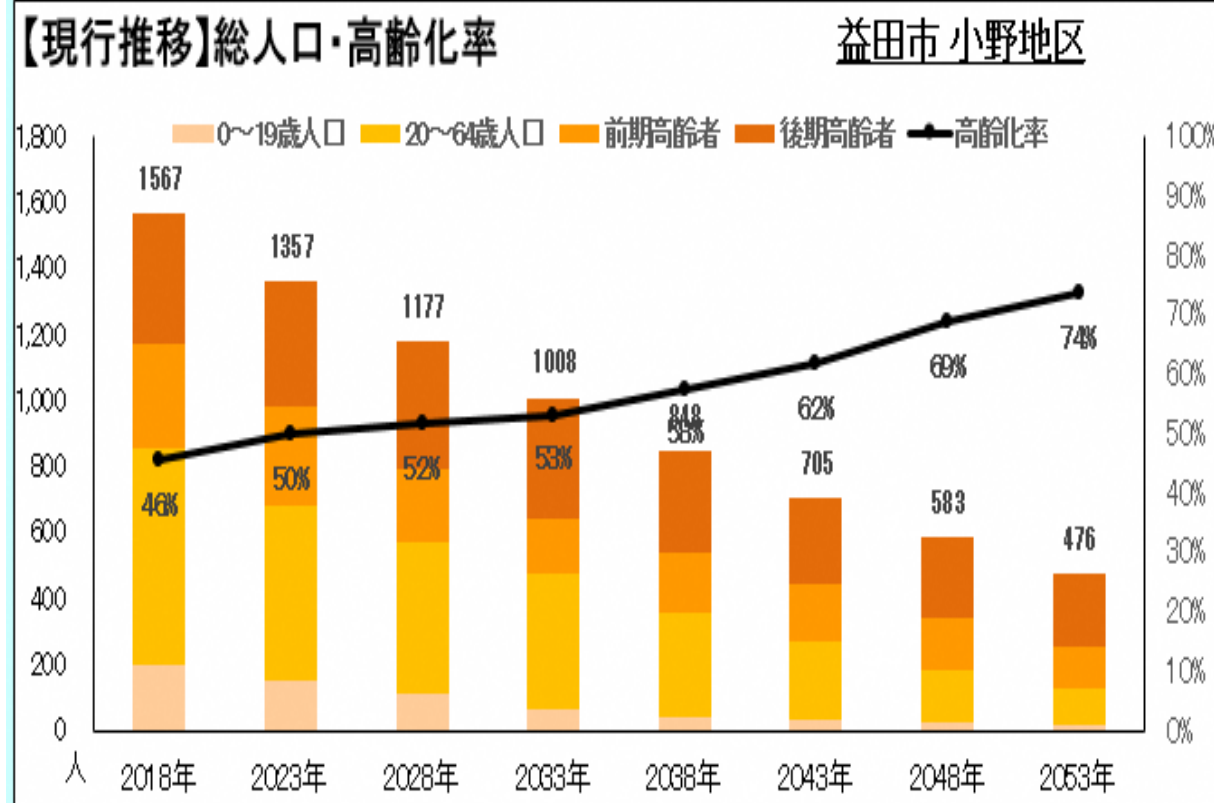
《運営委員会》

構成員
(団体代表)
33名

構成員
(一般)
15名

【サポート】
小野公民館

③地区の人口シミュレーション



資料: 島根県中山間地域研究センター「人口推計シート」

④地域の魅力化に向けた取組

■ おの産直市

令和元年度より本格的に取組を開始し、当面は年間3回の開催を目標としている。

(令和2年度～5年度はコロナ禍のため12月に1回ずつ実施)

■ 「子ども見守り活動」の支援

令和2年度から活動を開始し、現在も継続実施している。

■ 「草刈り隊活動」の支援

令和2年度から活動を開始し、現在も継続実施している。

■ 休日カフェ

平成30年度から、地区内有志の方による「まるCafe」を開始した。(令和2年度、3年度はコロナ禍のため活動を休止したが、今年度は12月「産直市」開催時に実施)



【団体長メッセージ】

もはや小野地区の二人に一人が65歳以上の高齢者となり、団塊世代が寿命を迎える20年後には現在の人口(約1,330人)は半減することが予測されている。児童・生徒数についても、地区単独での中学校存続が危ぶまれる現状となっている。耕作放棄地や人家の庭先は、イノシシやサル遊び場と化しつつある。この津波のような時代の変化に立ち向かうべく、「持続可能で魅力ある」いなかぐらし、ふるさとづくりをめざして我々に出来る事は何か。自問煩悶の日々である。

(夢あふれる小野の里 会長 大賀 敏郎)

島根県益田市小野地区

⑤こんなことが話し合われています。



【運営委員会】

各専門部会に属する運営委員の全体会議を年に一度実施している。この会議は、一年間の活動の総括や、総会に提案する議案の「最終審議」を行っている。



【防災環境部の会議・取組】

防災環境部では、地区内の「草刈り活動」や、「子ども見守り活動」等について協議・支援を行っている。また、「鳥獣被害対策」についての対応策を協議した。



【健康福祉部の会議・取組】

当部会の新たな取組みとして、「認知症サポーター講習」についての講習会を実施した。地区住民、市他関係団体職員 計20名が参加し、寸劇を交えながら分かりやすく、楽しく学んだ。



【生涯学習産業部の会議・取組】

生涯学習産業部では、主に「小野探訪ウォーキング」や「おの産直市」の実施計画等について、協議を行っている。今年度は「おの産直市」のみ実施することとした。

⑥こんな地域づくりを行なっています。



■「子ども見守り活動」の支援 (防災環境部会の取組)

令和2年度から実施している「子ども見守り活動」について、前年度同様に活動を継続実施した。地区内22名の隊員さんが、暑さ・寒さにも負けず子どもたちと大きな声で「あいさつ運動」を展開されている。連日の取組みに対して、保護者の方より「感謝・感謝」の声が多々寄せられている。

■「しゃべり場」の活動 (防災環境部会の取組)

若者の交流の場「しゃべり場」の活動として、灯籠の灯りで地域を明るくしようということで、12月に小野公民館において「灯りをともすイベント」を開催した。アルミ缶や竹で作成した灯籠を点灯し、地区内外から多くの方が来場し、「夕暮れのともし火」を觀賞された。

■「おの産直市」の取組 (生涯学習・産業部会の取組)

ここ数年「コロナ禍」のため年間1回の開催として「産直市」を実施してきたが、今年度も前年同様に、12月に第1回目となる「産直市」を実施した。

当初は「小野地区つろうて子育て協議会」主催による「スポーツ交流会」を同日に開催する予定であったが、小野中学校内に「インフルエンザ」が蔓延したため、「スポーツ交流会」は急遽中止とし、「産直市」のみ実施した。

当日は暖かい好天に恵まれ、地区内外より多くの方が来場し、販売開始前から行列になる程の賑わいであった。地元小学校児童が「手作りクッキー」を販売し、開始早々に完売となった。



■「まろカフェ」の開店

地区内有志の発起により活動を実施しているが、前年度までは「コロナ禍」のため十分な活動はできない状態であった。

今年度も前年同様に12月の「産直市」開催に合わせて開店した。

来場された地域の皆さんが、「淹れたての香高い本格的なコーヒー」を楽しまれたようです。

お問い合わせ先

夢あふれる小野の里

〒699-3763

益田市戸田町イ501番地

電話・FAX: 0856(28)0001

フェイスブック: @hitomaro201707

島根県益田市中西地区

地域づくりのテーマ：「いつまでも、いきいきと、暮らし続けられるまちへ」



①地区の概要

【地区の現況】(令和6年1月末時点)

人口:1,687人、世帯数:769世帯、高齢化率:44.5%

市の中心部から西に約10kmのところに位置し、高津川・白上川流域の平坦な田園地帯と棚田(日本棚田100選)その周辺の山間・丘陵部で構成されている地域です。

【地区の魅力】

- ・大道山と麓に広がる中垣内の棚田
- ・平坦な土地に広がる田園・農園
- ・国営西部開パイ事業
- ・石見臨空ファクトリーパーク

【地区の課題】

- ・交通支援対策
- ・不法投棄問題
- ・有害鳥獣駆除対策

②実施団体の概要

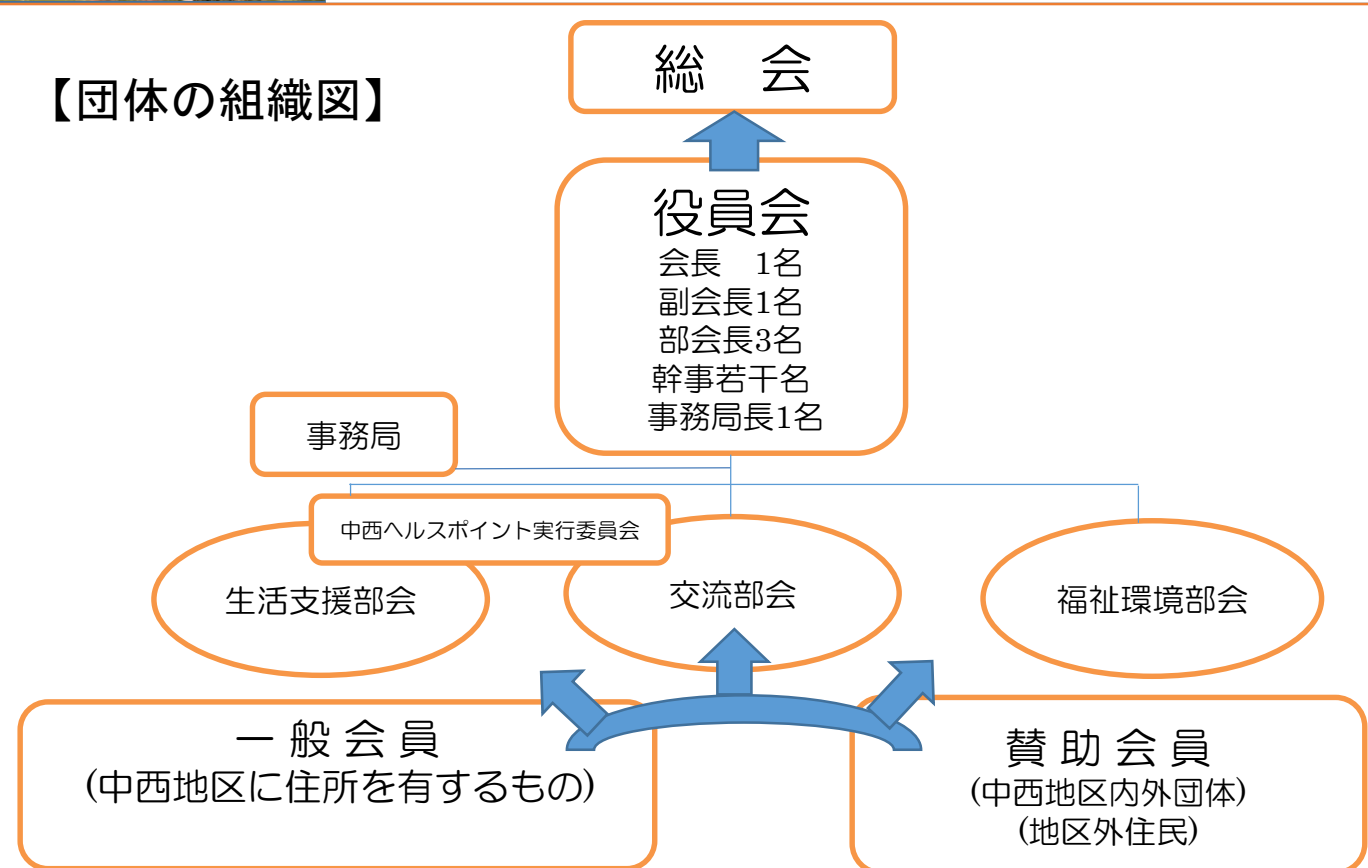
【団体の名称】

なかにし地域づくり協議会

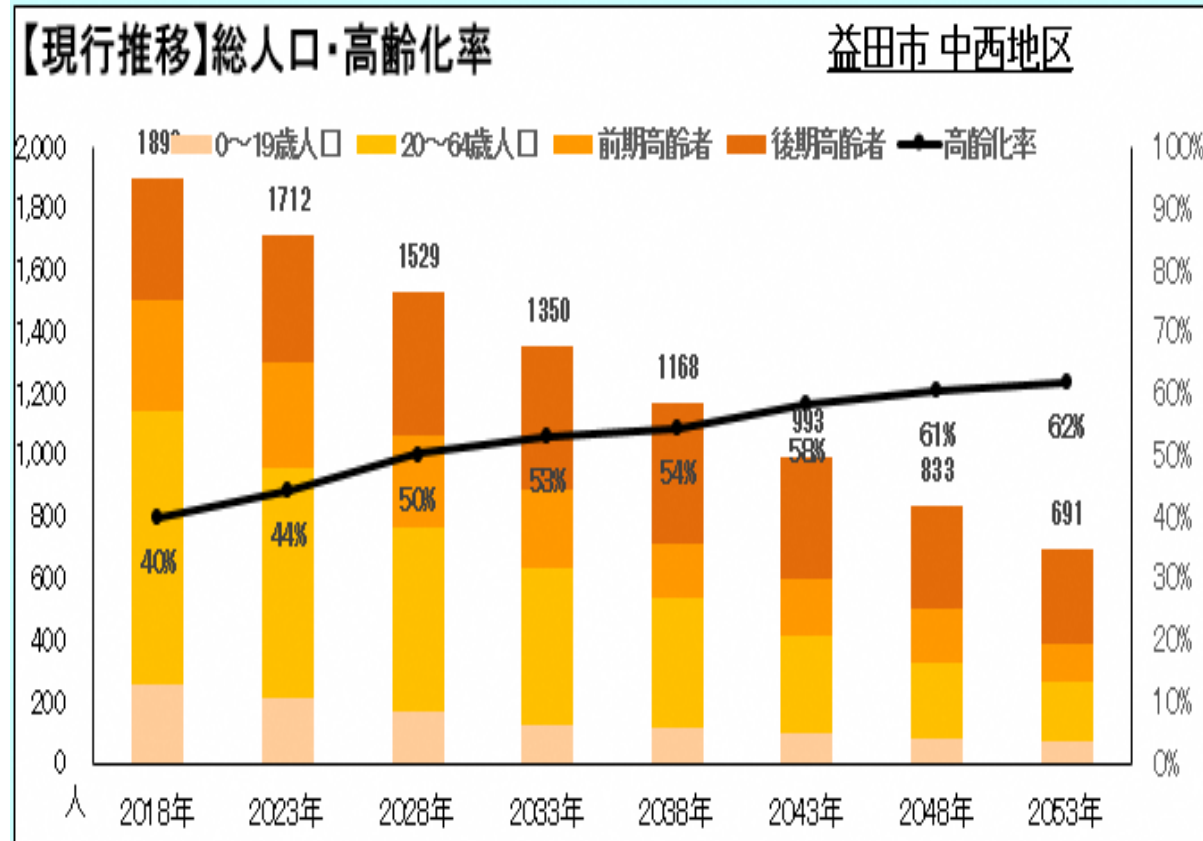
【構成団体、構成員】

- ・各運営委員会
- ・地区連合自治会会長会
- ・地区老人クラブ連合会
- ・地区不法投棄見廻り隊
- ・地区食生活改善推進協議会
- ・地区小・中学校
- ・中西ヘルスポイント実行委員会
- ・中西いき活き市実施委員会
- ・中西何でもお助け隊など

【団体の組織図】



③地区の人口シミュレーション



資料: 島根県中山間地域研究センター「人口推計シート」

④地域の魅力化に向けた取組

○地域自治組織「なかにし地域づくり協議会」企画・運営

◆生活支援部会

高齢となってもいつまでも生活するための支え合う仕組みづくりまたは定住促進

- ・交通対策
- ・何でもお助け隊
- ・空き家対策
- ・通院、買い物送迎サービス
- ・ハンマーナイフモア貸出

◆交流部会

世代間交流を活発にするとともに、地区外に出られた人に情報の発信をし、交流を深める。またこれらの活動を通じ小中高生にふるさとに愛着が持てる心を育てる

- ・いき活き朝市
- ・ニュースレター
- ・中西公民館ホームページ

◆福祉環境部会

いつまでも中西の地で暮らし続けられる様に生活環境の整備をする

- ・不法投棄見廻り隊
- ・花いっぱい運動
- ・荒廃農地活用
- ・有害動物対策

【団体長メッセージ】

なかにし地域づくり協議会は、今年度も事業計画に沿って、3つの部会が事業を進めてまいりました。高齢になっても、いつまでも生活するための支え合う仕組みづくりを目指して、中西独自の取り組みである「中西ヘルスポイント事業」を更に充実し、高齢者や障がい者の通院や買い物の交通支援対策など、生活支援の拡充を行ってまいりたいと思います。

なかにし地域づくり協議会 会長 桐木保男



島根県益田市中西地区

⑤こんなことが話し合われています



生活支援部会

令和5年7月3日に話し合いを行い、交通対策や空き家対策、何でもお助け隊等の予算案やこれからの活動について協議しました。



交流部会

令和5年6月27日に話し合いを行い、いき活き朝市や中西公民館ホームページ等の予算案やこれからの活動について協議しました。



福祉環境部会

令和5年6月30日に話し合いを行い、不法投棄見廻り隊や有害動物対策等の予算案やこれからの活動について協議しました。



不法投棄見廻り隊

今年度は、4月16日、12月9日に合同パトロールを実施し、地域の環境美化と、不法投棄の啓発に取り組みました。

⑥こんな地域づくりを行なっています

《いき活き朝市》



毎月第3土曜日に開催し、地域の方達が作られた野菜や果物、惣菜、魚などを販売し、高齢者喫茶サロンなど、子供から高齢者まで交流の場として大好評です。

《不法投棄見廻り隊》



黄色ジャケットを着て見廻りを行い、ごみ拾いを実施しています。今年度は空港トンネル入り口方面と益田阿武線雁長沿道を中心にパトロールをしました。

《何でもお助け隊》



中西ヘルスポイント制度の一環として平成27年から本格的に始動しました。令和5年度は荒廃農地の草刈りや通院の送迎等、計67回の依頼を受けました。

《中西地区スポ・レク大会》



今年から、体育大会に代わり、グラウンドゴルフやボッチャなどの競技を実施しました。子供から高齢者まで、大勢の参加者で賑わいました。

《ハンマーナイフモア導入》



中西地区の農地再生と環境整備を目的に、ハンマーナイフモア(自走式草刈り機)2台を導入して、レンタルを開始しました。計27回の貸し出しを行いました。

《花いっぱい運動》



今年度は中西小学校、中西中学校、各自治会などが参加し、花苗を植栽していただきました。花が咲く、美しい中西地区を目指しています。

お問い合わせ先

〒698-2141

島根県益田市白上町イ743-2

「なかにし地域づくり協議会」(中西公民館内)

TEL・FAX: (0856) 28-0501 E-mail: csc-nakanishi@city.masuda.lg.jp



ピーちゃん

島根県益田市東仙道地区

地域づくりのテーマ: 助け合えるまちづくり



①地区の概要

【地区の現況】(令和6年1月末現在)

■人口 671人 ■世帯数 352戸 ■高齢化率 53.1%

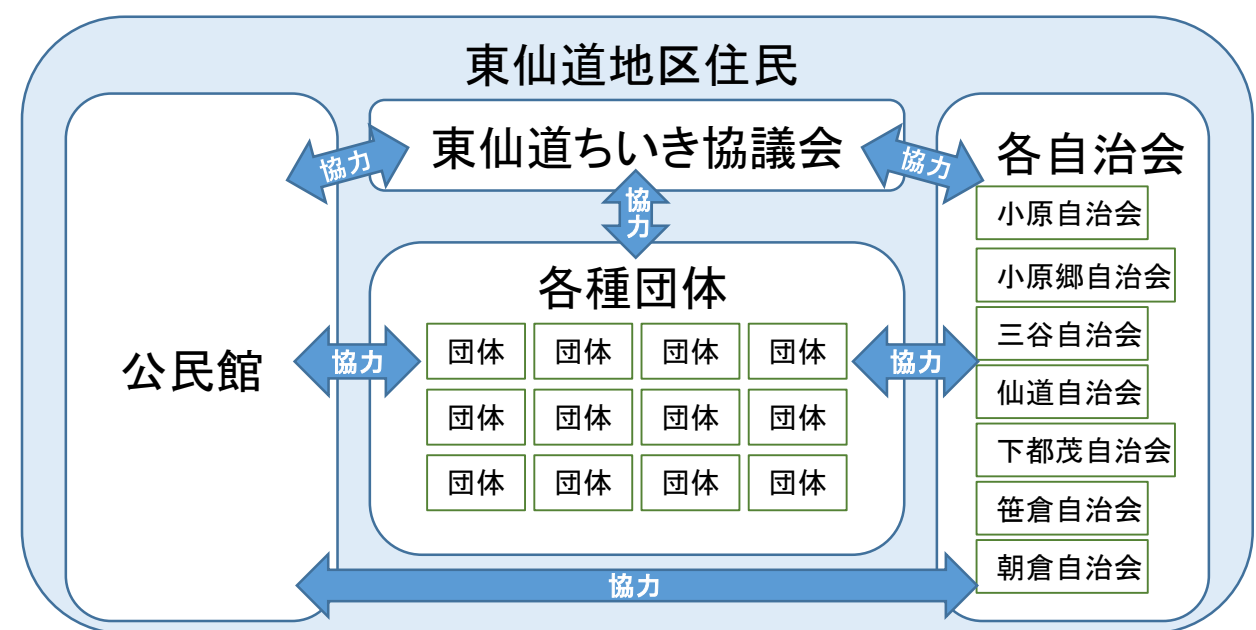
【地区の魅力】

多くの自然と歴史があり、その中でも四ッ山は東仙道を語る上で欠かせない存在です。また、「ひだまりパークみと」にはグラウンド・ゴルフ場、さくらドーム、サッカー場があり、市内外から多くの利用者が訪れています。特産品は柚子やいちご、米、ベビーリーフなどの農産物で、いちごについては、いちご狩りが観光交流につながっています。

【地区の課題】

少しですが新しい家が建ち、子育て世代の家族が定住しましたが、一方で市営住宅等に住む子育て世代の所得が上がるとともに家賃も上がり、地区外への転出を余儀なくされているという現状もあるので、変わらず保育所や小学校の児童減少が課題となっています。また、高齢者の独り暮らしや空き家が目立ってきたほか、担い手不足により除草作業等の生活環境維持が困難になりつつあります。

【団体の組織図】



②実施団体の概要

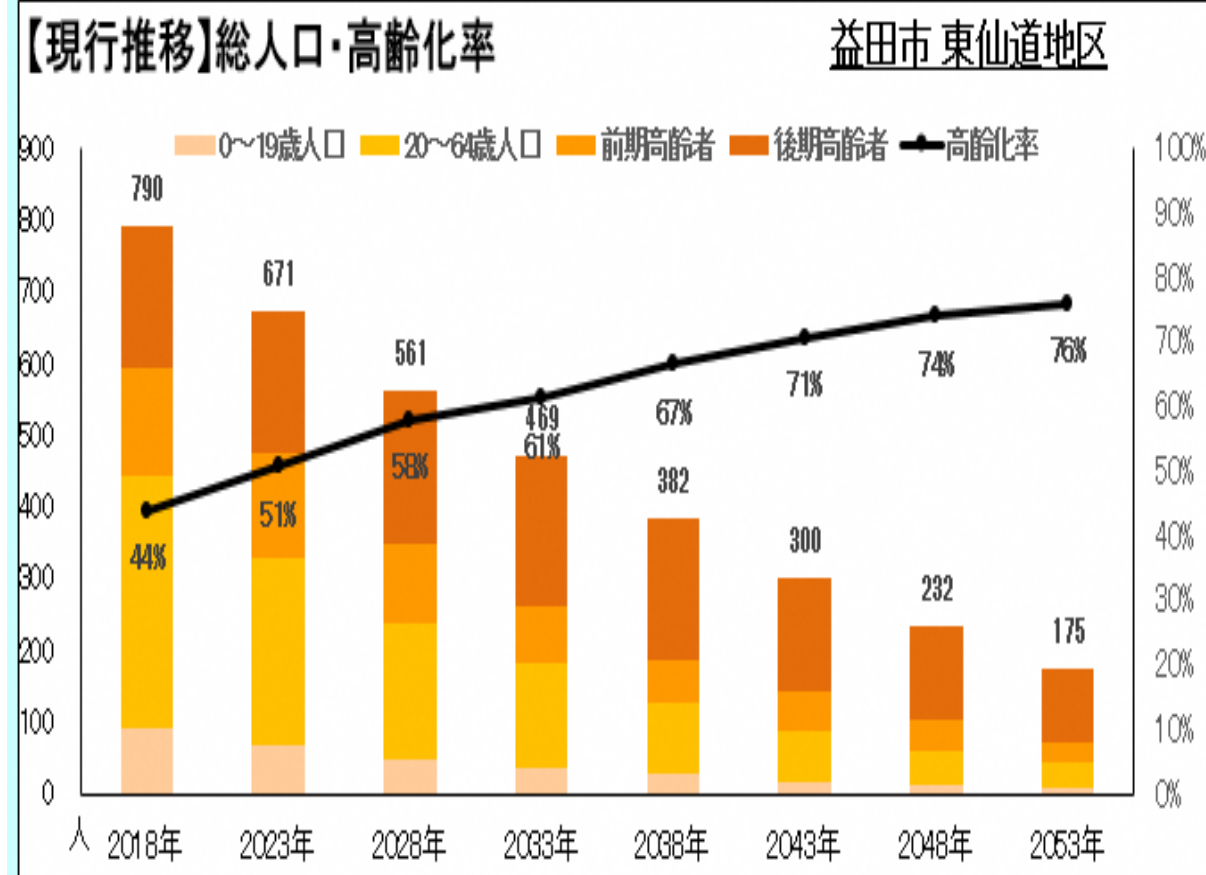
【団体の名称】

東仙道ちいき協議会

【構成団体、構成員】

仙道自治会 小原郷自治会 小原自治会 三谷自治会
下都茂自治会 朝倉自治会 笹倉自治会
東仙道老人会連合会 東仙道青年団 東仙道婦人会
東仙道小学校PTA 他22団体、14企業

③地区の人口シミュレーション



資料: 島根県中山間地域研究センター「人口推計シート」

④地域の魅力化に向けた取組

■東仙道お助け隊

平成28年度に発足し、活動を続けています。

令和5年度は、草刈りと木の伐採等合わせて33件の依頼があり、のべ60名の隊員が作業にあたりました。

■ふるさとカレンダー事業

8年目となる今年度は「あなたの知らない東仙道」をテーマに、広く知られていない場所や東仙道にまつわる記念碑などを中心に作成しました。

■東仙道寺子屋事業

コロナ禍で休止していた、放課後に小学校の空き教室を利用し地域の方に見守っていただきながら宿題を済ませて帰るという寺子屋事業を4年ぶりに再会しました。

■東仙道花園ライトアップ事業

令和2年度に「まちづくり活動特別補助金」を活用し実施した、彼岸花や、もみじ、桜など、1年を通して東仙道に咲く花や自然等をライトアップする事業を今年度も引き続き実施しましたが、彼岸花は育成状況が悪かったため中止しました。

【団体長メッセージ】

少子高齢化が進む中で地域が学校、保育所と、どのように関わってどのように地域全体で子どもたちを見守り、住んでいて良かったと思える地域づくりを皆で考えると共に、減便になる公共交通について地域の方向性を決定し、交通対策に取り組んでいかなければならないと感じております。

東仙道ちいき協議会会長 草野和馬



島根県益田市東仙道地区

⑤こんなことが話し合われています



総会の他、ちいき協議会委員会、各イベントの実行委員会を都度行いました。
四ッ山歴史ウォーキングや文化祭の開催についてはほぼコロナ禍前同様の開催に向けて前向きな話し合いができました。
その他「議会報告会」「市長と語る会」ではちいき協議会委員も参加し、地域住民の参加者と共に意見を交わしました。

⑥こんな地域づくりを行なっています

■互助部会・・・東仙道お助け隊

高齢などの理由によって、草刈りが困難になった方の代わりに草刈りを請け負うのが基本ですが、木の伐採や倉庫の片付けなど多岐にわたっての要望があり、出来る範囲で作業にあたりました。

また、(株)キヌヤさんの協力で行っている「お買い物バスツアー」も好評です。新規利用者が増える中、今後も引き続きニーズの把握に努めたいです。



■地域活性化部会・・・ふるさとカレンダープロジェクト、四ッ山歴史ウォーキング、運動会、文化祭

「ふるさとカレンダー」は地区の魅力を再発見してもらおうと毎年テーマを変えて続けています。今年度は「あなたの知らない東仙道」をテーマに、広く知られていない場所や東仙道にまつわる記念碑などを中心に作成しました。

多世代で話をするきっかけになればと思います。

「四ッ山歴史ウォーキング」は開催方法を協議し、ほぼコロナ禍前と同様に開催することができました。

「運動会」も地区民参加としては4年ぶり、種目を減らして午前中だけの開催となりましたがたくさんの方に参加していただき開催することができました。

「文化祭」は昨年4年ぶりに開催することができました。今年度も開催方法を協議した結果、昨年同様開催する予定です。

■福祉健康部会・・・東仙道寺子屋、グラウンド・ゴルフ大会

放課後に小学校の空き教室を利用し、地域の方に見守っていただきながら宿題を済ませて帰るという寺子屋事業を4年ぶりに再開しました。今後は、開催方法や事業展開について協議していきたいです。

「グラウンド・ゴルフ大会」は通常通り開催することができました。

■東仙道ちいき協議会・・・神寶山八幡宮のPR、四ッ山展望整備

益田市が日本遺産に登録され、東仙道の神寶山八幡宮が構成文化財のひとつに選ばれたことをうけ、昨年から引き続きのぼり旗を国道から八幡宮への入り口、八幡宮の敷地内と鳥居に作成設置しました。

また、年末年始は鳥居をライトアップした他、「四ッ山歴史ウォーキング」では歴史パネルを展示しました。

令和元年度のまちづくり活動特別補助金を活用した「四ッ山景観保存事業」で木や竹を伐採した箇所を引き続き伐採し、良い景観を保っています。



■東仙道ちいき協議会・・・東仙道花園ライトアップ事業

令和2年度に「まちづくり活動特別補助金」を使ってスタートした、東仙道の自然を中心に四季を通じてライトアップし、地区の景観を良くするほか写真映えスポットとして地区内外へ魅力を発信し、交流人口増加を目指す東仙道花園ライトアップ事業を引き続き行っています。

今年度、10月～11月はもみじ、12月～2月まで神宝山八幡宮の鳥居をライトアップしました。3月にはひだまりパークみと、三番道路、二か所の桜をライトアップする予定です。

お問い合わせ先

〒698-0212

島根県益田市美都町仙道253-1

東仙道ちいき協議会 【事務局】東仙道公民館内

TEL: 0856-52-2540

FAX: 0856-52-2193

東仙道ちいき協議会Facebook

<https://www.facebook.com/higasisendo/>

映え！東仙道Instagram

www.instagram.com/higashisendo/



Facebook



Instagram

島根県益田市都茂地区

地域づくりのテーマ:「住みよい都茂、住みたい都茂、住み続けられる都茂」



①地区の概要

【地区の現況】(令和6年1月末時点)

人口:801人 高齢化率:57.1% 世帯数:444世帯

【地区の魅力】

都茂地区は春の桜、秋の柚子。自然に囲まれた豊かな土地。人が優しく、治安が良い。旧美都町の中心地であったことから、総合支所、農協、郵便局、診療所、老人ホーム等があります。

【地区の課題】

少子高齢化、人口減少、買い物不安、交通対策、農地の管理、鳥獣被害対策などたくさんの課題があります。

平成26年3月から、都茂地区連合自治会が交通弱者の移動手段を提供する自治会輸送活動に取り組んでいます。

地域で考え、助け合いの中で少しずつ課題解決に向けて取り組んでいます。

②実施団体の概要

【団体の名称】

都茂地域自治組織「ささえ愛 都茂」

【構成団体】

自治会長、企画運営委員、会員

ささえ愛都茂～3つの柱

①暮らしを守る

住んでる人が安心して暮らせる環境をつくれます。

②生活環境を守る

きれいな環境は、安全な生活、鳥獣対策につながります。

③地域の資源を活かし活気を創る

住んでいる人が生きがいを感じ、活気あるまちづくりをします。

都茂地区連合自治会
自治会

監査会
(監事 2名)

ささえ愛都茂
総会
(定期総会・臨時総会)
①自治会長
②企画運営委員
③会員

役員会(8名)
会長 1名
副会長(部会長) 3名
副部会長 3名
事務局長 1名

賛助会員
公民館
各種団体

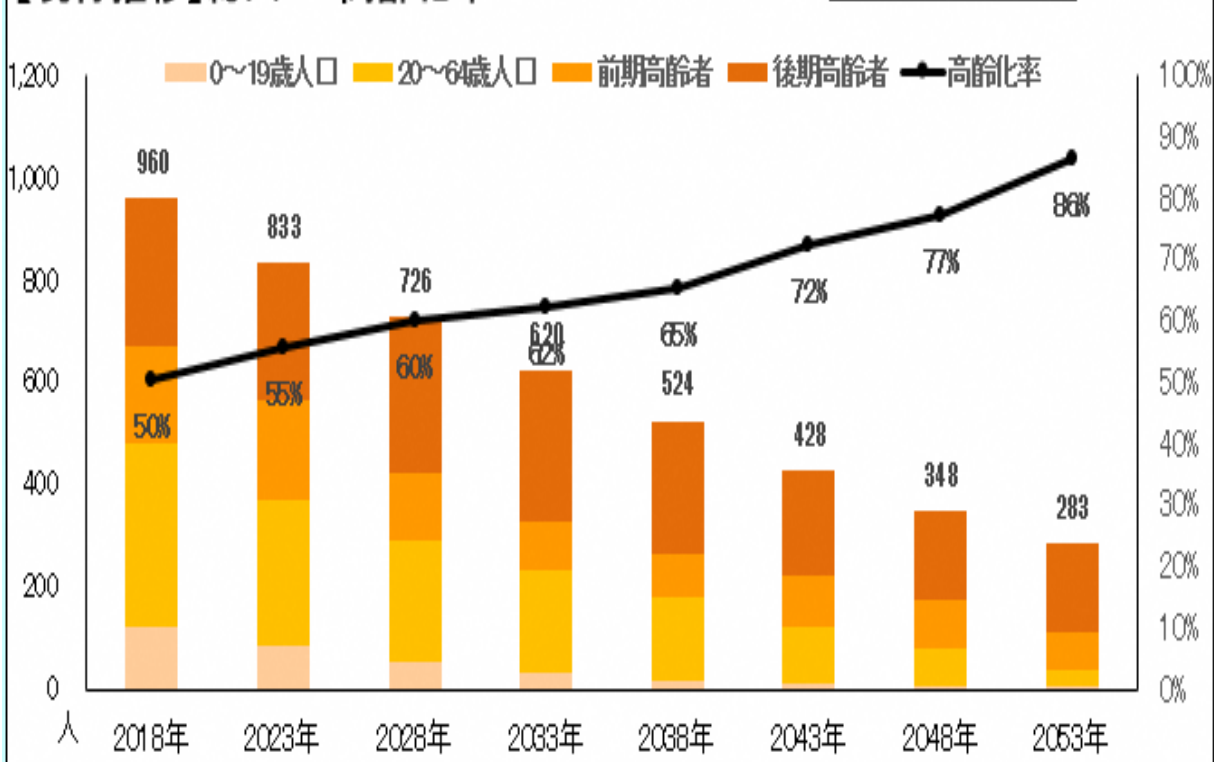
暮らし部会
環境部会
いきいき部会
事務局

会員(都茂地区住民)

③地区の人口シミュレーション

【現行推移】総人口・高齢化率

益田市 都茂地区



資料: 島根県中山間地域研究センター「人口推計シート」

④地域の魅力化に向けた取組

去年と引き続き、外出支援(自治会輸送)、防災対策(防災マップの活用)、子供の通学路確保対策(除雪隊)、生活環境の保全対策(お助け隊)、イベント参加を通じた活性化対策等、今後も住んでいる人が笑顔になる活動をしていきたいと思ひます。

来年度からは新しい企画で、子たちと一緒にアユ・ヤマメの放流活動を環境部会が取り組みます。

自然も豊かにし、住んでいる人の笑顔が絶えない地域にするため、取り組んでいます。

都茂地区文化祭



お助け隊草刈り



【団体長メッセージ】

地域自治組織が発足し、各部会活動も活発に進んでいます。役員、会員の皆様の前向きな発想のおかげだと思ひております。地域活性化が理想であり、住民の思ひを拾ひ上げて都茂地区が少しずつでも住みよい町となる環境作りを一緒に取り組んでいきたいと思ひます。



島根県益田市都茂地区

⑤こんなことが話し合われています

●暮らし部会

・防災マップ活用

都茂地区12自治会の防災マップを作成、全戸に配布してます。変更があれば更新し、随時配布します。今後の活動として、マップを活用し全体の防災訓練ができればと考えています。

・ささえ愛号チャイルドシート導入

美都社協から要支援のある子供を送迎して欲しいと新たな依頼があり、暮らし部会で協議し車内にチャイルドシートを用意しました。予約があった場合は事務局が同行し、安全に乗れるようにいたします。

●環境部会

お助け隊

R2年度に立ち上げ地域の市道や生活道、河川などの草刈り等を支援してます。去年から個人宅の草刈りも引き受ける事になり、利用者がふえました。

●いきいき部会

都茂クッキーのイノシシの形を変えました。

横顔だった顔が正面になり、さらにイノシシが可愛くなりました。道の駅サンエイト美都で販売中です。



⑥こんな地域づくりを行なっています



・交通弱者対策

都茂地区連合自治会輸送「ささえ愛」号

都茂地区連合自治会では平成26年3月10日から地域の人たちの外出を支援する自治会輸送活動を行っており、年間700人を超える人に利用いただき、「とても助かっている」と喜んでいただいています。

この業務は、令和2年4月より都茂地域自治組織 暮らし部会が行っていますが、今年で10年目となり、地域の高齢者等の外出手段として無くてはならない活動となっています。

全体的に人口減少、高齢化により運転手の減少が予想されるため、引き続き運転手の確保を図ります。

○利用実績

	運行日数	利用人数
R4年計	171日	707人
R5年計	127日	425人
		(R6.1月末現在)

・ユタラボ企画

【豊かな暮らしについて考える2日】

田舎暮らしに興味がある益田市外在住の大学生メインの対象として、田舎の生活を体験という活動で美都を体験しにきました。

都茂では声を掛けた地域の方と協力し、そば・餅つき体験をしました。餅つきなど初めての方が多く、とても楽しい思い出になったそうです。みなさんとても上手でした。

・都茂地区文化祭

2月4日(日)はふれあいホールみとで第45回都茂地区文化祭があり、その飲食の部で食べれるお食事券が当たる抽選会をしました。いきいき部会としてこの企画は3回目になり、地域の方が楽しみにしてる企画となりました。これからも毎年行っていききたいと思います。

お問い合わせ先

〒698-0203 益田市美都町都茂
地域自治組織 ささえ愛都茂
【事務局】美都分庁舎2階
TEL・FAX
0856-52-3025



島根県益田市二川地区

地域づくりのテーマ： 自然とともに 人とともに生きる 温もりある二川



①地区の概要

【地区の現況】（令和6年1月末時点）

人口164人 高齢化率62.2% 世帯数91世帯

【地区の魅力】

美都温泉、道の駅による集客に加えて、柴犬の聖地として新しい人の流れができてつつあります。令和5年度からは宿泊交流センターの運営が始まり、人をとどめてつなげる拠点として活用していきます。

【地区の課題】

高齢化により地域で受け継がれてきた生活の知恵が引き継がれることなく消滅しつつあります。また、地域行事に関わる人材不足も深刻で、関係人口の創出が急務です。限られた人口の中で生活を維持し続ける体制も考え直す必要があります。

②実施団体の概要

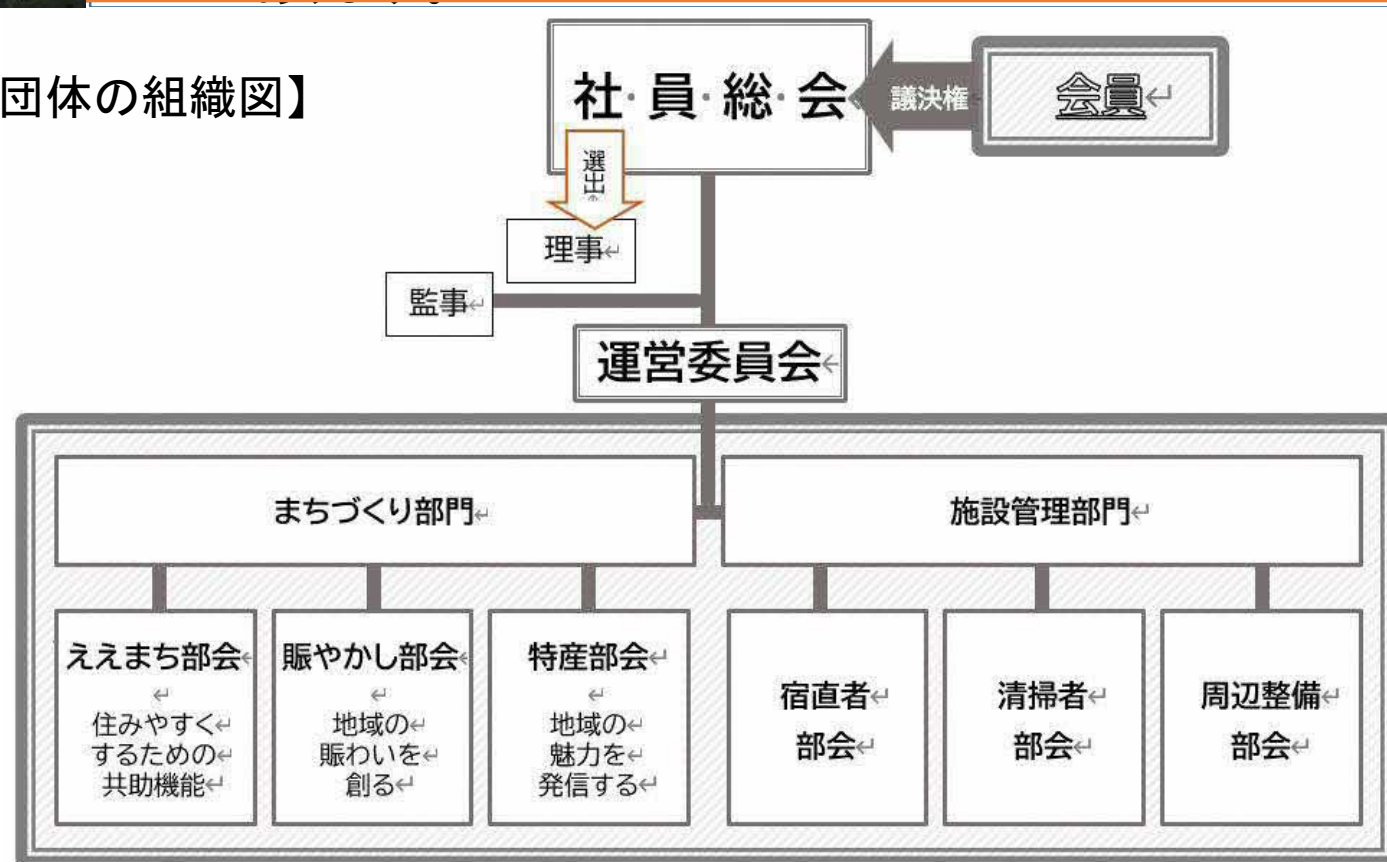
【団体の名称】

一般社団法人 めくもりの里二川

【構成団体、構成員】

自治会
婦人会
双寿会(老人クラブ)
(株)エイト
二川やるき人間の会
営農組合「一心田助」
蓬の会(加工グループ)
公民館運営委員
地区住民

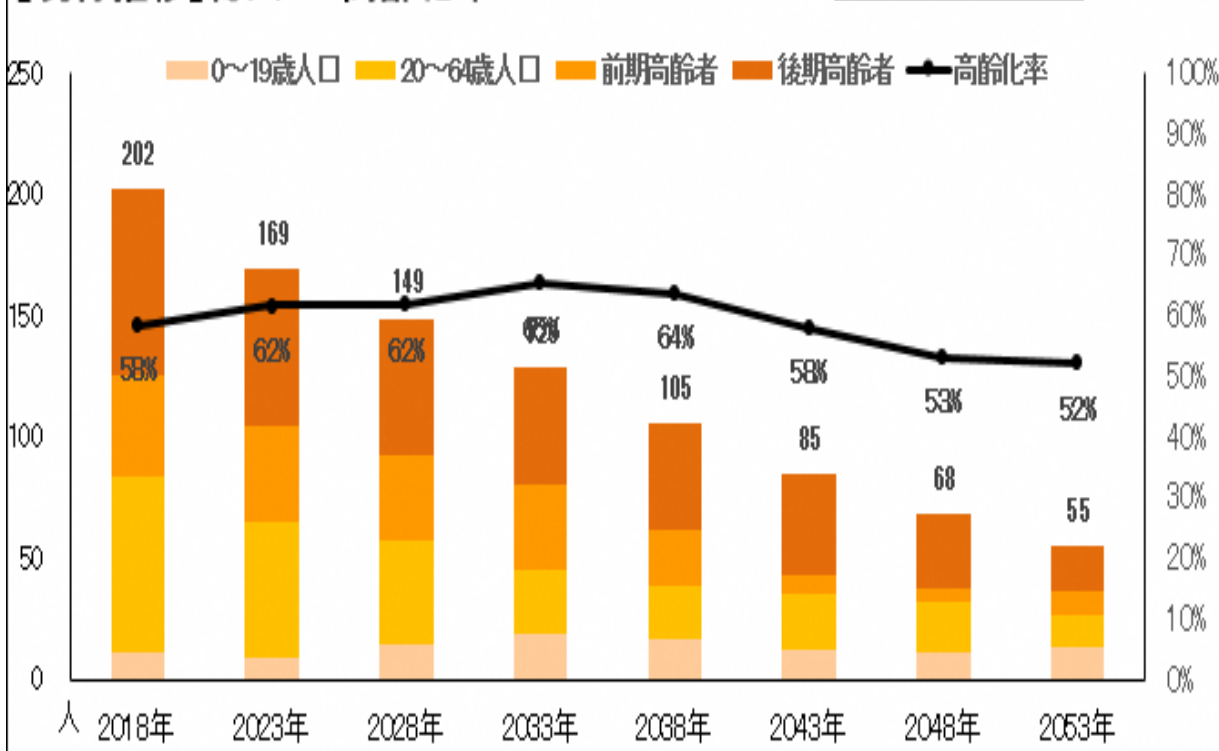
【団体の組織図】



③地区の人口シミュレーション

【現行推移】総人口・高齢化率

益田市 二川地区



資料：島根県中山間地域研究センター「人口推計シート」

④地域の魅力化に向けた取組

全体で取り組んでいるもの
宿泊交流センターの管理運営
体験事業

部会で取り組むもの

①住民の住みやすさ

買い物支援
外出の機会創出
困りごと相談

②地域の賑わい

温泉モーニング
イベントでの出店販売

③特産

地域にあるものを活かした体験作り
柴犬の里の整備



【団体長メッセージ】

今年度より運営を始めた宿泊交流センターは、二川地区にもたらすメリットだけでなく、市内全域の交流や関係人口が増えるための施設として活用していきます。地域へのご協力の一助と、近隣の方にもご利用と、活用方法のご提案をお待ちしております。

島根県益田市二川地区

⑤こんなことが話し合われています

【自治に関する組織の融合】

地域自治の取組について、自治会
で取組むもの、連携して行うもの
を整理中。

事業や会議は重複していることを省き、地域の連絡体制の有効活用、アイデアが出しやすくより多くの人の関わりが担保できる実行体制を探っています。

⑥こんな地域づくりを行なっています

【団体とコラボした魅力的な体験】

益田の魅力がもっと活かされるよう新しい施設を使っていきます。専門分野の方とコラボして体験事業を作りました。

①イングリッシュキャンプ

英会話教室、アウトドア用品店とコラボして、夏にデイキャンプ、秋に1泊のキャンプを開催しました。

夏はうずめ飯作り&まち歩きスタンプラリーを英語で行うという企画。この時のうずめ飯作りで必要になった材料・作り方・盛り付け方など、英語での説明が右のインバウンドに活かされました。

少し肌寒くなった秋、焚き火やキャンプご飯を中心に英語に親しむキャンプを企画。体育館でのテント設営、ファイヤースターターと麻ひもを使った火おこし、英語のキャンプソングで夜を楽しみました。



②もっと柚子が好きになる交流会

美都森林さん企画の「柚子収穫お手伝い」に便乗し、もうひと繋ぎして交流会を開催。全国からの参加者と柚子収穫後の楽しみを共有。家庭ごとに異なる柚子みそを2種類と、羽釜ご飯を囲み、地域内外の交流の場ができました。

【関係団体と施設活用について】

宿泊利用

美都温泉湯元館との温泉利用、食堂ゆずのきとのBBQ
セットや食事提供。ひだまりパークみと、TBリゾートなど
との組み合わせの施設利用を考えています。

体験利用

美都森林の農業分野、アウトドア用品店とのキャンプ企画、英会話教室との親子企画を生かした体験メニュー作り。道の駅サンエイト美都には広報協力をいただいています。

【うずめ飯をとことん活用】

①出店販売

地域自治組織の立ち上げ以来継続している、美都温泉でのモーニング。月一度の交流の場として地域内外の人に定着してきました。ポイントカード発行による美都温泉入浴も好評です。今年度は道の駅サンエイト美都のイベントでも出店できました。

②体験

今年度はさらにインバウンド事業にも挑戦。台湾人向けの体験を販売する会社とメニューを見直しました。畑での収穫の後、日本ならではの隠す文化である「うずめ飯」を作ります。美都町特産の柚子や季節の家庭料理も作り、近隣寺院で食べることで、外国ではできない特別感を出しました。



見せ方や付帯するものを充実させ、既存のうずめ飯作りの質感も底上げされました。

令和6年度は12月末現在で122人がうずめ飯作りを行いました。

[illegible]

【買い物とお出かけ支援】

①キヌヤお買い物バスツアー

キヌヤさん主催の買い物バスツアーは7年目を迎えました。美都町3公民館に集合し、往復3時間ほどで帰ってきます。

②移動販売

地域の活動拠点にたくし丸さんが来て下さることになりました。公民館の百歳体操の日に合わせて、地域の方は外出機会ができ、販売する人は各戸を回る手間が省け、お互いにメリットがあります。

③高齢者サロンへの参加

月一回、公民館で「きままな家」というサロンを開催しています。食材を持ち寄り、おしゃべりをしたり先生を招いて話を聞いたり。昼食をとって解散します。

この3事業については、地域の人ができるだけ長く住み続けられるよう、自宅から公民館まで無料で自治会輸送が利用できることにしています。



お問い合わせ先

〒698-0202 島根県益田市美都町宇津川口386-3
益田市二川公民館内 一般社団法人 めくもりの里二川 事務局
TEL: 070-4172-5366

ホームページ: <http://nukumori-sato.main.jp/> メールアドレス: nukumori-sato@maro-v.jp

島根県益田市匹見上地区

地域づくりのテーマ：自然とともに澄み（住み）続けたい郷づくり



①地区の概要

【地区の現況】

◎人口：553人 ◎高齢化率：63.3%【令和6年1月末時点】
面積は、154.12km²、標高365m、380世帯、3つの連合自治会、自治会数23地区です。商店は匹見小中学校周辺に4店舗あります（農協関係1店舗、地元商店3店舗）。

【地区の魅力】

西中国山地国定公園の裏匹見峡をはじめとした豊かな自然、1000mを超える山々、綺麗で澄んだ川の清流、その清流で育つ鮎、映える紅葉、広い夜空に光る満天の星、縄文時代を中心とした数多くの遺跡。

わさびが名産で市外からの人気も高く、保育所園児から中学生まで山葵谷の清掃、栽培、生産と山葵について学習しています。

【地区の課題】

担い手不足、鳥獣被害対策、人口減少と高齢化、交通弱者の方の買い物や通院、空き家や耕作放棄地の活用。

②実施団体の概要

【団体の名称】

匹見上 清流の郷（R1. 9. 27設立）

【構成団体、構成員】

◎連合自治会

匹見中央 紙祖 落合

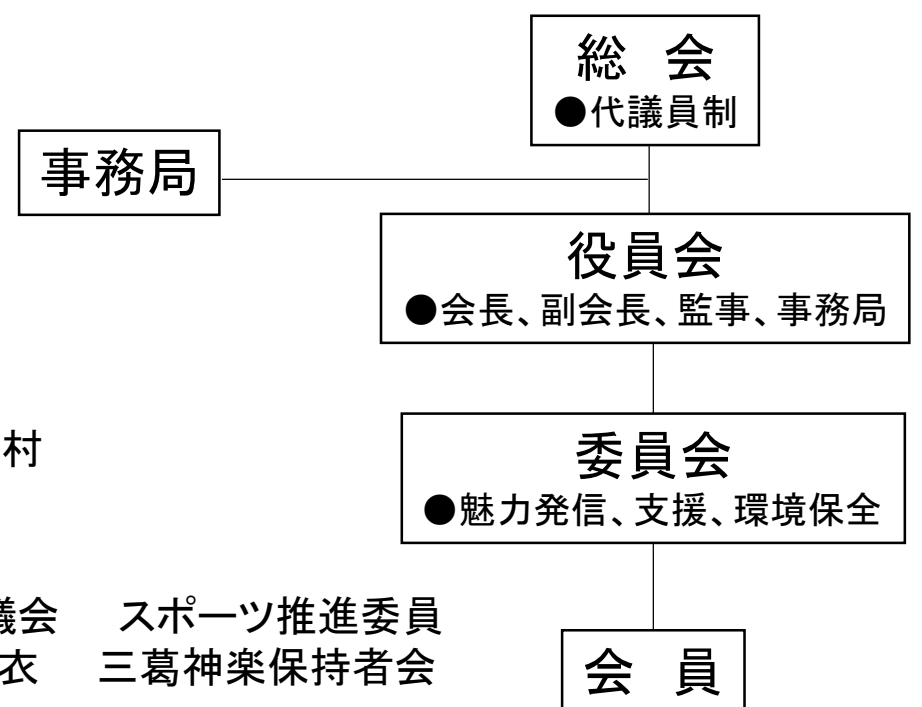
◎自治会

江田 半田 萩原 山根下 山根上 植地 正下地 野入東 野入西
荒木 元組 岡本 野田 石組 小原 七村 笹山 三葛 千原 戸村
道谷下 道谷上 矢尾

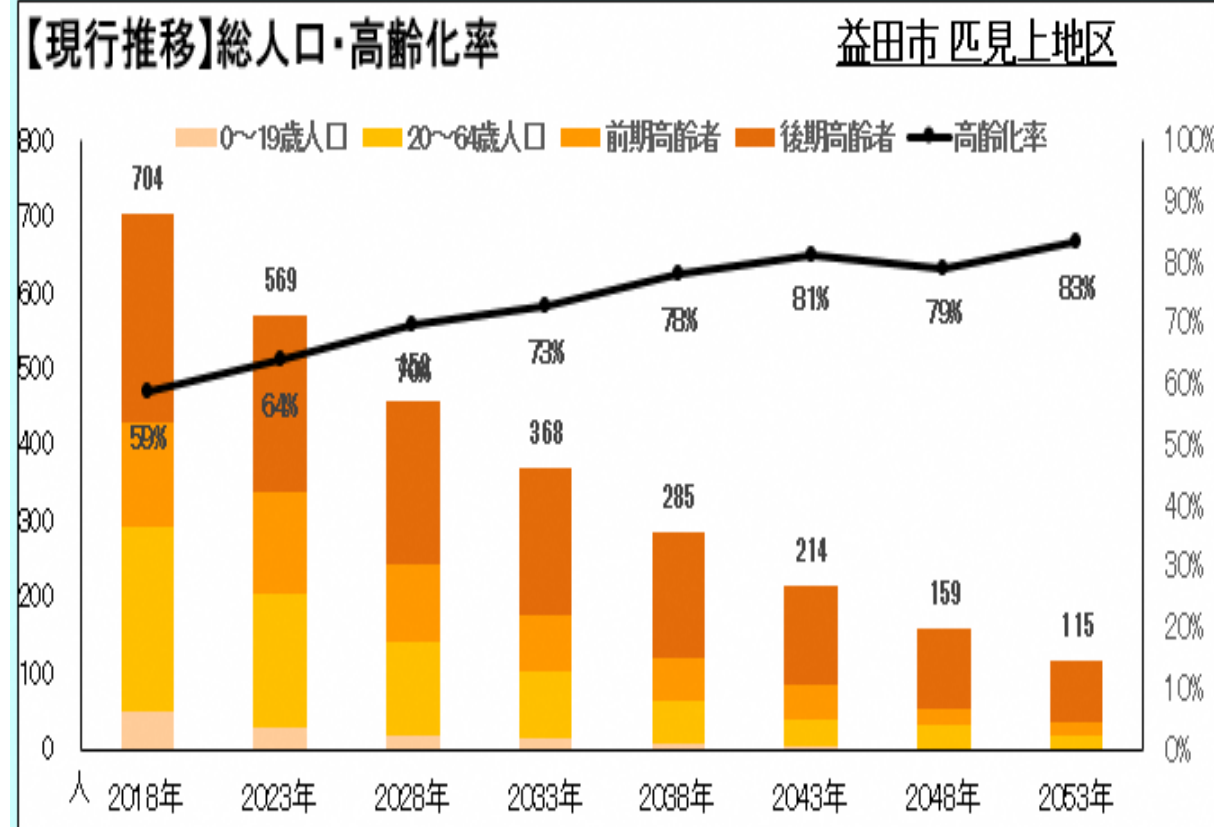
◎各種団体

安全推進委員協議会 ウッドペッカー 少年補導員 人権、同和教育推進協議会 スポーツ推進委員
青少年健全育成協議会 萩の会 匹見神楽社中 まとば加工所 萬葉乃古衣 三葛神楽保持者会
三葛地区水稻管理協業グループ メイズ 獵友会（50音順）

【団体の組織図】



③地区の人口シミュレーション



資料：島根県中山間地域研究センター「人口推計シート」

④地域の魅力化に向けた取組

☆星空を楽しむ会inHIKIMI

匹見中央公園の野球場芝生で自由に星空を観察。講師を依頼し、星空茶話会も開催し、星座の魅力や見どころについてお話をいただいた。

匹見中央公園は周辺は高い建物が無いのでチャンスがあれば、満天の星空を見られる。



☆おとなの遠足

豊かな自然や地域にある標高の高い山の登山を体験してもらうイベント。

裏匹見峡トレッキングや三葛地区の赤谷山登山を開催した。

匹見の様々な自然や山を他地区や県外の方にもっと知ってもらいたい。



【団体長メッセージ】

自治組織発足5年目が過ぎました。今年度はまちづくりプランの改定年度ということもあり、地域の会員の皆さんとの対話を中心に活動を行い、匹見上地区のこれからについて様々な意見を出し合いました。会員の皆さんと一緒に活動しやすい新たなまちづくりプランを作成し、より一層自然とともに澄み（住み）続けたい郷づくりを目指していききたいと思います。



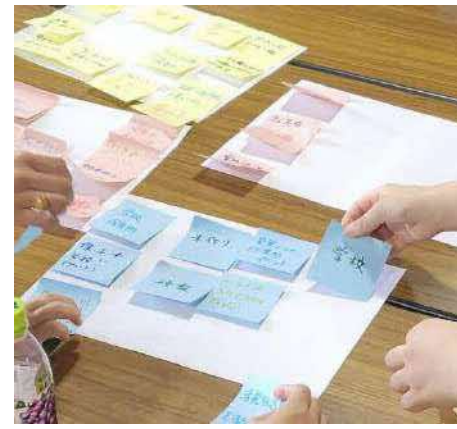
島根県益田市匹見上地区

⑤こんなことが話し合われています



【総会】

令和4年度活動報告、実績報告、収支決算報告(監査報告)、令和5年度活動計画(案)、収支予算(案)、規約改正(案)、代議員退任報告、代議員辞任承認(案)、役員改選(案) 設立総会以来、久しぶりの対面での総会でした。



【カフェ SEIRYU】

8月から10月まで世代を分けて、豊かな暮らしラボラトリーさんの協力をいただき開催しました。地域の皆さんの想いを聞くことができました。今後どのように活かしていくのか、これからも地域の方と話したいです。



【委員会】

今年度はまちづくりプラン改訂の年なのでまちづくりプラン改訂会議(カフェ SEIRYU)について、豊かな暮らしラボラトリーさんの協力をいただきながら協議を重ねました。魅力発信、支援、環境保全の活動についてもイベント等協議を重ねました。



【視察研修】

匹見上公民館運営委員会の委員と匹見上 清流の郷で益田市立地域活性化交流館と益田市立宿泊交流センターに行きました。地域自治組織の取り組みや公民館との繋がり、複合施設のメリットデメリットについて伺い、意見交換もしました。

⑥こんな地域づくりを行なっています



【魅力発信】

●星空を楽しむ会 in HIKIMI: 10月14日(土)に匹見中央公園で星空茶話会と星空観察会を開催しました。今年度は西部県民センターの協力のもと親子体験キャンペーンから、浜田市の親子の参加もありました。星空茶話会での講師さんからのお話がとても好評でした。
●おとなの遠足 紅葉まみれの天空トレッキング 大神ヶ岳～赤谷山 : 11月4日(土)に三葛地区内で開催しました。往復約4km、高低差220mを紅葉を眺めながら歩くイベントです。お土産に三葛地区で作られた三葛米をプレゼントしました。

【支援】

●Let's Enjoy Music 第2回 健康教室 ～心を健やかに・・・身体は心の健康から～: 12月6日(水)に匹見峡温泉大広間で、今年は益田市あけぼの町にある音楽教室Enjoy Music Association(エンジョイ ミュージック アソシエーション)さんに講師を依頼し開催しました。懐かしい曲の演奏やエレクトーンとの合奏体験、音楽鑑賞の時間はクリスマスソングなど7曲演奏していただきました。
●匹見上公民館の春、秋季グラウンドゴルフ大会とユニカール大会に会長賞として賞品を用意し、地域の健康維持等に協力している。

【環境保全】

●動物駆逐用煙火保安講習会: 今年度も開催され、多くの煙火保安保持者が受講しました。受講者には今年度も補助金を交付しました。1人でも多くの方に資格を持っていただき、困りごとを解決できるようにしています。
●煙火花火販売: 令和3年度から販売しています。迅速にサルの追い払いができるように事務局でも購入することができます。
●猪箱貸出: 令和3年度に2基、令和4年度に2基作成を依頼し、合計4基保有しています。貸出期間は1年間です。

お問い合わせ先

【匹見上 清流の郷 事務局】

〒698-1211 益田市匹見町イ674 匹見上公民館内

TEL: 0856-56-1144 FAX: 0856-56-0932

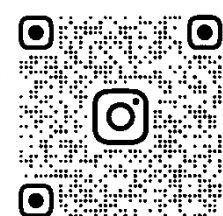
【匹見上公民館: mail】csc-hikimikami@city.masuda.lg.jp

【匹見上 清流の郷: mail】Seiryu_no_Sato@outlook.jp

【Instagram】https://www.instagram.com/seiryu_no_sato?utm_source=qr

【フェイスブック】<https://www.facebook.com/hikimikamijichi>

【Instagram】【フェイスブック】



島根県益田市匹見下地区

地域づくりのテーマ: ささえ愛 笑顔がつくるいいの里



①地区の概要

【地区の現況】

人口、高齢化率(令和6年1月末時点)

人口203人 高齢化率71.9%

【地区の魅力】

匹見川、中国山地の自然と豊かな恵み

そこに暮らす人々のやさしさと支えあい

【地区の課題】

少子高齢化による過疎

高齢者の移動方法の確保と買い物支援

地域住民の健康づくりと生きがい対策、生活不安の解消、

集落の運営、担い手の確保、空き家対策、農地の維持管理

など課題は山積み。

②実施団体の概要

【団体の名称】

匹見下いいの里づくり協議会

【設立年月日】

平成28年4月24日

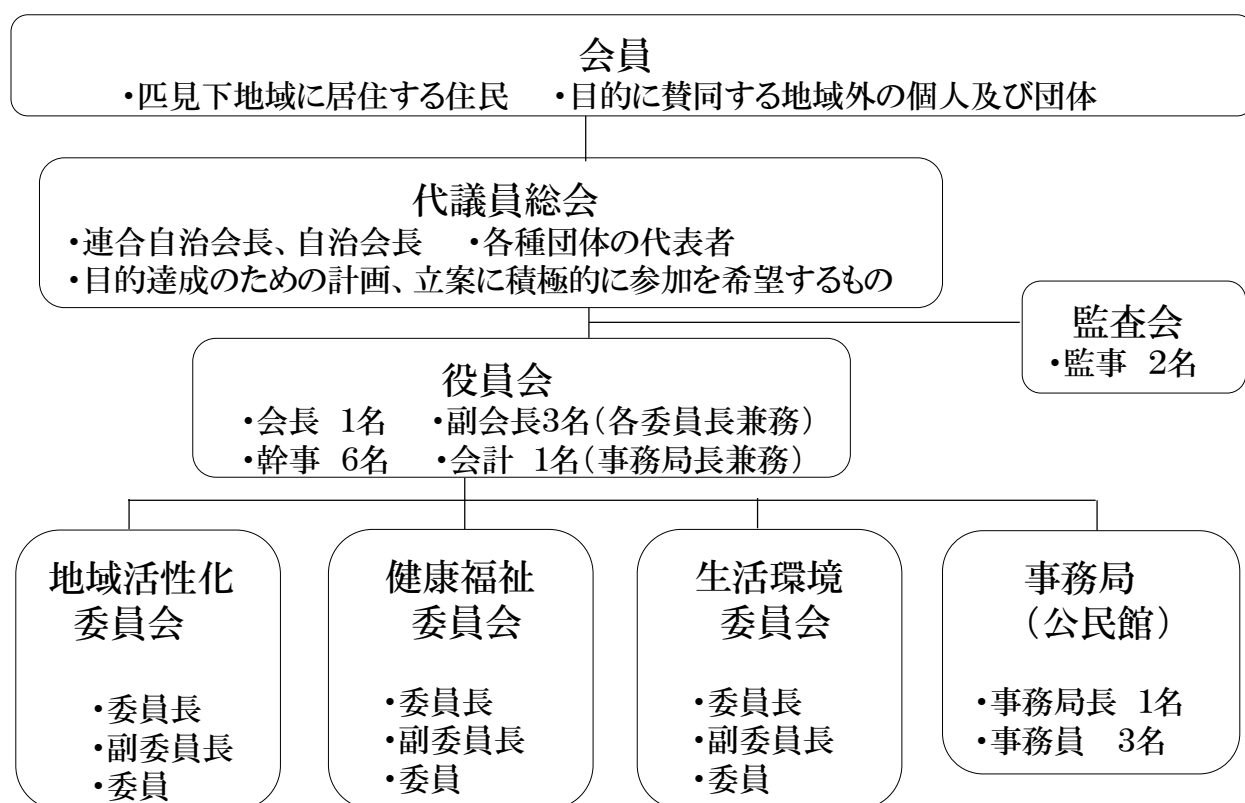
【構成団体、構成員】

- ・各連合自治会(4) 澄川寿会、内谷寿会
- ・各自治会(17) 関係団体(17)
- ・匹見下猟友会 賛助会員(個人)
- ・高齢者サロン(3)

◎構成44団体の代表者や個人会員を代議員とし、この代議員で3つの委員会を作り、協議会の事業に取り組む。

- ・「地域活性化委員会」
- ・「健康福祉委員会」
- ・「生活環境委員会」

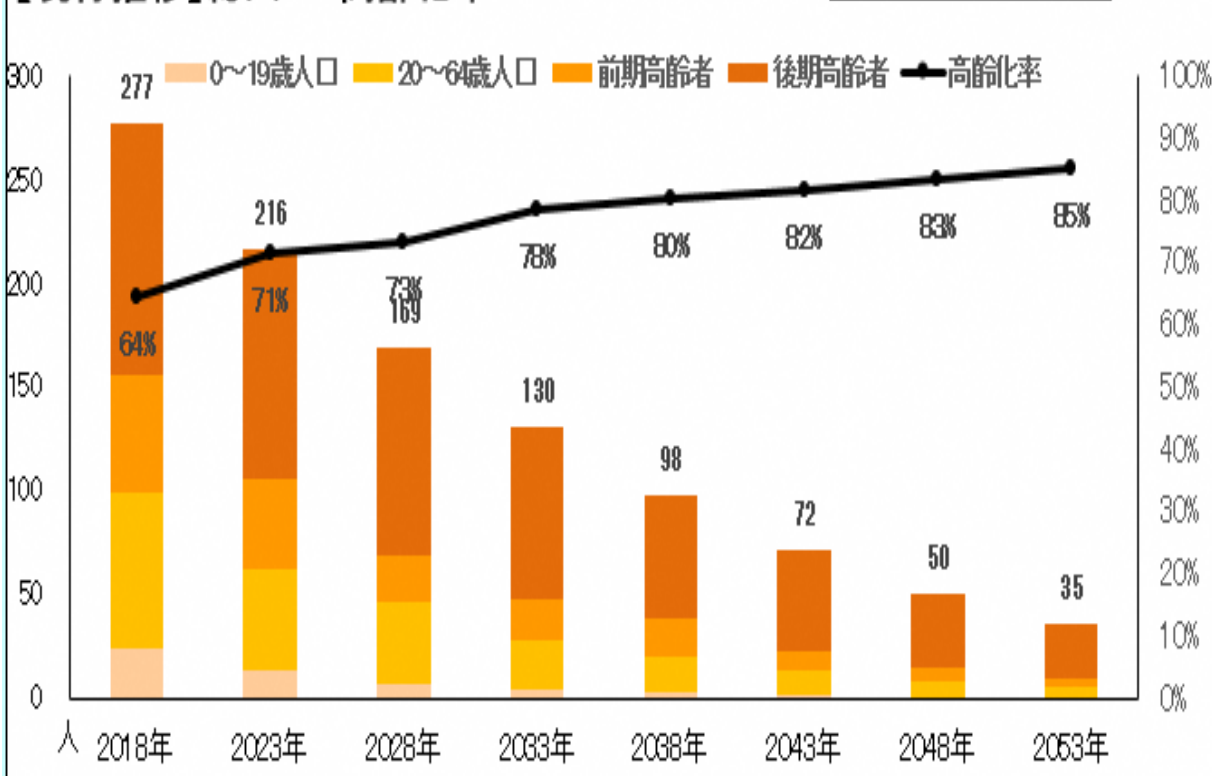
【団体の組織図】



③地区の人口シミュレーション

【現行推移】総人口・高齢化率

益田市 匹見下地区



資料: 島根県中山間地域研究センター「人口推計シート」

④地域の魅力化に向けた取組

- ・地域の子供たちの成長と、地域住民のうるおいづくり
「いいの里っ子塾」開催…今年度は「ベンガラ染め体験」小学生からお爺ちゃんお婆ちゃんまで40名以上参加。
- ・地域住民の健康と交流の場づくり
百歳体操やグラウンド・ゴルフの定期開催。百歳体操は、これまで3会場で行っていたが新たに1会場増やした。
- ・4年ぶりに「ふるさと祭り」を開催。約160名参加。
- ・地区住民の高齢化により「地区民運動会」をレクリエーション大会として開催。今年で2回目。住民には好評だった。
- ・地域資源を利用した世代間交流や他地域の団体との交流
「とちの実交流会」「川崎ふれあいサマーキャンプ」など
- ・鳥獣被害対策の実証実験
「サル侵入防止用電牧柵」「動物駆除用火」
- ・防災対策として「消火器、火災警報器、告知放送端末」点検
- ・匹見町(匹見上、匹見下、道川)3地区と協力した取り組み
「匹見地区つろうて子育て協議会」で他地区の小学生との交流会を開催。



【団体長メッセージ】いいの里づくり協議会 大賀明会長

3年に及んだコロナ禍が、ようやく収まり、地域の活動を再開した1年でした。いきいき百歳体操や、グラウンド・ゴルフ大会は、マスクを取り、いきいきとした表情を見せながら、また、声も出しながら活動しています。夏には、川崎市から「ふれあいサマーキャンプ」を受け入れたり、秋には、4年ぶりに「ふるさと祭り」を開催するなど笑顔が戻ってきたのは嬉しいことです。皆さんとともに元気あふれる地域づくりを目指していきたいと思ひます！

島根県益田市匹見下地区

⑤こんなことが話し合われています



いいの里づくり協議会 定期総会
事業報告、収支報告、事業計画、収支予算などが質疑応答・承認された。

地域活性化委員会
生活のうるおいづくり支援・・・県内の美術館・博物館・映画館などに各自で行った場合、500円を補助。
いいの里っ子塾・・・U・Iターン者との交流会と合同で行うこととし12月に開催。ベンガラ染め体験を40名以上が楽しんだ。
おかえりなさい旗・・・GW、盆、正月に帰省者歓迎の旗を立てた。
匹見下ふるさと祭り・・・11月に4年ぶりに開催いあ。約160名が参加。

健康福祉委員会
地区民運動会・・・レクリエーション大会として2回目の開催。約60名が参加。
とちの実交流会・・・11月に開催。匹見小学校3.4年生4名など約30名が参加。
ふれあいボランティア訪問・・・「ふれあいの園」ボランティア訪問を隔月開催。
いきいき100歳体操・・・会館、広瀬、石谷に加え、年明けより持三郎地区で開催。
グラウンド・ゴルフ大会・・・ナイター5回広瀬1回実施。
健康づくり講演会として「益田糸操り人形」の鑑賞会、「認知症予防講演会」を実施。

生活環境委員会
動物駆除花火講習会・・・9月開催。
消火器・火災報知器・告知放送端末点検・・・持三郎、三出原、長尾原地区にて10月開催。
地区の美化活動への支援・・・実施地区（団体）への費用支援。
買い物支援・・・生協しまねとの連携で買い物支援策を検討し準備中。令和6年度からの導入を目指す。
不用品縁結び事業・・・利用が低調。どうすれば利用してもらえるか検討中。

⑥こんな地域づくりを行なっています



地域活性化委員会
これまで単独で行っていた「いいの里っ子塾」を「U・Iターン者との交流会」との併催という形で開催。小学生からお爺ちゃんお婆ちゃんまで40名以上が参加しました。今回取り組んだのは、ベンガラを用いた染物体験。土からとれる天然の染料で、手軽にできる染物体験として、近年注目を集めています。講師は、市内在住の作家さん。各々、出来上がりをイメージしながら、輪ゴムなどで絞ったり、木型で挟んだり。また、4色あるベンガラ染料で自由に染め楽しい時間を過ごしました。輪ゴムや木型から解くと、あら素敵！世界で一つの染物が誕生しました

健康福祉委員会
健康づくり講演会として、匹見中学校箏曲部の箏演奏会と益田糸操り人形出前公演を10月に行いました。匹見中学校箏曲部は、部員が一名しかいないので、先生方が助っ人参加されました。琴を習い始めて半年だそうですが、すばらしい演奏でした。続いて、益田糸操り人形出前公演は、創作人形劇「びんぼう神」など3演目でした。糸で操られている人形ですが、見ているうちに一人で動いているようにも感じられました。見学に訪れた地域の方も喜んでいらっしゃいました。3月には昨年に引き続き「神楽鑑賞会」も開かれます。

生活環境委員会
生協しまねと連携した買い物支援策を検討準備中。地区内には生協しまねを利用できない地区があります。そこで、いいの里会館（公民館）をステーションとして、未利用地区へ見守り活動の一環として、ボランティアスタッフが商品を配達することを検討中。12月に石谷地区で物品販売の利用説明会と宅配夕食弁当の試食会を実施しました。11名の住民が参加。うち2名は体験注文も行い、1週間後に公民館スタッフがお届けしました。現在、新年度から運用できるよう、生協しまねと詳細を詰めているところです。

お問い合わせ先

☆匹見下いいの里づくり協議会☆

〒 698-1221 益田市匹見町イ327 (匹見下公民館内)

☎ 0856-56-0910 ☎ Fax 0856-56-0912

facebook https://www.facebook.com/masudashi.hikimishimo?locale=ja_JP

島根県益田市道川地区

地域づくりのテーマ：輝け笑顔！深まれ絆！行くぞ道川！～出会い ふれあい 助け合い～ 笑顔がつなぐ明日の道川



①地区の概要

【地区の現況】

人口：97人 高齢化率：60.8% 世帯数57
(令和6年1月末時点)

【地区の魅力】

四季折々の美しい景色、豊かな自然が広がっており、地域の人々はそれぞれの暮らしを大切に、その技術や知識を次世代に受け継いでいます。地域の祭りや行事、石見神楽など、古くから続く伝統があり、それらが地域コミュニティを結びつける重要な要素にも結びついています。道川地区は、自然の息吹を感じられる美しい景色と、歴史・伝統が調和した魅力的な地域です。

【地区の課題】

冬場の自然環境の厳しさや高齢化による生産基盤の脆弱、除雪の負担、移動手段の困窮、医療介護の不安等多々あります。

②実施団体の概要

【団体の名称】

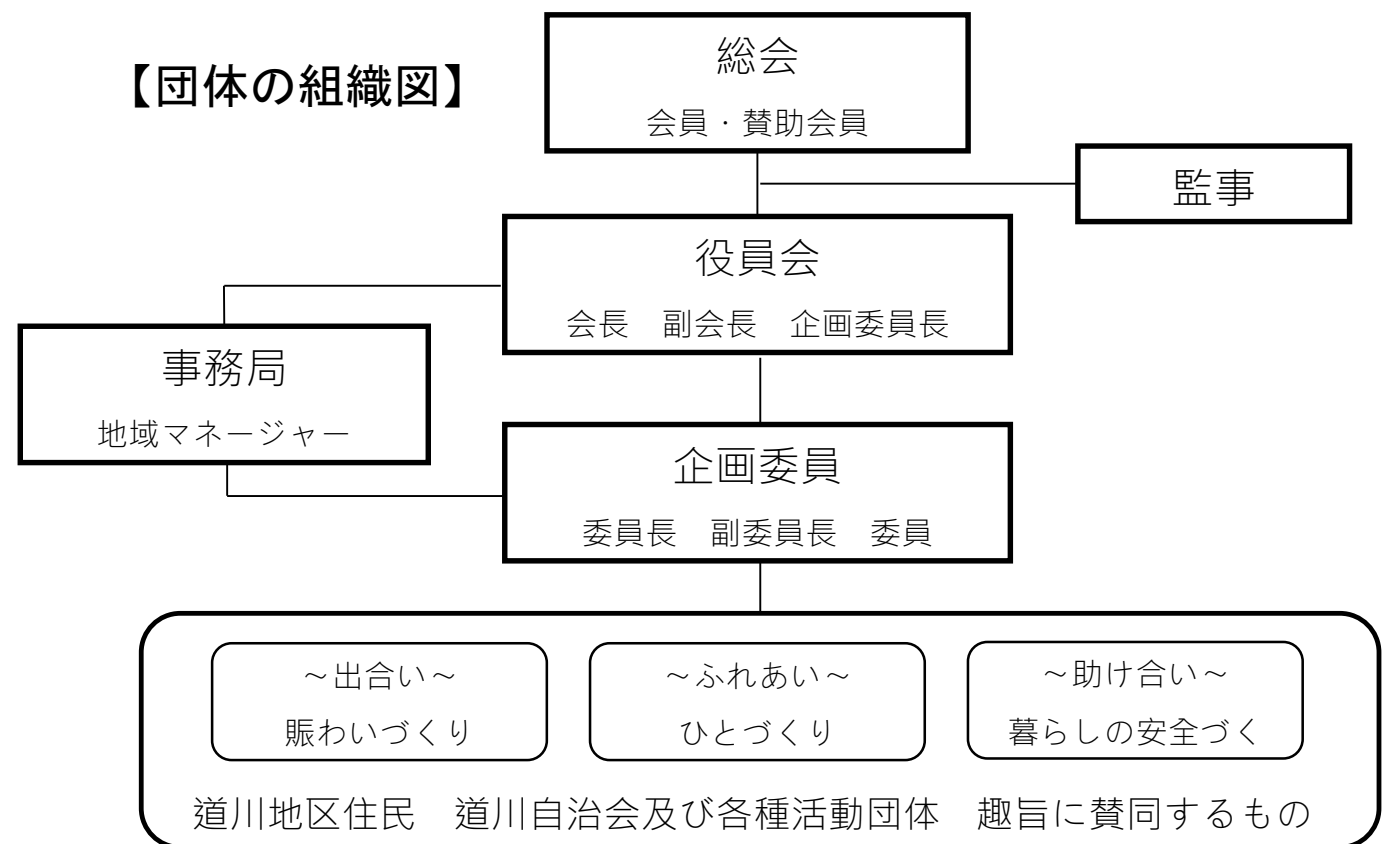
道川地域づくりの会

【構成団体、構成員】

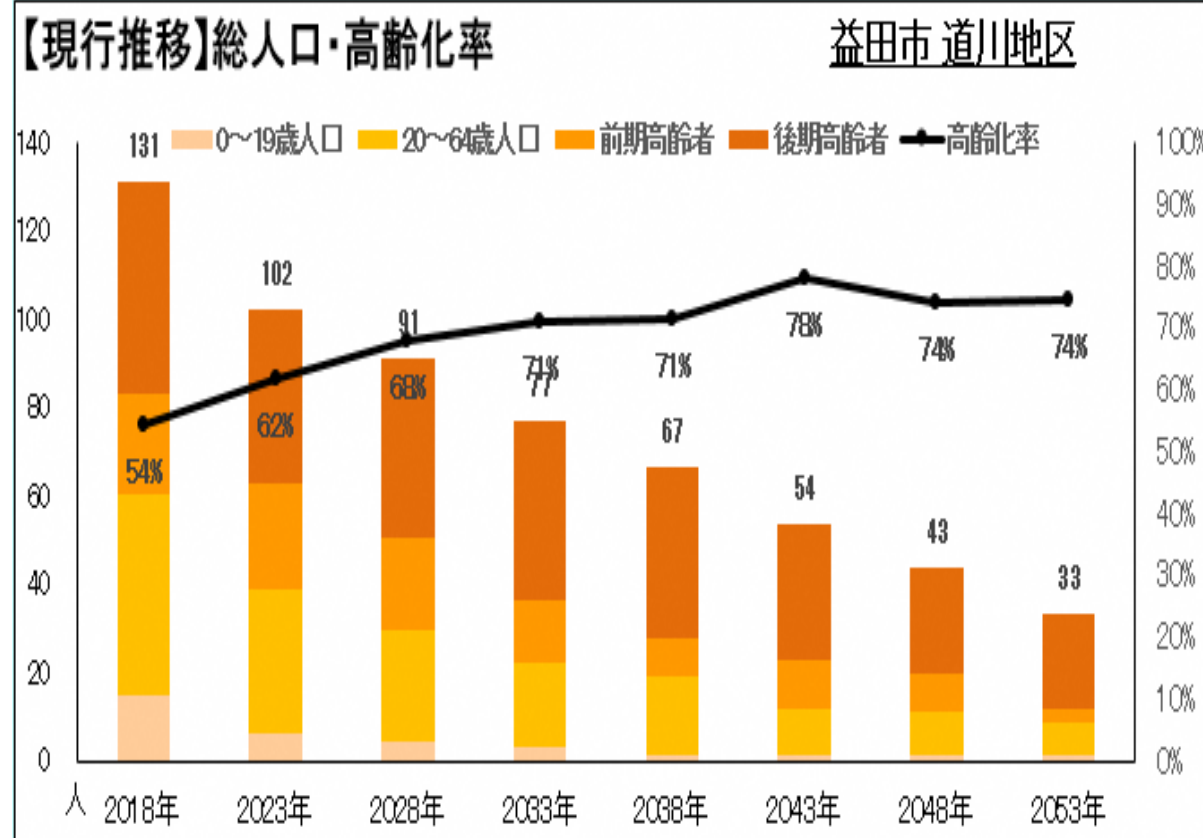
道川地区の全住民、趣旨に賛同するもの
地域で活動する各種団体及びグループ

- ・自治会（下道川下、下道川上、出合原、元組、臼木谷、日の里）
- ・寿会
- ・民生児童委員
- ・ゆうゆう会
- ・出合の里みちかわ
- ・日の里やる気の会
- ・匹見山の会
- ・道川菊づくりの会
- ・道川神楽社中
- ・猟友会
- ・消防団
- ・青少年健全育成協議会
- ・豆腐味噌加工グループ
- ・匹見川源流道川そば打ち同好会
- ・道川雛子田保存会
- ・健康づくりの会
- ・地域安全推進協議会
- ・交通安全対策協議会
- ・地区民交流実行委員会
- ・人権同和教育推進協議会
- ・盆踊り実行委員会

【団体の組織図】



③地区の人口シミュレーション



資料：島根県中山間地域研究センター「人口推計シート」

④地域の魅力化に向けた取組

豊かな自然や特色を活かしながら、「住む人」「来る人」の出会いにより、地域の賑わいを創出し、お互いの助け合いやふれあいをおして、いきいきと安心して暮らすことが出来る地域を目指します。

～目標を達成するための3つの取り組み～

◆～出会い～ 賑わいづくり…

- ・人が集まる機会を創る活動
- ・地域の宝を活かす活動
- ・里山の景観を活かす活動

◆～ふれあい～ひとづくり…

- ・歴史文化をつなぐ活動
- ・地域のつながりを育む活動
- ・ひとりひとりの個性を育む活動

◆～助け合い～暮らしの安心づくり…

- ・暮らしを守る活動
- ・生活環境を守る活動



【団体長メッセージ】

道川地域づくりの会では4月より本会の法人化を予定しております。地域みんなで道川の生き残りの道を作っていかなければなりません。市や県や益田の他地域の団体や企業さんにも応援をいただきながら、どうか若い人達に道川に来ていただきたいと願っています。

島根県益田市道川地区

⑤こんなことが話し合われています



「道川地域づくりの会」総会、年間活動計画、予算の承認

★ 主な話し合いの内容 年間を通して組織の運営体制強化について

【賑わいづくり】

○地域の産物を活用して、歴史・文化を発信する魅力アップ活動

○魅力ある景観、整備活動

里山保全及び川辺の広場維持、管理等

自然と調和した地区のPRと分散型集客

【暮らしの安心づくり】

○慢性的な人手不足がもたらす地域課題

○安心、安全、支え合いの仕組みづくり

【ひとづくり】

○地域内交流(世代間交流)事業



⑥こんな地域づくりを行なっています

～出会い～ 賑わいづくり



道川春祭り

コロナ禍で中止していた地域の春祭り、盆踊り、秋祭りなどの祭りを再開しました。今のこの地域、今の状況に合わせた形ではありましたが、久しぶりに賑わいが戻りました。

～ふれあい～ ひとづくり



お楽しみ教室～しめ縄づくり～

地域の絆を深め、各世代を交えて学び合っています。健康づくり教室やお楽しみ教室など、公民館活動への積極的な参加を呼び掛けています。

～助け合い～ 暮らしの安心づくり



お出かけ講座(下道川)

各集落に出かけて、益田警察署より、安心安全な暮らしを守る話をしてもらっています。隣近所で、見守り、声を掛け合うつながりを強固にする取り組みを行っています。

古代小豆の収穫



地域の歴史を深掘りし、小豆の原種と言われる種をまき、栽培、収穫、試食の体験や、販売を行いました。

みなさんちょっと運動する会!?



これまでの地区民運動会を見直し、「道川のみなさんちょっと運動するかい!？」として、年齢や体力に関係なく誰もが楽しめる「レクリエーション」を取り入れて開催しました。

分遣所による総合訓練



分遣所による総合訓練を実施。防災意識の持続、向上に取り組んでいます。今年は、煙体験、消火訓練、心肺蘇生、AED講習などを行いました。

お問い合わせ先

〒698-1201

島根県益田市匹見町道川イ133-1

清流会館 道川地域づくりの会(事務局:益田市道川公民館内)

TEL:0856-58-0001 FAX:0856-58-0002

ホームページ <http://michikawa.info/>

公式LINE
道川ファンクラブ
友達追加QRコード



発 行 令和6年2月

発行元 益田市政策企画局連携のまちづくり推進課

〒698-8650 島根県益田市常盤町1番1号

TEL 0856-31-0600

FAX 0856-23-7708

E-Mail : renkei@city.masuda.lg.jp